

令和 3 年度使用
教科用図書採択選定資料
中学校用

宮城県教育委員会

< 目 次 >

国	語	-----	1 ~ 4
書	写	-----	5 ~ 8
社会 (地理的分野)		-----	9 ~ 12
社会 (歴史的分野)		-----	13 ~ 19
社会 (公民的分野)		-----	20 ~ 25
地	図	-----	26 ~ 27
数	学	-----	28 ~ 34
理	科	-----	35 ~ 39
音楽 (一般)		-----	40 ~ 41
音楽 (器楽合奏)		-----	42 ~ 43
美	術	-----	44 ~ 46
保 健 体 育		-----	47 ~ 50
技術・家庭 (技術分野)		-----	51 ~ 53
技術・家庭 (家庭分野)		-----	54 ~ 56
英	語	-----	57 ~ 62
道	徳	-----	63 ~ 69

発行者の番号・略称，及び，教科書の記号・番号，並びに書名は，「中学校教科書目録（令和3年度使用）」（令和2年4月 文部科学省）による。

種 目	国語	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	国語 701 801 901	書 名	新しい国語 1 新しい国語 2 新しい国語 3
			東書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された国語の目標に即して指導事項が適切に配置されており、言葉に着目し、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるように工夫されている。 ○ 学びを生活に生かす視点が貫かれ「学びに向かう力・人間性等」が涵養されるように配慮されている。指導と評価の一体化を図る本県の国語科教育の重点事項に沿っている。 ○ 巻頭の「学年で学ぶこと」、巻末の「言葉の力」一覧により、3年間を通した学習の全体を系統的に見通すことができ、学習意欲を高めるための工夫がされている。 ○ 本編・基礎編・資料編の3部構成で、本編と基礎編の順序を柔軟に扱えるようになっている。内容が関連しているため、学習の深化や拡充を図れるようになっている。 ○ 伝統文化に関する文章やメディアリテラシー及び情報活用能力を育成する教材が全学年に設けられている。資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各單元の中に、国語学習で身に付けたい「知識及び技能」のポイントが「言葉の力」として明確に示され、3年間で系統的に積み上げられるように配列が工夫されている。 ○ 「言葉の力」を軸とした七つの単元で構成されており、それぞれに3領域の内容が配置されている。ねらいが明確に伝わるように配慮されている。 ○ 本編「学びの扉」と基礎編「学びを支える言葉の力」は、「言葉の力」と結び付けた内容であるため、基礎的・基本的な内容の定着から、発展的な学習への展開まで配慮されている。 ○ 各單元は、各領域等の指導をバランスよく行える分量になっている。教材の区分は、各学校の年間指導計画に即して柔軟に対応できるように工夫されている。 ○ スピーチや話し合い、身近なテーマや社会に目を向けた教材が取り上げられ、生徒の生活や地域の実態に適合するように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びを支える言葉の力」に、身に付けたい「知識及び技能」と高め方が示されており、主体的な学びが促されるように工夫されている。 ○ 各教材の流れは、全て「目標」・「問いかけ」→「言葉の力」→「振り返り」の形式に統一され、主体的・対話的で深い学びが実現されるように配慮されている。 ○ 「読書案内」の中に、多種多様な本が数多く紹介されている。また、「広がる言葉」「言葉を広げよう」には、他教科の学習や実生活で必要となる言葉が例文とともに示されている。 ○ 他教科と関連する教材には「教科関連マーク」と共に、該当の教科名も付されている。図表のまとめ方や話し合いの方法、思考方法など、総合的な学習の時間との関連も図られている。 ○ 挿絵や図表の他、デジタルコンテンツが利用可能な教材には「Dマーク」が付されており、音声や映像資料、練習問題や補充問題などが活用できるように配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文には明朝体、タイトルや重要個所にはゴシック体を用いるなど読みやすさに配慮されている。難語句の注釈や本文の振り仮名は、発達の段階に応じて配置されている。 ○ 各單元に案内役のキャラクターを登場させることにより、親しみを感じさせながら学びと向き合えるように配慮されている。 ○ 手書き文字に近付けた明朝体が使用され、ユニバーサルデザインの観点から、色遣いやデザインなどが工夫されている。 ○ 写真が鮮明で見やすく、図表の大きさや配置も工夫されている。デザイン・色彩等は、生徒の色覚特性にも配慮されている。 ○ 表紙が厚く製本も堅ろうである。用紙は軽量化され、裏写りを抑えたものになっている。再生紙と植物油インキを使用するなど環境への配慮もされている。 						

種 目	国語	発行者の番号・略称	15	教科書の記号・番号	国語 702 802 902	書 名	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3
			三省堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「領域別教材一覧」に学習指導要領の指導事項との関連を提示している。「情報の扱い方に関する事項」についての単元を設定し、情報を基に考えを深められるように工夫されている。 ○ 各教材で指導事項を指導するための目標が明示されるとともに、課題解決的な言語活動が設定されており、本県の国語科教育の重点事項に沿った内容になっている。 ○ 現代社会の課題をテーマにした説明的な文章や、悩みや葛藤、人間や生き方について考えを深める文学的な文章が取り上げられており、学習意欲を高めるように配慮されている。 ○ 「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を育成する内容がバランスよく配置されている。資料編で多様な資料を示し他教科や社会生活で活用できるように工夫されている。 ○ 生徒の日常生活から社会生活に関わる題材が広く取り上げられている。また、各資料の出典が明示されているとともに、関連する他の資料が提示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の系統性が重視され、反復して学ぶことができるように工夫されている。また、習得と活用を繰り返すような配列になっており、学習の充実が図られている。 ○ 各教材の目標に迫る学習過程が提示され、キーワードを基に学習の振り返りを促すことで、内容と目標、並びに評価の一体化が図られている。 ○ 習得した読む能力を他の「読むこと」の学習や「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習に活用できるように、内容が組織的に配列されている。 ○ 2学期制・3学期制の両方に対応できるように、配当時数と単元構成が工夫されており、各学校の年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 地域的な偏りがないような配慮とともに、地域の文化への関心を高め、視野を広げる題材が取り上げられるように、教材の配列が工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考と語彙に関する解説が設定され「知識及び技能」の定着が図れるように工夫されている。また読む技能を習得し、他の教材や自主的な読書等で活用できるように配慮されている。 ○ 「学びの道しるべ」で学習に見通しを持たせるとともに、各教材で、自他の考えを深める言語活動が設定されており、主体的・対話的で深い学びが実践できるように工夫されている。 ○ 巻末や各教材で、多様な書籍が紹介され、生徒の特性や関心に合った読書活動の充実が図られるように配慮されている。 ○ 各学年の「話すこと・聞くこと」の最初の単元で話合いの方法を習得し、各教科の学習にも生かされるように工夫されている。 ○ 図表やグラフが適切に配置され、関連付けたり、自分の考えを形成したりする学習に配慮されている。また、「読書の広場」にはQRコードが学習の手引きとして配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明を要するものには補助的な手がかりが設けられている。また、学習のポイントや参考となる情報が整理して提示され、学年の発達の段階に応じて配慮されている。 ○ 挿絵や明るい配色で生徒の関心を高めるとともに、古典教材の写真は、古典への興味を喚起するように工夫されている。 ○ 画数や点画の方向等において誤解が生じない書体を工夫している。また、漢字の学習や詩歌、古典教材では、手書き文字に近い書体が用いられている。 ○ どの教材にも、関連した挿絵や図表、写真がバランスよく配置され、生徒の理解を助けるように配慮されている。 ○ 表紙は表面加工を施し、耐久性が高められている。また、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。 						

種 目	国 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	国語 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	伝え合う言葉 中学国語 1 伝え合う言葉 中学国語 2 伝え合う言葉 中学国語 3
			教 出				
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された教科目標を達成するために、各単元に言葉による見方・考え方を働かせるための言語活動が位置付けられている。 ○ 各単元や目標及び内容が明確に示され、3年間で系統的・段階的に学習が進められるよう配慮され、本県の国語科教育の重点事項に沿った内容になっている。 ○ 第1学年の巻末教材には小学校教科書で広く掲載されている作者の作品を掲載し、小学校からの学習のつながりを意識させるように配慮されている。 ○ 各単元にキーワードを示し、国語科で学ぶべき課題や現代的な課題等を幅広く設定し、生徒が様々な課題について考える手立てとなるように工夫されている。 ○ 領域や指導事項に偏りがなくバランスよく教材が配置されている。出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導内容が繰り返して配列され、学年間と学年を通して系統的な単元構成になるように工夫されている。 ○ 各教材の目標と振り返りを明確に示し、学習の見通しを持ち、生徒が自分の学習を認識することができるように工夫されている。 ○ 各単元では、「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等」の活用を図り、学習を進めることができるように構成が配慮されている。 ○ 巻末付録「言葉の自習室」に多彩な作品や資料が掲載されている。2学期制・3学期制どちらにも対応できるように単元・教材の配列や領域の配分が考慮されている。 ○ 教材の話題及び題材は、地域的な偏りがなく、生徒の生活や地域の実態に適合できるように配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の冒頭にある「学びナビ」で学習内容の観点を把握することで、学習の見通しが明確になり主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 各領域の学習に生徒の交流活動を設け、相互に課題を交換しながら主体的・対話的で深い学びが実現されるように工夫されている。 ○ 図書館やインターネットの活用等に関する多くの情報が取り上げられている。「学びのチャレンジ」では読解力の向上を自分で確かめられるように工夫されている。 ○ 幅広い分野からの話題を取り上げ、主体的に身の回りの話題や事象を基に考えていく教材を設定するなど、他教科の内容との連携について配慮されている。 ○ 挿絵、図表、写真等はバランスよく配置されている。「学びリンク」ではウェブサイトを通して教材に関わる資料等を見られるように工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記・表現については、3学年を通して基準が統一され、適切な表記の仕方や用法が身に付くように配慮されている。 ○ 生徒の発達の段階に応じたイラストを用いて、大切なポイントを分かりやすく伝えるように工夫されている。 ○ 活字は、読みやすく学びやすいユニバーサルフォントを独自に開発し採用している。色彩は、色覚の特性を考慮したカラーユニバーサルデザインになっている。 ○ 挿絵や図表、写真等は大きさや配置、レイアウトやバランスについて、生徒の学習意欲を高め、理解を助けるものとなるように工夫されている。 ○ 学習者の身体の発達を考慮して軽量化した教科書用紙を採用し、印刷には環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮されている。 						

種 目	国語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	38	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	国語 704 804 904	書 名	国語1 国語2 国語3
			光村				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語能力の育成を目指す国語科の特質を明確にし、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するために教材の内容が工夫されている。 ○ 本県の国語科教育の重点事項である「指導内容の重点化」と「言語活動を生かした学習指導の充実」が図られるような内容・構成になっている。 ○ 国語1の巻頭に「言葉に会うために」を設け、小学校で学習した内容を確認し、中学校へのスムーズな接続を図るための工夫がされている。 ○ 主たる教材以外にも、作品の一部や詩歌が紹介され、生徒が主体的に語彙を広げ、語感を磨くことができるように工夫されている。 ○ 時代を超えて親しまれる作品と新しい作品等、多様な作品がバランスよく掲載されており、資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中9年間を見通した内容が組織的、系統的に配列され、各領域が特定の時期に偏らずバランスよく配置され、学習の効果が高まるように工夫されている。 ○ 各学年八つのまとまりで教材を構成し、それぞれのねらいが明確で、発達の段階や学習の持続性を考慮し、軽重を付けバランスよく配置されるように配慮されている。 ○ 巻末に本編の補充・発展学習の資料となる教材を掲載し、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」が関連して学習が進められるように配慮されている。 ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内容が簡潔に示され、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるよう、分量及び区分が配慮されている。 ○ 身近なテーマや社会に視点を広げたテーマ等を幅広く扱っており、生徒の生活や地域の実態に広く対応するように工夫されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身に付けたい力と学習の進め方が明確に示され、学習の見通しを持つことができ、生徒が主体的に取り組めるように工夫がされている。 ○ 学習の流れが見開きで具体的に示され、個→集団→個の形態を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 生徒の多様な興味や関心に応じた図書紹介等、魅力的な読書教材や読書活動が提示され、進んで読書するための仕掛けが施されている。 ○ 巻末には生活や学習の基盤となる言語能力や情報活用能力を高める教材がまとめられており、他教科や総合的な学習の時間に広げて活用できるように配慮されている。 ○ 理解の補助となる挿絵や図表、写真及びQRコードによる資料の情報等が適切に配置され、画像や動画視聴により効果的に学習できるように工夫されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字教材や新出漢字欄では、手書き文字に近い教科書体が使用され、表記、表現の基準は全学年にわたって統一されるなどの配慮がされている。 ○ 各学年の巻頭詩は、言葉が喚起する豊かなイメージに触れ、生徒の国語学習への期待を高め、豊かな情操と創造性を培うことができるように配慮されている。 ○ 1年生と2,3年生で文字の大きさが異なり、また、書体の違いや色彩により内容を判別しやすくするなど、発達の段階に応じた工夫や支援がされている。 ○ 図表は色に頼らず線の種類や濃淡でも識別でき、色を問う活動を設定しない等の配慮がされている。図表等の大きさや配置、レイアウトやバランスも工夫されている。 ○ 製本の体裁がよく堅ろうであり、使用されている紙や植物油インキには、環境への配慮がされている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 0 1	書 名	新しい書写 一・二・三年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている目標の達成のために学習過程を明確にし、見通しを持って学習を進められるよう構成するとともに、幅広い知識を身に付けられるように工夫されている。 ○ 身に付けた「知識及び技能」を日常生活の中で書く文字に活用するために「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように配慮されている。 ○ 「振り返って話そう」の項目を設け、書いて終わりではなく、学習した内容について見直したり、意欲を高めたりできるように工夫されている。 ○ 巻末に「書写活用ブック」を設け、書写で身に付けた力を学校生活だけではなく、日常生活や社会に出てからも活用できるように工夫されている。 ○ 中国や日本の代表的な古典に関する資料が充実しており、生産地や出典も明示され、幅広い知識や教養を身に付けることができるように配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆教材の直後に硬筆教材を配置し、毛筆で学んだことを硬筆でも生かせるように系統的に配列されている。 ○ 各教材「目標」と「書写のかぎ」を明示し、教材末には「振り返って話そう」を設け、ポイントを確認しながら、学習できるように構成されている。 ○ 各学年、既習内容の復習から始まるとともに、学習内容の基礎・基本を確認しながら学べるように工夫されている。 ○ 一つの目標に一つの毛筆の手本が提示され、課題が焦点化されており、各学校の年間指導計画にも柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 文字を書く様々な場面で参考になるようにノートやメモ、手紙、ポスター等多様な実例を豊富に掲載し、身に付けた「知識及び技能」を生活の中で生かせるように配列されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「生かそう」の項目を設けて、身に付けた「知識及び技能」を意識して他の文字を書くことによって、生徒が主体的に学習内容を振り返ることができるように配慮されている。 ○ 教材ごとに「振り返って話そう」の項目を設けて、目標を意識して書くことができたかを確認するとともに、学んだことを主体的に対話できるように工夫されている。 ○ 「書写テスト」の項目が設けられ、自分で「知識及び技能」の確認をすることが可能になっており、興味・関心に応じた学習ができるように構成されている。 ○ 手紙やポスター、リーフレット、新聞等、他の教科や総合的な学習の時間にも十分生かせるような教材が多数掲載されており、工夫されている。 ○ ICT活用で指導を効果的・効率的に展開できるようにするために、「Dマーク」が記載されているページでは、インターネットを使った学習ができるように配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楷書や行書ともに、点画の変化や点画の連続の書き方の定着を図るために、朱墨を用いて、穂先の通る位置が示され、視覚的に理解しやすいように配慮されている。 ○ 筆をモチーフにしたキャラクターを用いたり、仕事の中で使う手書き文字に関するインタビューを掲載したりすることによって、生徒が親しみやすいように工夫されている。 ○ 教材文字を上、書き込み欄を下にすることによって、利き手に関わらず教材文字が見やすいよう工夫されている。また、カラーユニバーサルデザインを採用している。 ○ 学習が円滑に進むように三つの学習段階を見開き2ページでレイアウトされている。また、AB版のワイドな紙面を活用して、図版を大きくして資料性を高めるように配慮されている。 ○ 製本の体裁は堅ろうで長期使用に十分耐えられるように配慮されている。また、環境に配慮した紙とインキが使用されている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 5 三 省 堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 0 2	書 名	現 代 の 書 写 一・二・三
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている指導事項を押さえ、全ての教材に「学習目標」と「振り返り」を設け、目標を確かめて学習の見通しを持てるように工夫されている。 ○ 学校行事や日常生活の中で目にする文字がたくさん示され、文字を書くことの必要性や、文字文化に親しめるように配慮されている。 ○ 「文字の変遷」を示したり、身近な歌詞を教材として取り上げたりするなど、書写に対する興味・関心を高めるように工夫がされている。 ○ 毛筆で習得したことを、他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆による書き込みのページを設けるなど、配慮されている。 ○ 「書の古典」では、中国や日本の代表的な作品を紹介するなど、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆、硬筆とも3年間を見通し、学習を何度も繰り返すことで力が身に付くよう、系統的に学習に取り組めるように配列されている。 ○ 教材冒頭の「書き方を学ぼう」では、書き方のポイントを取り上げ、各教材で学習すべき内容が明確になるように工夫されている。 ○ 「どこに気を付けて、どのように書けばよいか」という書き方のポイントを具体的な字形例と共に提示されており、基礎的・基本的な技能が確実に身に付くように工夫されている。 ○ 毛筆教材で学んだことを硬筆教材で繰り返し書くなど、毛筆と硬筆の学習が円滑に進むように工夫されており、各学校の年間指導計画にも柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 原寸大はがきに宛名を書く単元を設けるなど、学習したことを、多様な「書く」場面で主体的に活用できるような教材が配置されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの書体の特徴について説明するだけでなく、楷書と行書を比較する活動が設けられ、生徒が主体的に考え、学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 「振り返ろう」という項目を設け、単元を通して学んだことが実際に活用できているかを確認し、自分の言葉でまとめるなど、主体的な学習を促すように工夫されている。 ○ 「筆順の意義」や「筆順の原則」について示したり、横書きの行のそろえ方を複数示したりするなど、文字や書写への興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ 様々な書式の文章や時候の挨拶等の書き方についても取り上げられており、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮した具体例の紹介がされている。 ○ 毛筆・硬筆を書く時の姿勢や筆の持ち方等、基本的な内容を確認するためにQRコードを示し、動画を閲覧できるように配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楷書や行書ともに、朱墨を用いて穂先の通る位置が明示され、基本点画や方向の変化について視覚的に捉えやすいように工夫されている。 ○ 鉛筆のキャラクターやイラストを用いたり、学習目標を問い掛けの言葉にするなど、生徒が親しみを感じながら学習を進められるように配慮されている。 ○ 重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示したり、記号類には色覚の特性による差が少ない色を用いたりするなど、カラーユニバーサルデザインに配慮したものになっている。 ○ 筆の穂先の動きを示した図版を示したり、筆脈を示したりするなど、生徒がポイントを視覚的につかめるように工夫されている。 ○ 硬筆で書く・消すといった使用に対応できる紙質の用紙が使用されている。また、製本は堅ろうであり、環境に配慮された用紙とインキが使用されている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 0 3	書 名	中 学 書 写
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている指導事項を押さえた内容になっており、学習活動を進めていく中で書写に関する「知識及び技能」が身に付けられるように工夫されている。 ○ 単元の最後には身に付けた「知識及び技能」を学習活動や日常生活に生かすための課題が設定されており、学習したことを生活に役立てられるように配慮されている。 ○ 身の回りの多様な表現を通して、文字文化の豊かさに触れられる内容になっており、身に付けた「知識及び技能」をその後に役立てようという意欲を高めるように工夫されている。 ○ 教科書冒頭に3年間の書写の授業で学び、身に付けていく力がイラストでイメージ化されて示されており、生徒が目的や見通しを持って学習を充実させられるように工夫されている。 ○ 歴史的なものから現代に至るまで書に関する資料が豊富に掲載されており、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の冒頭「目的に合わせて書こう」に様々な「書く」場面が例示されており、目的や相手を意識しながら学習活動を進められるように工夫されている。 ○ 各学年の目次に身に付けさせたい力が示されている。また、教材ごとにも「目標」が明示されており、その達成に向けた学習活動になるように構成されている。 ○ 手本に対して詳細な説明がある。また、毛筆では朱書きの濃淡で筆の動きが分かる例が示されるなど、「知識及び技能」が確実に身に付くように工夫されている。 ○ 各学年の国語の学習で使われている文学作品や古典が硬筆教材として取り入れられており、国語の学習と関連付けながら、年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 各学年で、書きぞめや季節の行事での活用例を取り上げており、身に付けた「知識及び技能」を生活の中の様々な場面に生かせるように配列されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運筆、字形、全体の調和など、言葉だけではなく、図やイラストなどを用いて説明されており、「知識・技能」を習得できるように配慮されている。 ○ 「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かそう」という流れで教材が構成されており、主体的・対話的で深い学びが展開されるように工夫されている。 ○ 学習活動や日常生活に生かして書く教材では、作例だけではなく、書くときの留意点や手順が詳細に示されており、生徒の多様な個性や能力に対応できるように工夫されている。 ○ 身に付けた「知識及び技能」を教科横断的な学習活動や日常生活に活用するために、多様な例示でイメージをつかみやすくなるように工夫されている。 ○ 学習の手引きとなる資料や動画を見ることができQRコードが裏表紙に掲載されており、授業の充実を図ったり家庭学習で活用したりすることが可能になっている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆の手本は紙面に対するバランスが実際のもと同様になっており、全体をイメージしながら練習に取り組めるように配慮されている。 ○ 文字や道具や書に関する「コラム」が豊富に設けられており、生徒が学習とそれらに関連付けることで書写の魅力を感じるように配慮されている。 ○ 色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫がされており、より多くの人に見やすい紙面作りがされている。 ○ 手本や作例などの写真やイラストは適切な大きさと配置されており、説明の言葉が読みやすくなるように工夫されている。 ○ 書写の教科特性を考え、水や墨汚れにも強く堅ろうに製本されている。また、環境に配慮した再生紙と植物油インキが使用されている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8 光村	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 0 4	書 名	中 学 書 写 一・二・三 年
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された指導事項を系統的かつ効果的に学習できるよう各単元・教材での学習内容が焦点化されている。 ○ 身に付けた書写の力を生かすことのできる場面や作品を豊富に紹介しており、その後の学習や日常生活に生かせるように配慮されている。 ○ 教材の冒頭に文字の特徴や書き方のポイントについて考えたり話し合ったりする活動を位置付けることで学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 全教材に目標と自己評価の観点を明示し、「知識及び技能」の定着や自己の変容を確かめられる構成にすることで学習の充実と発展が図れるように工夫されている。 ○ 毛筆、硬筆の内容に偏りがなく、古典作品や俳句等の資料には出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての書写要素を効率的に学習できるように、学習内容を焦点化して示し、生徒の発達の段階に応じて段階的に配列されている。 ○ 各教材に目標が明示されており、考え、練習し、活用するという学習活動を通して書写の力を高められるように工夫されている。 ○ 硬筆練習帳「書写ブック」を活用して、教科書で学んだことを実際に繰り返し練習することで、「知識及び技能」を身に付けられるように配慮されている。 ○ 配当授業時数に応じた内容の分量であり、1教材1指導事項で構成され、各学校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 文字の書き方を確認しながら、硬筆で繰り返し練習する活動が多く設定されており、生徒の実態に応じた幅のある活用の仕方ができるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに「考えよう」「確かめよう」「生かさう」という学習活動になっており、生徒が見通しを持ち、主体的に学習活動が展開できるように配慮されている。 ○ 教材冒頭の「やってみよう」に、文字の原理・原則を考えたり話し合ったりする活動を設定し、対話を通して主体性や「思考力・判断力・表現力等」を養えるように工夫されている。 ○ 学習のポイントを示す「学習の窓」や課題解決のヒントを与えるキャラクターなど、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるように配慮されている。 ○ 教材の最後には他教科の授業や学校生活で役立てられる具体物が紹介されており、生徒が学んだことをその後に生かせるように工夫されている。 ○ 運筆動画や用具の準備・片付けの解説動画を見ることができQRコードが掲載されており、授業の充実や家庭学習に役立てることができるように配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階に応じた文章で表現され、手本や作品例に対してバランスよく配置されており、学習の重点が明確になるように工夫されている。 ○ 書写と関連のある身近な例を挙げたり、多様なイラストを挿入したりすることで生徒が親しみや魅力を感じながら学習を進められるように配慮されている。 ○ 鮮明な色調で印刷されており、複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが明確に識別できる配色にしている。 ○ 学習の中心となる部分は大きく、それに付随する部分は小さくレイアウトされており、全体的に見やすく、理解しやすいように工夫されている。 ○ 環境へ配慮し、再生紙・植物油インクを使用しており、堅ろうに製本され、長期の使用に耐えるように配慮されている。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 0 1	書 名	新 し い 社 会 地 理
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 構造化された「問い」を軸とする課題解決的な単元構成で、地理的な見方・考え方を働かせ、主体的な学びが実現できるように工夫されている。 ○ 州、地方の終結部に多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」により、「思考力・判断力・表現力等」が養われる内容となっている。 ○ 1単位時間の学習内容が確実に定着するよう構造化され、地理的分野の基礎的・基本的な知識・概念を確実に定着させる内容となっている。 ○ 地形の特色が捉えやすい工夫がされている。また、巻末資料が充実しており教科書での課題解決的な学習に即している。 ○ 学習指導要領に示された内容を基に構成し、因果関係が明確に記述され、資料は公正かつ適切に取り上げられ、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入部、展開部、終結部の構造化した配列で構成され、学習の流れを捉えやすい配慮がされている。導入部に小学校の内容を振り返るページがあり、小中の学習を円滑に接続できる。 ○ 各地域の地理的特色を押さえ、特徴的な事柄と地域的特色を関連付けながら追究する単元構成となっている。 ○ 巻末の用語解説により、基礎・基本を確実に理解できるように配慮されている。「もっと地理」のコーナーでは現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む課題が示されている。 ○ 見開き1単位時間の構成で、予備時間も設けてあり、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 教科書の学習内容に合わせた掲載範囲になるように工夫されており、また、地方ごとに生活に密着したテーマ資料が掲載されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きに短時間の説明・要約等で学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、思考力・判断力・表現力等を高められるように配慮されている。 ○ 単元を通して、小集団での参加型学習が設けられており、話し合い等の対話的な活動を通して多様な意見に触れられる学習ができるように工夫されている。 ○ 生徒がつまづきやすい事項を補足する「用語解説」や、地理学習に必要な技能を紹介し活用する「スキルアップ」を設けることで発達の段階に応じて定着させる工夫がされている。 ○ 分野関連マーク、他教科関連マークが掲載され、他分野や他教科とつなげて学びを深めることができるように配慮されている。 ○ 図表、写真などが適切に配置され、QRコードやDマークコンテンツが付けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文が平易な表現で丁寧に記述されている。因果関係や地理的事象の特色が読み取りやすく、生徒が一読して分かる内容となっている。 ○ 生徒の関心の高い身近なテーマの資料を多く掲載している。生徒キャラクター、先生キャラクターの会話が探求課題の解決を促す手掛かりとなる配慮がされている。 ○ 内容や目的に応じて適切な色彩や文字、字体で表現されている。色覚特性がある生徒が見分けやすい色や、色以外の情報でも区別が付くよう視認性が確保されている。 ○ 視覚的効果が高い幅広の判型を用い、資料を豊富に掲載し、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になるように工夫されている。 ○ 糸がかりとじて製本し、造本は堅ろうで長時間の使用にも耐えるものになっている。再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮されている。 						

種 目	社会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 702	書 名	中 学 社 会 地 理 地 域 に 学 ぶ
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国土や世界の諸地域に関する知識や情報を調べまとめる技能を習得しながら、地理的な見方・考え方を育成し、グローバル社会に主体的に関わる態度を育成する工夫がされている。 ○ 各単元、単位時間ごとに学習課題が示され、学習課題の解決に向けて資料を活用して主体的に学習に取り組める構成になっている。 ○ 生徒の日常と関連の深い事象に関する写真資料、コラムを掲載し、生徒の興味・関心を生かした学習が展開できるよう工夫されている。 ○ 世界・日本の諸地域の単元では、地域によって学習内容に軽重が付けてあり、生徒が学習過程において学習課題をじっくりと追究できるように配慮されている。 ○ 領土や宗教、伝統文化等に関して、歴史や共生、多様性等の観点から記載されている。地図、グラフ、絵画資料等の出展、写真資料においても年代や場所が示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 編・章に加えて単位時間ごとに見通しを持った学習や振り返りができるように内容が構成され、学習活動を通じて深い理解ができるように配慮されている。 ○ 世界・日本の諸地域の学習は、どの単元も自然環境と人口分布等を導入に、その後の学習が展開される構成にまとめられている。 ○ 「まとめと表現」で「知識・技能」の定着や「思考力・判断力・表現力等」の育成と学習内容の活用が図られている。また、特設ページにおいて発展的学習にも配慮されている。 ○ 各単元で扱う学習内容の分量が工夫されており、編・章・節によって学習内容が明確で各学校の実情に合わせて年間計画が作成できるように配慮されている。 ○ それぞれの地域や学習内容に関する現在の状況や課題を示すことで、社会の実態をつかませ、その理解や課題解決の態度を育成できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本編の「表現」で学習内容に基づく「思考力・判断力・表現力等」を育成する課題が設定され、章末の「確認」や「地理の技」で「知識・技能」が習得できるように配慮されている。 ○ 授業の学習課題が示され、単位時間の最後に「確認／表現」の記述に沿って、生徒が自ら学び考える学習、他者と意見交流により考えを深める学習ができるように設定されている。 ○ 視覚的な資料と統計資料を掲載したり、数多くのコラムで生徒の多様な興味・関心に対応したりできる内容になっている。 ○ 小学校の学習との関連を示す項や道徳との関連が図られる工夫がなされ、「関連」のコーナーで他分野とのつながりも示されている。 ○ 写真資料や主題図、統計資料が豊富に掲載され、公的機関や発行者が管理する特設ページのURLやQRコードが示されている。 						
表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会科特有の用語及び、1学年の学習範囲には小学6年生の配当漢字にも振り仮名が付けられていて、生徒が学習しやすいように配慮されている。 ○ 単元の導入部で大きな写真を掲載して生徒に具体的イメージを持たせて学習意欲を引き出したり、日常と関わりが深いテーマを数多く取り上げたりしている。 ○ 活字の大きさが適切で、ユニバーサルデザインフォントを用いている。図やグラフもより多くの人が見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れている。 ○ 単位時間ごとに写真資料やグラフ、主題図を扱う内容構成になっており、生徒の興味や能力に応じて主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 製本は堅固で開きやすい綴じ方を採用している。バイオマスエネルギーで発電された電力を用いて印刷され、再生紙と植物油インキが使われ、環境に配慮されている。 						

種 目	社会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 0 3	書 名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的な見方・考え方を働かせて課題を追究するための視点の明記，図版や本文の配置が工夫されており，見通しを持った学習活動がしやすいように配慮されている。 ○ 見開きページの右下に，習得した知識を活用して言語活動につなげる問い掛けがあり「思考力・判断力・表現力等」を育成する深い学びができるように工夫されている。 ○ 食や祭り，観光地等，地域の特色を表すイラスト地図を用いて小学校の学習内容を振り返る問い掛けがあり，中学校での学習への結び付きを配慮する構成となっている。 ○ 記述は明瞭，簡潔な文章で表現されており，適切な写真や図版等で視覚的な具体例を示すことで基礎的な知識の定着に配慮されている。 ○ 全ての領域で適切な写真や図が用いられており，丁寧な説明が明記されている。今日的な課題への対応に関しても既習事項との関連性を重視して明記されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的特色を概観し地域的特色を理解する土台を養いながら，地理的な見方・考え方を働かせて課題を追究できるよう，系統的に配列された構成となっている。 ○ 「序説」「章のねらい」「節の問い」「章・節の学習の振り返り」が設定され構造化された構成になっており，見通しを持った学習ができるように配慮されている。 ○ 節末の「学んだことを確かめよう」では知識を，23 か所ある「技能をみがく」では基本的な技能を習得しながら，生徒が発展的な学習に取り組める配慮がされている。 ○ 1見開き1単位時間の授業が想定されており，年間指導計画に対応しやすい。本文，写真，図版が統一されたレイアウトで配置され，内容や分量も適切である。 ○ SDGsの実現に向けた多彩な資料が掲載され，生徒の防災・環境・共生への意識が高まり，能動的に行動するための見識を広めるような工夫がされている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」で段階的に基本的な学習内容をつかみやすくし，「節の問い」に向けて見通し・振り返り学習がしやすい配慮がされている。 ○ 学習意欲を引き出し，生徒の学習との関連性を重視した効果的な写真が多く，「節の問い」の答えを基に表現したり課題を考察したりする工夫がされている。 ○ 写真や主題図の読み取り方等，技能を習得するテーマが設置され，段階的に深い問いが設定されることにより，地理的な見方・考え方を育む工夫がされている。 ○ SDGsに該当する世界の事例や，日本の各地域の取組が紹介され，公民的分野や他教科との関連に発展する内容となっている。 ○ 節冒頭等のQRコードは53か所，学習の理解を補助する動画やアニメーション等のコンテンツは153点収録され，適切な配置がされている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は簡潔で生徒が読み取りやすい表現に工夫されており，地名や未学習の漢字等に振り仮名が付けられ，生徒の発達の段階に応じた表現の配慮がされている。 ○ 多彩で迫力のある自社撮影写真は，生徒の学習意欲を引き出すものに工夫されている。親しみやすい登場人物による発問や気付き等が見開きに配されている。 ○ 図版の配色の工夫や本文のフォントなどユニバーサルデザイン化を図っており，グラフの線種の変更等，全ての生徒にとって見やすい表現になっている。 ○ 地域の姿を実感できる大きさの導入ページの写真や，見開きのレイアウトの統一，章ごとの色の統一等，適切に配置されている。 ○ 長期間の使用にも耐えられる堅ろうな製本かつ5%の軽量化が図られており，再生紙や植物油インキを使用するなど，環境に配慮されている。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 0 4	書 名	中 学 社 会 地 理 的 分 野
1 内 容 に 関 する 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象に関心を高めるような問い掛けを設け、地理的な見方・考え方を働かせながら課題を追究する内容構成になっている。 ○ 様々な社会的事象の特色や地理的技能の解説を基にした知識・技能の習得、地理的な見方・考え方を示して「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るように工夫されている。 ○ 写真やイラストを掲載し、生活経験の少ない生徒も具体的なイメージを持ち、興味・関心を高めて学習が展開できるように工夫がされている。 ○ 掲載資料や本文の記載で「知識・技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成の工夫がされている。単元の後半に自由研究のページを設け、発展的学習にも配慮されている。 ○ 領土や多文化共生等について歴史的経緯や多様性等が適切に記載されている。地図や写真、グラフ等バランスよく盛り込まれ、場所や年代、出展等が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 する 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1編において座標軸となる世界と日本の地域構成を、その後に「世界」「日本(地域調査を含む)」を学習するように配列され、系統的に地理的認識を深める構成になっている。 ○ 「世界の諸地域」「日本の諸地域」の単元では、単元の導入、地域の大観、追究、まとめ・振り返りの構成となっており、課題解決型の学習を進めやすい工夫がされている。 ○ 学習内容ごとに見方・考え方を示し「思考力・判断力・表現力等」の育成を図られている。また、「スキルUP」や「資料活用のポイント」を示し、地理的技能の習得を図られている。 ○ 章の構成及び内容量が適切で年間指導計画が組みやすく、基本的には1単位時間を見開き2ページに設定しており、計画的に学習に取り組みやすいように配慮されている。 ○ 伝統文化や持続可能な社会に関する教材が掲載され、生徒が自分の生活地域と比較し、追究できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然環境・人文関係の関する写真を用いて主体的な学習を引き出すとともに、学習内容に応じた技能習得のコラムを配置するなど学習のつまづきを減らす工夫がされている。 ○ 「世界の諸地域」「日本の諸地域」の学習の多くの単元の追究の場面において、主体的な学びや対話的な学びから、深い学びへと学習が深まる構造になっている。 ○ 写真やグラフ資料を多く用いたり、多様なコラムを各ページに設けたりすることにより、生徒の多様な興味・関心を引き出すように工夫されている。 ○ 小学校の学習や歴史、公民分野との関連を示すとともに、伝統文化や防災の学習も取り入れ、他教科や総合的な学習との関連にも配慮されている。 ○ 資料を見やすく解説を付けて示しており、学習への配慮がされている。また、QRコードを読み取ることで、デジタルコンテンツが活用できるように工夫されている。 						
現 と 体 裁 等 に 関 する 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校6年生以上で学習する漢字には振り仮名が付けられ、掲載資料に対応するように本文中に資料番号を示すなど、生徒が学習しやすいように配慮されている。 ○ 最新のトピックスや現地で活躍する人物から取材した内容を数多く紹介しており、生徒にとって興味深く身近に感じられるように配慮されている。 ○ 活字の大きさが適切で、読みやすい書体を採用している。単元ごとに色別にするなど、生徒がどの単元を学習しているか一目で分かるようになっている。 ○ 地形図と人口分布図を並記したり、グラフの線種や色を変えたりするなどの工夫がされている。本文も30行から40行程度にまとめられ、学習しやすいように配慮されている。 ○ 製本がしっかりとしていることに加え、大判化に伴う重量化に配慮して、平成28年度版と比較し、5%軽量の紙を使用している。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 5	書 名	新 しい 社 会 歴 史
			東 書				
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる学習課題を設定し「知識・技能」の定着「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指す内容となっている。 ○ 現代的な諸課題を意識させる学習や身近な地域の学習を通し、主体的に社会の形成に参画し、他者と協働しようとする資質や態度の育成につながる工夫がされている。 ○ 内容の程度、範囲は適切で文章も具体的な記述となっている。小学校の学習を振り返る活動を設けることで、中学校学習への移行に配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な知識・概念や技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、今日的な課題に向き合う姿勢の育成を目指して内容が整理されている。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、出所や出典等も明確である。また、歴史研究の成果を踏まえた復元写真や想像図等も用いられている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱うことで、分野の関連を意識しながら多面的・多角的な学習になるように工夫されている。 ○ 単元構成が、学習への興味・関心を高める「導入部」、学習を進める「展開部」、学習をまとめる「終結部」の順に構造化されており、学習の流れを捉えやすくする工夫がされている。 ○ 1単位時間の学習の最後に、身に付けるべき知識を確かめる「チェック」、「思考力・判断力・表現力等」の育成につながる「トライ」の課題を設けて、理解を促す工夫がされている。 ○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、各章の配分も適切である。標準授業時数135時間のうち、5時間の予備時間を設け、年間指導計画にも対応できる構成となっている。 ○ 身近な地域の歴史を調べる学習の事例を各時代に設けることで、郷土の歴史に目を向け、郷土を愛する心の育成ができるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入段階で単元全体を貫く「探究課題」を設定し、1単位時間ごとに学習課題と振り返りで課題を追究し、単元をまとめる活動で探究課題の解決を図る構成となっている。 ○ 探究課題解決のヒント提示、見方・考え方や着目点の提示、協働的な学習の場である「みんなでチャレンジ」など深い学びにつながる学習場面の設定の工夫がされている。 ○ 見開きの最初に掲載した「導入資料」で生徒の興味・関心を喚起し、「読み取る」や「考える」コーナーを設けて多様な学習に対応する工夫がされている。 ○ 他教科でも取り扱う内容には「他教科関連マーク」を明示している。更に、「くらげチャート」や「X・Y・Wチャート」等の思考ツールが紹介されるなどの工夫がされている。 ○ 学習効果を高める資料が掲載され、資料に付した「図番号」が本文に掲載されている。また、DマークコンテンツやQRコードを設けICT機器の利用を促す工夫がされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章は敬体を用い、因果関係が明確に記述してある。また、中学生の発達段階を考慮した平易な表現などの配慮がされている。 ○ 資料の掲載部分の背景に着色を施し、本文と資料の区別を明確にしたり、凹凸や飾りが無い「フラットデザイン」を採用したりするなどの工夫がされている。 ○ 使用文字の大きさや書体は適切で読みやすいものとなっている。小さな文字の読み取りが苦手な生徒に対して、ゴシック体の振り仮名を付けるなどの配慮がされている。 ○ 図表や写真等のレイアウトやバランスを工夫し、資料が読みやすく、色映えするように配慮されている。 ○ 針金綴じを用いて製本するなど堅ろうである。また、環境に配慮して再生紙や植物油インキを使用している。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴史 706	書 名	中学社会 歴史 未来をひらく
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「歴史の窓」や特設ページを充実させ、資料を活用しながら多面的・多角的に考察し、根拠を持って学習課題を考察することができるように配慮されている。 ○ 内容のまとめりごとの見通しと振り返りの学習場面を充実させ、本時の学習のまとめでは学習内容を自分の言葉で説明するなど言語活動に取り組む工夫がされている。 ○ 第一章では小学校で学んだ歴史上の人物や文化遺産等を振り返る作業活動が位置付けられており、生徒が楽しみながら歴史学習を進めていくきっかけとなるように工夫されている。 ○ 社会的事象の歴史的な見方・考え方の視点を働かせた学習の進め方につなげるためのページを教科書の冒頭に設定し、学習の充実と発展を図る工夫がされている。 ○ 各時代バランスよく資料が提示されており、取り上げられている内容や資料は適切で出所や出典等も明確である。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習内容をイメージできるような資料を中心に導入ページを構成し、資料の読み解きの活動を通じて、生徒が興味・関心を持って章の学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 1時間で見開き2ページごとに「学習課題」(学習の見通し)と「確認/表現」(振り返り)を設け、生徒の主体的な学習や内容の理解を促す配慮がされている。 ○ 章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎・基本の定着を図る工夫がされている。 ○ 3分野の学習を関連させて現代社会につながる歴史的な事象や課題の扱いを充実させるなど、社会科をより深く理解することができる内容や構成になるように配慮がされている。 ○ 時代ごとに郷土の伝統・文化への関心を高めるテーマを紹介したり、地域調査の手法について詳しく紹介したりする工夫がされている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題に対応した「確認」と「表現」という2段階の問いで、本時の学習を振り返り、基礎・基本の定着を目指す工夫がされている。 ○ 1時間の学習を見通す「タイトル」の提示で、生徒に「知りたい・考えたい」という学習課題を持たせ、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。 ○ 資料を活用しながら学習を深められるように、資料の読み解きを支援するコーナーがあり生徒が自ら資料を活用する力を育てるように工夫されている。 ○ 現代社会の諸課題についての取扱いを充実させ、生徒が、自分たちが生きる社会について多面的・多角的に考察し、深く理解できるように配慮されている。 ○ インターネットを活用して学びを広げることができる「まなびリンク」等、歴史を様々な角度から深め、生徒の多様な興味・関心等に応じた学習に対応している。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時代ごとにページが色分けされており、視覚的に時代区分がとらえやすくなるように配慮されている。 ○ 同社の小学校社会科の教科書に登場する児童キャラクターが、中学生に成長した姿で登場し、学習の連続性や親しみを感じることができるように配慮がされている。 ○ 本文の活字は大きめであり、生徒が主体的に資料活用ができるように資料を大きく掲載するなどの工夫がされている。 ○ カラーユニバーサルデザインの視点を取り入れ、レイアウトや配色、書体等の表現が工夫されている。 ○ 再生紙と植物油インキを使用し、印刷においてはバイオマスで発電されたグリーン電力を使用している。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 7	書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当時の社会に見られた課題に対する様々な立場や選択を取り上げ、多面的・多角的に課題を追究させ、各時代の特色を捉えることができるように配慮されている。 ○ 歴史学習の基礎的・基本的な技能を習得させるため、「技能をみがく」や資料活用を問う設問等が各所に設けられており、多面的・多角的な分析の力が養えるように工夫されている。 ○ 歴史をつくってきた人々の姿に焦点をあて、その苦労や努力について気付かせ、学習意欲を高めながら我が国の歴史に対する理解を深めることができるように工夫されている。 ○ 過去の様々な人々の日常生活の営みや努力、工夫を知ることを通して、生徒がよりよい社会の創造に参画しようとする態度を身に付けさせることができるように配慮されている。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。また、資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設置されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、各時代を比較したり疑問点を発見したりしながら、歴史の大きな流れを把握できるように内容が配列されている。 ○ 各章、各節のねらいと内容のまとめりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。 ○ 本文を補足する図解等によって、基礎的・基本的な内容の定着への配慮がなされている。また、特設ページ等により発展的な学習まで取り組めるように配慮されている。 ○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、内容・分量ともに適切である。各所に「歴史を探ろう」を設置し、各校の年間指導計画に広く対応できるように工夫されている。 ○ 中央とは異なる地域の姿を描いた「地域史」が設けられており、地域について興味・関心を高めながら、地域の実態に合わせて広く活用できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章・節・各見開きページそれぞれの冒頭に、単元を貫く問いを設け、生徒自身が学習内容の関連を図りながら見通しを持って学習できるように配慮がされている。 ○ 見開きページの末尾に「確認しよう」「説明しよう」の欄を設け、生徒自身が興味を持ちながら対話的な学びを実践したり、振り返り活動が行えたりできるように工夫されている。 ○ 各節の導入の特設ページ「タイムトラベル」や「技能をみがく」という特設ページを適宜設けながら、生徒の興味・関心に応じた多様な学習が行えるように工夫されている。 ○ 文化史や地域史、人物コラム等が設けられていたり、歴史上の災害などをコラムで取り上げ防災意識を高めたりするなど、総合的な学習の時間との関連を図る工夫がされている。 ○ 挿絵、図表、写真が適切に配置されている。また、資料の一部や学習内容に関する動画をQRコードから閲覧でき、生徒が興味を持って自学自習できるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章が平易で、人物や地名等には振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現が工夫されている。 ○ イラストや図版が多様で特設ページも多く、生徒が親しみや魅力を感じながら学習に取り組めるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザイン・フォントが使用され、文字は見やすく大きさも適切である。また、見開きごとに学習内容の時期を着色した年表を設けるなど見やすい工夫がされている。 ○ 見開きページのグラフ、地図等が、学習課題に対して関連を図りながら適切な大きさに配置されている。また、識別しやすい色や模様が使用されている。 ○ 用紙に古紙やフレッシュパルプを使用したり、インクに国産の米ぬかを原料とするライスイंकを用いたりするなど、環境に配慮がされている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	8 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 8	書 名	中 学 歴 史 日 本 と 世 界
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各テーマの冒頭に、そのテーマを理解するための発問をし、本文を読む視点を示したり、学習に対する見通しを持たせたりするなどの工夫がされている。 ○ 「ステップアップ」では、更なる課題追究に向けた発問が提示され、その後の歴史への影響等を考えさせる内容となっている。 ○ 「身近な地域を調べよう」では、歴史学習の導入として、学習の進め方を詳しく説明しており、また、イラストを適宜使うことで生徒が理解しやすい内容となっている。 ○ 多様な発問によって、歴史が変化する過程でおこる諸課題を意識する歴史的な見方・考え方が身に付くように工夫されている。 ○ 学習内容が習得できるように各時代バランスよく資料が提示されており、出所や出典等も明確である。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の初めに日本史と世界史に関係する写真を、上下に分けて時代順に示し、視覚的に流れをつかませる工夫がされている。 ○ 基本的に一つのテーマを見開き2ページとし、授業時数 135 単位時間で無理なく学べるテーマ構成となっている。 ○ 各章の「まとめ」では、歴史の流れや因果関係などに着目させたり、比較させたりする発問があり、各時代の流れ・特色を確認することができる工夫がされている。 ○ 「歴史へのアプローチ」では、グローバルな視点で見たテーマ・ポイントを絞ったテーマ等、歴史的事象を多面的・多角的に考察するように工夫されている。 ○ 「地域からのアプローチ」では、各地域の歴史について、時代の展開や文化財保護の取組等を理解させることで、歴史を学ぶ現代的な意味を考えさせる工夫がされている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にとって意味の分かりにくい用語に関しては、同じページに詳しい解説が付いており、その都度、理解できるように工夫されている。 ○ 高等学校の教科書や図録に出てくるものは中学生が理解できるよう平易な内容となっており、高等学校の「歴史総合」「歴史探究」等の学習につながるように配慮されている。 ○ 高等学校の教科書に出てくる史料を口語訳し、高等学校の教科書に出てくる史料を中学生で見慣れさせておく工夫がされている。 ○ 「歴史を考えよう」では、生徒の興味・関心を高める資料を基に「思考力・判断力・表現力等」を高める問いが付され、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がされている。 ○ 博物館・資料館のホームページサイトや動画を見たり、音声を聞いたりすることができるようにQRコードを付けるなどの工夫がされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図版が大きく、バランスよく配置されており、生徒に考えさせたいところに発問を提示し、どこに注目すべきかの示唆を与える工夫がされている。 ○ 社会や経済の仕組み等、生徒にとって理解しにくかったり、イメージしにくかったりする学習内容を図式化して視覚的につかませる工夫がされている。 ○ 各テーマの基本色を日本の歴史と世界の歴史で分け、学習内容が日本のことか世界のことかが分かるように工夫されている。 ○ 各世紀の世界の様子を地図とイラストを用いて紹介しており、日本の歴史と世界の歴史を関連付けて考えさせるように工夫されている。 ○ ワイド版で見やすい体裁で、再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮がなされている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 0 9	書 名	中 学 社 会 歴 史 的 分 野
1 内 容 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的事象に関する関心を高め、資料の読み取りや意見交換などで多面的・多角的に課題を考えることができ、対話的な学びを促す活動の場面が設定されている。 ○ 資料で前後の時代を比較したり、年表と世界地図を使って、時間軸と空間軸から時代を捉えさせたりして「思考力・判断力・表現力等」を高めるように配慮されている。 ○ 小学校での学習内容を踏まえて地理的分野、公民的分野と関連させながら学べるように、発達の段階に応じて意欲的に学習できる内容が工夫されている。 ○ 生徒が興味・関心を持って主体的に取り組むことができる課題を設定し、学習に入りやすくなるように主体的な学びを促す課題設定が工夫されている。 ○ 学習課題の解決に向けて各時代バランスよく資料が提示されており、出所や出典等も明確である。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入単元の第1編、各時代の特色を学ぶ第2編から6編、未来を構想する学習の順番で構成され、歴史の大きな流れを理解し、未来を考えることができるように配慮されている。 ○ 歴史的分野の目標を踏まえて、学習課題を明確にし、導入からまとめまでの流れは各編で共通に構成されており、通史の理解に配慮されている。 ○ 本文・図版では、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援している。生徒の思考に沿って基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進めるための配慮がされている。 ○ 学習課題の理解を深めるため、見方・考え方を働かせる問いを示すなど、各校の年間指導計画に広く対応できる工夫がされている。 ○ 時代ごとに史跡・文化財・人物を紹介しており、生徒が歴史を身近に感じながら地域の歴史を調べる手順を学び、問題解決を図る態度を育てるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題に対応した「確認」を設け、基礎的・基本的な知識の確実な定着や習得した知識を活用してまとめることができるように工夫がされている。 ○ 「チャレンジ歴史」等のページを設け、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験し、主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫されている。 ○ 歴史の学習の最後に「歴史との対話を未来に活かす」ページが設けられ、生徒一人一人が歴史的事象に興味・関心を持ち、知識だけではなく技能の習得にも配慮されている。 ○ 小学校社会科、地理的分野・公民的分野と相互に関連した教材が取り上げられており、教科書全体を通して関連のある教材を掲載されている。 ○ 資料等の読み取りにおいては視点が提示されており、生徒の資料活用能力を高めるような工夫がされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすい文章表現となっており、語句の説明や解説等が必要に応じ記載されている。また、学習している時代や世紀を常に確認できるように配慮されている。 ○ イラストや図版は鮮明で生徒の興味・関心を高める配慮がされている。また、大判ページで絵画資料を読み取る楽しさを実感できる教材の工夫がされている。 ○ 活字は比較的大きめで、重要語句にはすべて振り仮名を付け、書体もユニバーサルデザインフォントを採用し、小さな文字でも読みやすくする配慮がされている。 ○ 各単元で単元カラーを設定し、色遣いを統一している。また本文と図版を関連させて読み取れるように工夫されている。 ○ ワイド判で見やすい体裁で、カラーユニバーサルデザインへの対応もされている。また、本体の軽量化も配慮されている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 7 育 鵬 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 3 5	書 名	最 新 新 し い 日 本 の 歴 史
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的事象に対する関心を高め、資料等を活用して多面的・多角的に考察する力を養うように配慮されている。 ○ 「思考力・判断力、表現力等」を養うため、言語活動の充実を図ることができる特設ページ等が豊富に設定するなどの工夫がされている。 ○ 歴史上の人物に焦点を当て、その苦労や努力について気付かせ、学習意欲を高めながら我が国の歴史に対する理解を深めることができるように工夫されている。 ○ 我が国の歴史だけでなく、我が国の歴史の背景にある世界の歴史についても学習課題等を設けることで、日本の歴史と世界の歴史の関連性が理解できるように工夫されている。 ○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。また、各時代の資料がバランスよく提示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我が国の歴史については系統的に配列されており、我が国の歴史が大きな流れが捉えやすくなるように配慮されている。 ○ 各章、各節のねらいと内容のまとめりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。 ○ 各単元の導入に問題提起となる発問を設け、学習内容を把握し定着への配慮がされている。また、多様な特設ページ等により発展的な学習まで取り組めるように配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる内容や分量である。「歴史のターニングポイント」等が設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 地域の文化財資料や、各地域の文化遺産が多く紹介されており、地域について興味・関心を高めながら、地域の実態に合わせて広く活用できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページごとに学習課題が設定されており、学ぶべき基礎的・基本的な知識や考え方を把握しながら、生徒が見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○ 見開きページに「つかむ」ための資料、「調べる」ための資料、「まとめる」ための資料を配置し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 「歴史ビュー」「歴史ズームイン」等の特設ページを設けており、多面的・多角的な視点から発展的な学習が行えるように配慮されている。 ○ 各時代を代表する日本や世界の文化遺産等が写真で紹介されており、生徒の興味・関心に応じて学習が行えるように配慮されている。 ○ 学び方の手立てを示したり、歴史の流れを大観したりするページが設けられている。また、挿絵や写真、図表等が時代の特色に応じて適切に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章表現も平易であり、語句の説明や解説が必要に応じて記載されている。また、人物や地名等に振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現となっている。 ○ イラストや図版が多様で特設ページも多く、生徒が親しみや魅力を感じながら学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 文字の大きさは適切で、重要語句や重要人物を太字のゴシック体で表記するなど、読みやすい工夫がされている。 ○ 図版は大きく、色彩や形等にも配慮がなされている。また、見開きページ上部の絵や写真等の資料が掲載されている部分を本文と色分けすることで、読みやすい体裁となっている。 ○ 用紙に再生紙を使用したり、インクに大豆油インキを用いたりするなど、環境に配慮がされている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 9 学 び 舎	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 1 1	書 名	と も に 学 ぶ 人 間 の 歴 史
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の歴史を背景に、日本の歴史を大きく理解させ、資料から調べ、まとめる技能を身に付け、多面的・多角的な考察を深め、様々な表現活動となるように配慮されている。 ○ 各単元の「まとめ」には、身に付けた基礎的・基本的な知識を用いて、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を育成するための課題を設定するなどの工夫がされている。 ○ 学習内容を振り返りながら、「学び方・まとめ方」を身に付けられるような工夫を行っている。また、各単元の導入段階に「テーマ」を設け生徒の興味を高める配慮がされている。 ○ 学習内容の構造化と焦点化を重視して各テーマが設定されており、歴史の具体的場面や時代を生きる人々の姿を捉えながら、学習内容の充実が図られるように工夫されている。 ○ 歴史を捉える重要事象の理解に加え、庶民や女性の生き方や文化とその担い手、世界から東アジアをみる視点等、多面的・多角的な学習内容となるように工夫されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史の大きな流れが理解できるように本編 113 のテーマに配列されているとともに、世界史教材の多様、近現代史学習の充実を目指した内容が工夫されている。 ○ 各時代の特徴をつかませるために、各部・各章において、政治・文化・産業・対外関係・民衆の動き等について広く焦点を当てる内容が工夫されている。 ○ 各部・各章の終結段階には、知識・技能に関する確認問題があり、それを基に歴史事象の因果関係等を説明する課題を設けて発展的な学習につなげる工夫がされている。 ○ 基礎的・基本的な知識の定着を図る適切な内容となっている。また、各校の年間指導計画に広く適合するように工夫されている。 ○ 地域の遺跡や文化財、先人の功績を取りあげたり、「地域の博物館」学習を設けたりして、身近な地域の学習が行えるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を読み、図版を読み解いていくことにより、生徒自身が気づき、疑問を持って主体的に学習できるように配慮されている。 ○ 各部・各章のまとめに意見交換や自らの言葉による時代の特色についての説明等の活動を取り入れ、主体的・対話的な学びの実践につなげる工夫がされている。 ○ 時代区分の欄に「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設けることで、各地のできごとがより多くの生徒に分かりやすく捉えられるような配慮がされている。 ○ 体験学習やインターネットでの検索、博物館学習、インタビュー調査とまとめ、話し合い学習等の進め方が紹介されており、他教科等の学習にも生かせる内容となっている。 ○ 索引ページを充実させることで、歴史的事象や日常の事物の多面的・多角的な理解を目指す工夫がされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な文章で書かれ、生徒が自ら読み進めることができ、気づきや疑問が生ずるような表現が工夫されている。 ○ 子供や女性等、歴史の裏側に隠れがちな人々の生活や業績に焦点をあてることで、興味・関心を引き出し、主体的な学習ができるように配慮されている。 ○ 文章表現や漢字の使用、振り仮名等が、想定される学習・学年に応じて編集されており、学習に取り組みやすいように配慮されている。 ○ 判型をA4判とすることで、豊富な資料と本文記述を盛り込めるようにし、見やすく印象的な紙面づくりが工夫されている。 ○ 針金を使わない堅ろうな製本になっている。環境に配慮するため、再生紙、植物油インキが使用されている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	公民 901	書 名	新しい社会 公民
			東 書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治、経済、国際関係の現状と課題等が具体的に記述されており、現代的な諸課題について考えながら、公民としての資質・能力の基礎を養うことができるように工夫されている。 ○ 東日本大震災からの復興や防災対策、防犯などの課題について、具体的事例を通して考えさせるなどの工夫がされている。 ○ 中学生が社会参画している事例や、日常生活に関する身近な話題を取り上げることで、よりよい社会の形成に関わる意欲や態度が高まるように工夫されている。 ○ 学習内容を精選し、知識、概念、技能が活用されるような問い掛けで示された学習課題に取り組ませることで、探究的な学習になるように工夫されている。 ○ 写真や統計資料の出所、出典が明示され、領土に関わる問題や伝統文化などの内容にも偏りがないように配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初めに公民学習の基盤である「人権や憲法」を学習し、「経済」については政治や政策との関連から学習を深められるようにするなど、学習内容が系統的に配列されている。 ○ 単元全体を貫く「探究課題」が設定されており、各章のねらいが明確で、まとまりのある内容になるように工夫されている。 ○ 基礎的な「知識・技能」を系統的に習得させるための「スキル・アップ」を設けている。また、地理・歴史や他教科と関連付けて、公民学習を多面的に深めるように工夫されている。 ○ 標準授業時数 100 単位時間のうち 5 単位時間の予備時間が設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設け、小学校から中学校への学習を円滑に接続できるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各見開きに、短時間の説明・要約などで学習をまとめる「チェック&トライ」を設け「思考力・判断力・表現力等」を高められるように工夫されている。 ○ 「公民にチャレンジ」では、生徒が主体となって行う活動が数多く取り入れられ、「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動が効果的にできるように工夫されている。 ○ 各章の学習を、学習に興味・関心を持たせる「導入部」、学習を進める「展開部」、学習をまとめる「終結部」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくなるように配慮されている。 ○ 他教科と関連があるページには「教科関連マーク」を付し、学習を多面的に深められるように工夫されている。 ○ 教科書に掲載されているQRコードやURLからリンクすることで、関連する資料を確認できるように工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な記述に加え、図表や写真等で視覚的にも理解できるように工夫されている。また、重要事項やつまづきやすい事項は、用語解説で簡潔な補足説明を加えるなど配慮されている。 ○ 漫画やイラストを豊富に掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるように配慮されている。 ○ 使用している文字は、ユニバーサルデザインフォントで見やすく配慮されている。また、本文の振り仮名や参照ページの文字濃度を抑えて、本文が読みやすいように工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインによって図表等は誰にでも見やすいように配慮されている。また、資料の掲載部分が色付けされ、視覚的に本文と区別できるように工夫されている。 ○ 環境に配慮した植物油インキが使用されるとともに、針金綴じを用いて製本するなど、堅ろうで長期間の使用にも耐えられるものになっている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 902	書 名	中 学 社 会 公 民 と も に 生 き る
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会に対する関心を高め、様々な社会的事象について多面的・多角的な見方により考察し、公民としての基礎的教養を培うことができる内容となっている。 ○ 「SDGsの達成に向けて、いま私たちに何ができるか」を考えることを通して、主体的に問題解決を図る態度を育てることができるように工夫されている。 ○ 生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題や内容を多く取り上げ、学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 内容が精選されており、更に今日的な課題をテーマにした特設ページを多数設けることで、発展的に学習をすることができるように配慮されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、領土問題については学習指導要領に基づいて、記載されている。また、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民的分野の四つの大項目に示された内容を、系統的・効果的に学習することができるように全体を四つの領域に分けて構成されている。 ○ 学習内容を象徴する主題と学習事項を表す副題を置き、併せて「学習課題」を明示することで課題意識を明確にすることができるように配慮されている。 ○ 各章末に、「学習のまとめと表現」が設けられ、基礎的・基本的な学習内容を振り返る問題と表現力を培う課題が配列されている。 ○ 全7章がバランスよい分量で区切られており、各校の年間指導計画に広く対応できるものとなっている。 ○ 各章の扉ページには人々の様々な活動場面の写真を掲載し、身近な生活と関わらせて学習内容が想起できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「確認」「公民の技」「表現」等のコーナーが設けられ、基礎的・基本的な「知識・技能」を習得させるとともに、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるように工夫されている。 ○ 六つの表現活動で構成された「言葉で伝え合おう」の特設ページを中心に、グループによる学習の場面が設けられ、主体的・対話的で深い学びが実践できるように配慮されている。 ○ 各章末では、基礎的・基本的な問題から、資料を読み取ったり文章でまとめたりする発展的な問題まで幅広い課題が用意されていて、多様な学習ができるように配慮されている。 ○ 「関連」コーナーでは、各時間の学習内容と関連する小学校、他分野、他教科の学習が紹介されている。 ○ 挿絵や写真等は適切に配置されている。掲載されたQRコードやURLは公的機関等、公正中立なものに精選されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の文章は平易で、社会科特有の用語や新出の語句には振り仮名を付けるなど、理解しやすくなるように配慮されている。 ○ 写真・イラスト・地図・グラフ・図解等の資料が豊富で、出典と併せて視覚的に捉えやすく配置されている。 ○ 多くの生徒にとって見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりがなされている。また、ユニバーサルデザインフォントによる黒文字を基本に記載されている。 ○ 資料の大きさやバランスが適切で、レイアウトが工夫されている。また、資料を補足する吹き出しの文字は読みやすい改行の工夫が取り入れられている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。また、印刷にバイオマスエネルギーによって発電された電力、再生紙と植物油インキが使用され、環境への負荷を軽減するように配慮されている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 0 3	書 名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的な問題を本文やグラフで示し、生徒がこれからの社会に参画していく必要性を解説するなど、公民としての資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。 ○ 1単位時間の学習で「学習課題」で見通しを持たせ、「確認しよう」「説明しよう」で「思考力・判断力・表現力等」の育成と定着を図るように配慮されている。 ○ 実生活に関連する身近な事項について、大きな写真や親しみやすいイラスト等の資料を用いて提示することで、学習内容への関心を持たせるように工夫されている。 ○ 現代社会の見方や考え方について、対立と合意等の具体的な事例を交えることで、生徒の理解を深める工夫がされている。 ○ 国際問題等については、歴史的経緯や現状を示しつつ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会、政治、経済、国際の四つの部を、章・節・見開きの三つの段階で構成し、それぞれに問いと振り返りを設け、学習の見通しとまとめができるように配慮されている。 ○ 巻頭の「公民的分野の学習の全体像を見通そう」や各部の初めの「第〇部を見通そう」で学習の見通しを持たせるなど、ねらいを明確にする工夫がされている。 ○ 「章の学習を振り返ろう」では、1で基礎的・基本的な知識の定着を図り、2で「思考力・判断力・表現力等」を三つの段階で学ぶなど、学習の流れを作る工夫がされている。 ○ 単位時間が見開き2ページ構成となっており、内容・分量が適切である。豊富なコラムを取り上げることで、発展的な学習を年間指導計画に組み込めるように配慮されている。 ○ 自分が住む身近な地域の伝統文化の事例を取り上げて課題に取り組みせることで、自分事として学習に取り組みせる工夫がされている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章・節・本文ページの冒頭に学習する内容を問いの形式で示すことで、生徒自身が学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 「アクティブ公民」で、ディスカッションやロールプレイング等の手法を用いることで、主体的・対話的で深い学びや技能の定着等を図るように工夫されている。 ○ 本文のページに「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設定されており、予習や復習がしやすいように工夫されている。 ○ 地球環境・エネルギー問題で理科と関連した内容を取り上げるとともに、「対立と合意」「国際協力」等で道徳的な内容が関連付けられている。 ○ QRコードを入れて動画や参考資料、ウェブページを参照することができるなど、タブレット等のICT機器を活用しての授業を想定した工夫がされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文や資料ともに平易な文章が用いられるとともに、多くの漢字に振り仮名が付けられているなど、生徒がスムーズに学習に取り組めるように配慮されている。 ○ イラストの活用やスマートフォンの画面を利用することで、生徒にとって親しみやすく、なじみ深い教材になるように配慮されている。 ○ カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを採用することで、誰にとっても見やすくなるように工夫されている。 ○ 大きな写真を使うことで生徒の関心を高める工夫がされている。グラフの色調や線種の表記等で特別支援教育にも配慮した表現が取り入れられている。 ○ 紙の重さを軽量化し、増ページの重さの負担が抑えられている。耐久性に優れた再生紙を利用し、ライスインキで印刷するなど環境保全と地産地消への配慮がされている。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 0 4	書 名	中学社会 公民的分野
			日 文				
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、社会的な見方・考え方を働かせながら課題を追究したり、解決したりする資質や能力の向上を図る学習が工夫されている。 ○ 東日本大震災を取り扱い、持続可能な社会と関連付けて復興に向けて考えさせるなどの工夫がされている。 ○ 小学校と地理・歴史の学習の振り返りによる分野間連携、更には高校「公共」との連携等を意識した学習内容が構成されている。 ○ 少子高齢化、情報化、グローバル化等の現代社会の特徴を的確に捉えており、具体的な資料を用いて考えさせ、生徒の将来に生かせるように工夫されている。 ○ 資料の出所、出典が明示され、領土、伝統文化、環境・エネルギー、防災等に関する内容が適切である。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材が、現代社会、政治、経済、国際社会、私たちの課題の順番で配列されており、系統的・発展的に進めやすいように工夫されている。 ○ 各編冒頭に、学習のポイントを親しみやすいイラストと新聞記事で考える「ナビ」を置き、学習内容を広い視野から大きく捉えさせ、関心と意欲を持てるように工夫されている。 ○ 題材ごとに「確認」コーナーが設けられ、基礎・基本の定着をねらいとした学習活動や問いが提示され、習得した知識・技能を用いて文章化・言語化できるように工夫されている。 ○ 90時間の授業時数で学習が完結できるように作られており、各校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 「明日に向かって」のページを設け、身近な地域の抱える課題を考えたり、生徒の社会参画を促したりするための手掛かりとなるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入から確認までの授業の流れが構造化されており「知識及び技能」の定着と「思考力・判断力・表現力等」の育成ができるように工夫されている。 ○ 「アクティビティ」では、習得した知識を使い、見方・考え方を働かせながら考察する問いを設けており、生徒による主体的・対話的で深い学びが進められるように工夫されている。 ○ 単元末の「学習の整理と活用」では、単元全体に関わる問題を設け、見方・考え方に关わる問題も掲載して、自学自習ができ、自己評価にも対応できるように工夫されている。 ○ 「連携コーナー」で地理や歴史的分野、小学校での学習内容との関連を示している。また、社会参画や国際理解等、道徳と関連する教材が多数採用されている。 ○ 抽象的な概念を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。また、ウェブページ上の動画や資料等にアクセスできるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は平易で分かりやすい表現となっており、読みにくい漢字には振り仮名が付けられるなど、生徒が学習に円滑に取り組むことができるように配慮されている。 ○ 人権の学習において、紙面に点字を用いたり、身近なバリアフリーを紹介したりして、社会生活への関心と社会参画の意識を高めるための工夫がされている。 ○ カラーユニバーサルデザインを使用しており、全ての生徒が文字や図版類を読み取りやすいように配慮されている。 ○ 資料の配置場所や大きさが適切で見やすく、吹き出しによって学習のねらいに迫るように工夫されている。 ○ 製本は堅ろうなあじろ綴じが採用されている。また、植物油インキと再生紙を使用し、光沢を抑えた目に優しい印刷が用いられ、環境や健康に配慮されている。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 5	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 0 5	書 名	新 し い 公 民 教 科 書
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民主権を担う公民としての基礎的教養を養い、社会の諸問題に着目し、自ら考えようとする態度が培われるように記述内容が配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な内容から発展的な内容へと系列的に配置され、対立と合意、公正と効率等を具体的に取り上げ、「思考力・判断力・表現力等」を育てるように工夫されている。 ○ 多くの先人が残した功績とそれによって築き上げられてきた制度や仕組みを数多く紹介することで、生徒の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 各章では、基礎的・基本的な事項の理解を図るように工夫されている。また、終章では各章の学習を発展させ、持続可能な社会の形成者としての態度等を培うように工夫されている。 ○ 領土をはじめとする現代社会の諸問題を具体的に取り上げ、複数の考え方が併記されている。また、資料の出所、出典が適切に明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的な国家の誕生から国民の権利、国民の平等、政治参加等と段階的に学習ができるように配列され、基礎的な内容から複雑な社会の課題までを学習できるように工夫されている。 ○ 取り扱うべき内容が適切に配置され、72に構成された單元には、見出しの下に問い掛けが示されており、学習のねらいが明確になるように配慮されている。 ○ 各章では、基礎的・基本的な学習ができるように構成されている。また、「もっと知りたい」のシリーズでは、主体的に学習しようとする意欲を高められるように配慮されている。 ○ 序章、終章と五つの章による構成は、各校の実態に応じて年間指導計画を作成することができるように配慮されている。 ○ 生徒の学習心理を考慮し、重要な事項を複数の單元で重ねて学習することで、理解を段階的に発展させるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が基礎的な意味を理解できるように基礎的事項を厳選し、そこから体系化して再構成することで、資料を活用する技能、主体的な学びが行われるように工夫されている。 ○ 「アクティブに深めよう」シリーズでは、身近な内容をもとに、グループで話し合うことで、対話を通して考えを深められるように配慮されている。 ○ 各章末の「学習のまとめと発展」は、基礎的・基本的な問題から文章で表現する発展的な問題まで幅広い課題が用意されていて、多様な学習ができるように配慮されている。 ○ 公民に関連した史実が確かめられるように工夫されているほか、「日本人の精神」「科学とは何か」「芸術とは何か」等の横断的・総合的な学習ができるように工夫されている。 ○ 学習するために必要な挿絵や図表・写真等は明瞭で、精選された資料が適切に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的に認知度の低い内容には補足的な解説が付き、理解しやすくする工夫がなされている。また、振り仮名を付けることで、読みやすくなるように配慮されている。 ○ 単元の見出しはシンプルに、イラスト付きのコメント等は親しみやすく表現されている。また、章ごとに色分けされ、活用しやすくなるように配慮されている。 ○ 重要な語句やまとめの文章は太字ゴシック体で表現されるのに対し、補足内容はやや小さいサイズで表記されるなど、表現が工夫されている。色彩や印刷は鮮明である。 ○ 本文を中心に必要な図表や写真、補足内容の解説が適切にレイアウトされている。図表や写真が精選されている。 ○ 製本は、体裁がよく堅ろうである。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	227 育 鵬 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 906	書 名	[最新] 新 し い み ん な の 公 民
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公民としての基礎的教養を培うために厳選された教材・資料を通して、世の中の変化や現代の課題を多面的・多角的に考察できるように配慮されている。 ○ 小学校の学習内容を各章の扉で、地理的・歴史的分野の学習内容は該当する見開きで紹介することで、小・中の系統性と3分野の関連性を高める配慮がされている。 ○ 図やグラフ、写真等には理解を深めるための解説を付けるなど、生徒が興味・関心を持って学習できるように工夫されている。 ○ 表紙裏にSDGsを特集するなど、現代社会を学ぶ上で必要な内容に重点を置く配慮がされている。 ○ 国際問題等では、日本と他国の主張を比較し、年表で経緯を示すなど、自ら考え調べようとする態度を育成できるように配慮されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「つかむ、調べる、まとめる」という問題解決型の学習過程の流れを明確にし、生徒が幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるように配慮されている。 ○ 各章の扉に各章の学習内容を象徴する資料を取り上げている。各章では「入り口」と「これから」を設け、章全体の学習内容の趣旨を捉えさせるように工夫されている。 ○ 「学習のまとめ」で語句の確認を行うとともに、学習内容を自分の言葉でまとめさせることで、思考力・判断力・表現力等の向上が図られように配慮されている。 ○ 単位時間が2ページごとになっており、内容・分量が適切である。また、「深めよう」等の発展的な学習課題を柔軟に指導計画に取り入れられるように配慮されている。 ○ 各章の初めの「入り口」には、これから学習する内容が自分たちにどのように関わっているのかを考えさせられるように内容が工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小集団による話し合いやディベートなどを行う「やってみよう」等のコーナーを設け、思考力・判断力・表現力等を高める多様な学習ができるように配慮されている。 ○ キャリア教育等、自分の人生や社会とのつながりを感じる教材や、合意形成の重要性に気付く事例教材を通して、主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 ○ 自分で学んだことを生かして重要な順番にランキングしたり、コンビニエンスストアの店づくりを考えたりするなど、生徒の個性や能力に応じた配慮がされている。 ○ 「男女の平等」「日本の文化」「対立と合意」等の学習内容を通じて、平等、郷土愛、公正等の道徳的態度を養えるように配慮されている。 ○ 写真や図表の大きさを必要に応じて変えたり、難解な用語を解説する補足を付けたりするなど、生徒の理解を助けるための配慮がされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 概念的な内容を学習する単元では、生徒の理解を助けるためにイラスト等を用いて表現したり、巻末に用語解説を設けたりする配慮がされている。 ○ 記述された語句や内容に関する参照ページを付けたり、男女の生徒のイラストを入れて注目すべきポイントを示したりする配慮がされている。 ○ 重要語句や難解な漢字には振り仮名が付けられている。振り仮名にはゴシック体を用いて、小さい文字が誰にでも読みやすいように配慮されている。 ○ 図版は、色覚特性を踏まえて判別しやすい色の使用や表示の工夫を行い、生徒が見やすいように配慮されている。 ○ 一部に再生紙を利用し、植物油インキで印刷するなど、環境に配慮されている。造本は長期間の使用に耐えられる丈夫な製本となるように配慮されている。 						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図 7 0 1	書 名	新 し い 社 会 地 図
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野でも活用できるように地図帳による学びのサポートができるように工夫されている。 ○ 資料のポイントや見方・考え方を示したキャラクターの吹き出しを設けることにより、資料を読み取る力を高め、学びを深められる内容となるように工夫されている。 ○ 地図帳の活用方法が詳しく示されており、発達の段階に応じた様々な調査学習に対応できるように配慮されている。 ○ 地形の特色が捉えやすく、巻末資料が充実しており、課題解決的な学習に対応できるように工夫されている。 ○ 環境、防災など現代社会の諸課題に関する資料が豊富にあり、公正かつ適切に資料が取り上げられており、出所や出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の教科書の構成に沿った配列である。州や地方の最初には教科書の概観の学習を補完する資料が掲載されており、授業で活用しやすいように配慮されている。 ○ 単元のねらいに迫るために、精選された地図、統計資料が掲載されている。また、活用の方法も示されるなどの工夫がされている。 ○ 基礎資料を通して基礎的・基本的な知識を確実に習得できるように配慮されている。また、教科書の資料を補完する資料が掲載され、発展的な学習への配慮がされている。 ○ 内容や分量は適切であり、各地域・テーマごとに資料が掲載され、各学校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 教科書の学習内容に合わせた掲載範囲になるように工夫されている。また、地方ごとに生活に密着したテーマ資料が掲載されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般図、基本資料、テーマ資料で構成され、巻末の統計資料と併せて、課題解決的な学習に活用できるように構成が工夫されている。 ○ 地理的分野を中心に、教科書の本文や資料を補完したり、より深める資料が取り上げられたりするなど、主体的・対話的で深い学びに活用しやすいように配慮されている。 ○ 地形の特色が捉えやすく、資料索引も探しやすい配慮がされ、生徒が読み取りやすく活用しやすいように工夫されている。 ○ 環境、資源、エネルギー、防災等、他教科や総合的な学習の時間との関連を図りやすい資料が豊富に掲載されている。 ○ ICT機器を活用して利用できる資料にはDマークコンテンツが付けられ、学習効果が高まるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地名等には振り仮名が付けられ、図表の表題を生徒が分かりやすい表現にするなど、図表を活用するにあたり適切な配慮がされている。 ○ 生徒の関心の高い身近なテーマの資料を多く掲載し、生徒の発達の段階に応じた興味・関心を高めるように工夫されている。 ○ 一般図や資料に明るい色づかいを採用し、地図上の文字の可読性が高く、色覚特性のある生徒も区別しやすい配色やゴシック系の字体を使用するなどの配慮がされている。 ○ 視覚的効果が高い幅広の判型を用い、資料を豊富に掲載するとともに写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になるように工夫されている。 ○ 糸がかりとじて製本し、造本は堅ろうで長時間の使用にも耐えるものになっている。再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮されている。 						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図 7 0 2	書 名	中 学 校 社 会 科 地 図
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的な見方・考え方を働かせて課題を追究するための幅広い情報が掲載されており、変化や関連性の視点、技能が空間認識を伴って身に付くように工夫されている。 ○ 生徒自らが世界や日本の諸課題について考え、検討したり話し合ったりして取り組める課題や作業が提示されている。 ○ 小学校の復習を含めて地図帳を活用するための方法が具体的に示され、読み取る力を身に付けられるように作業コーナー等が工夫して配置されている。 ○ 3分野の横断的な学習内容の充実を図るために必要な基礎的・基本的な資料、情報が地図上に掲載され、今日的な課題にも対応できるように工夫されている。 ○ 人々の営みや地域的特色について視覚的に捉えやすい資料が多く、領土や自然災害・防災、伝統文化について適切な学びができるように説明が工夫されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料図が同縮尺にまとめられるなど、知識や技能を習得・活用して、思考・判断・表現等しながら課題を解決する学習過程への工夫がされている。 ○ 世界は州別に、日本は地方ごとに構成され、地域的特色が適切に理解できる題材が偏りなく選定されている。 ○ 資料図は、比較を通して地域的特色が考察できるように縮尺が統一されており、他地域との比較等、発展的に活用できるように工夫されている。 ○ 地域的特色が理解できる、また、幅広い学習に対応できるように、多角的・多面的に資料が選定されており、分量も適切である。 ○ 今日的な課題への対応に関する意識を高められるように、防災・領土、SDGsの観点に基づいた資料が多くあり、様々な実態に広く適応するように配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳の基本的な見方・使い方が解説された「地図帳の使い方」、地形図の見方が身に付けられるコーナーが設定され、主体的な学習態度の育成に配慮されている。 ○ 地理的スキルが身に付くだけでなく社会的な見方・考え方を働かせて追究できるように生徒が主体的に学べる問いを新設するなどの工夫がされている。 ○ 自然環境や生活・文化、産業等のイラストを配した鳥瞰図により、地域的特色が視覚的に捉えられ、大観できるように工夫されている。 ○ 伝統文化や自然環境、「防災」マークがついた資料図が多数掲載され、復旧・復興の視点も取り上げられ、他教科や領域の学習にも活用できるように配慮されている。 ○ QRコードが設置され、生徒が主体的に学び、資料活用能力を高められるように工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ イメージを高めることに役立つイラストが多数掲載され、地名には振り仮名が付けられており、生徒が発達の段階に応じて理解できるように配慮されている。 ○ 生徒の興味・関心を高め、地域の姿をより具体的にイメージできるように鳥瞰図が世界各州ごとに掲載されており、地図に親しみやすいように配慮されている。 ○ 可読性の高いユニバーサルデザインフォントが使われ、5色刷りで鮮明に印刷され、図・写真ともに細かな文字まで読み取りやすくなるように工夫されている。 ○ A4判に大型化することで紙面の真上が北になり広範囲に表現され、地域的特色を大観し概略をつかみやすいよう工夫されている。 ○ 長期間の使用に耐えられる丈夫な製本仕様である。古紙、および環境にやさしいフレッシュパルプ、植物油インキが用いられるなど環境に配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学	7 0 1 8 0 1 9 0 1	書 名	新 し い 数 学 1 新 し い 数 学 2 新 し い 数 学 3
			東 書					
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章で育成を目指す資質・能力を「章とびら」で明確にし、それらが見方・考え方を働かせた数学的活動を通して育成されるように内容が工夫されている。 ○ 「虫めがねマーク」の吹き出しで、問題発見・解決の過程で、生徒が自ら数学的な見方・考え方を働かせたり、振り返りを意識したりすることを促すように配慮されている。 ○ 1学年では中学校数学の授業開きとして「算数から数学へ」を設定し、小・中学校の円滑な接続が図れるように工夫されている。 ○ 側注の「ちょっと確認」や巻末の「学びのつながり」では、生徒のつまずきに対応したり、学び直しの機会を充実したりするなど工夫されている。 ○ 生徒の実生活に密接に関連した教材や今日的課題に関わる話題が偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典が明らかである。 							
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの章で、単元を貫く題材を設定することで、学びが連続し、生徒が主体的に取り組み、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 内容のまとまりごとに学習課題と問題を設定し、生徒が見通しを持って学習に取り組み、その学習を振り返ることで知識・技能の定着を図ることができるように配慮されている。 ○ 例題の理解を確認する「◆マーク」や巻末の「補充の問題」で基礎的・基本的な内容の定着を、「章の問題B」の「活用の問題」で発展的な学習を進めるための配慮がされている。 ○ 練習問題は過度な負担が掛からないような分量であり、個人差に対応して巻末等で問題量を補充できるように工夫されている。 ○ 各節の導入等で、生徒の思考の流れを大切にし、疑問が次の学びへとつながる系統性や連続性のある単元構成になっており、生活や各地域の実態に適合できるように配慮されている。 							
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「大切にしたい数学の学び方」を示して、問題解決の進め方とともに、発表の仕方や聞き方、深める視点などが分かるように配慮されている。 ○ 「深い学びのページ」では、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を設定している。 ○ 巻末に「補充の問題」、「数学の自由研究」が用意され、個人の多様な個性や能力に対応して、補充的、発展的な学習が行えるように配慮されている。 ○ 他教科に関連する題材には「教科関連マーク」を付け、生徒の学びが他教科にも広がるように配慮されている。 ○ Dマークコンテンツでは、各学年巻頭のQRコードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツが用意されており、視覚的な理解への配慮がなされている。 							
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書全体を通して、生徒の発達の段階を考慮した記述になっており、理解しやすくなるように配慮されている。 ○ 生徒の活動を促す場面では、身の回りの具体物の写真を多く用い、数学と日常生活を結び付けて捉え、生徒が親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ インデックスで検索しやすくする、全ての文章を読みやすい位置で改行する、行間を広くとり数式を区別しやすくするなどのユニバーサルデザインを採用している。 ○ 紙面の右側を余白とする側注形式をとっており、マーク類や側注を精選し、余白のある学びやすい紙面に工夫されている。 ○ 用紙は白色軽量化用紙を使用し、インクは環境やアレルギー等に配慮したものを使用している。また、製本は開きやすく、堅ろう性、耐久性に優れた方式を採用している。 							

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 0 2 8 0 2 9 0 2	書 名	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3
			大日本				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動の中で数学的な見方・考え方を働かせることができるような具体例を設けており、数学科の目標達成のための工夫がされている。 ○ 算数と数学の違いや、数学を学ぶ意義について触れることができる内容である。また、「数学の世界へようこそ」では数学の学習の仕方について明記されている。 ○ 章末の「社会にリンク」では、様々な職業の様々な実在の人物を紹介し、職業と数学の関連に触れて数学の有用性を実感し、学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 基礎的な内容がよく精選されている。また、「学びにプラス」を設けて学んだことを深めるなど、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 生徒の生活に関連した教材や福祉や防災等、今日的課題に関わる話題が偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典が明らかである。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次には「これまで学んだこと」として既習事項の学年の内容について明記しており、学んだことを振り返ることができ、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 学習のねらいが明確に示されている。また、学習内容の理解を促す言葉の説明や「思い出そう」を設けるなど工夫されており、内容にまとまりがある。 ○ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る問題が掲載されている。また、学んだことを生かして取り組む発展的な内容を扱っている。 ○ 基礎・補充・発展的な内容がバランスよく掲載されている。各領域の配置がまとまっており、各学校の年間指導計画にも広く対応できるように工夫されている。 ○ 生徒にとって身近な場面を扱う問題が計画的に配列されている。巻末には生徒が疑問に思ったことを選択して取り組める例を示した「課題学習」が配列されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章末に学習内容を活用して課題を解決する「活用・探究」を設けており、思考力・判断力・表現力等を育成できるように工夫されている。 ○ 各章の「活動」では、考えを比べたり、話し合ったりする場面が設定されており、主体的・対話的で深い学びを实践できるように工夫されている。 ○ 「プラス・ワン」、「補充問題」が設けてあり、生徒の習熟度に応じて取り組むことができるように配慮されている。 ○ 巻末の「MATHFUL」では、数学と身の回りの事象との関連を扱い、理科や美術、音楽等の他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 「ノートづくり」や「研究をしよう」、「レポートを書こう」等、学習の手引きが豊富である。また、ウェブページが適切に配置されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年で使用する文字を大きくするなど、表記、表現が発達の段階に応じて配慮されている。 ○ 各章の扉では生徒の日常生活に関連した事柄を扱っており、関心を持てるような工夫がされている。また、生徒が親しみを感じるキャラクターも設定されている。 ○ 本文にはユニバーサルデザインフォントを使用し、色覚特性に配慮した4色刷りで全ての人に見やすい配色になっている。 ○ 図表や写真が鮮明で大きく掲載されている。加法や減法では、見開きで配置するなどレイアウトが適切である。 ○ 表紙は丈夫な紙を使用し、汚れにくい加工が施されており、堅ろうである。環境に配慮した紙や植物油インキを使用している。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 学 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	中 学 校 数 学 1 中 学 校 数 学 2 中 学 校 数 学 3
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての章に数学的活動に重点を置いて学習できるページが設定されており、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力が育成できるようにまとめられている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう、既習事項を示したり、適用問題を配置したりするなど、生徒の主体的な取組を引き出す学習内容となっている。 ○ どこまで理解できるようになったのか、生徒自らが確認できる「章を学んで」が各章に設定されており、生徒の学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 章末には基礎、応用、活用の三つに分類された問題があり、生徒の習熟に合わせた学習ができるように工夫されており、学習の充実と発展が図られている。 ○ 身近な題材や生徒の興味・関心を高める学習内容が偏りなく掲載され、数学的な概念をイメージ化するのに適した資料が豊富で、その出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校や前学年での既習事項を確認した後で、新しい学習に取り組むことができるように構成されており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 小節ごとに目標が示されており、どのような問題を解決していくとよいのかが明確になっていることで、見通しを持って学習に臨めるように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な内容の定着を図るための時間が取れ、章末に生徒の実態に応じて扱える問題を配置するなど、発展的に学習を進められるように配慮されている。 ○ 全員が必ず学習する内容と、生徒の興味・関心や習熟度に応じて学習する内容の配分が工夫されており、各学校の年間指導計画に適合できる配列になっている。 ○ 興味が持てる題材や生徒の身近な題材、各地域の写真を数多く掲載するなど、どの生活地域の生徒にも対応できるものとなっている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ ページ内の「見方・考え方」では、問題解決への方向性が示されており、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成できるように配慮されている。 ○ 「数学的活動」では、問題解決に向けた見通しを持ち、生徒自ら考え、主体的・対話的で深い学びを実践できるよう、左側に帯を付けて学習過程を明確にしている。 ○ 誤りを指摘し直す問題や、基礎・基本となる問題が一目で分かる復習問題があるなど、生徒の多様な個性や能力に対応している。 ○ 各学年の巻末に、「海面水位の上昇」や「フェアトレード」、「エシカル消費」に関連する問題が取り上げられており、他教科との関連に配慮されている。 ○ 効果的な挿絵や図表、写真等が適切な場面で掲載されている。QRコードも配置されており、学習に関する情報が収集できるように工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地名や人名、中学校で初めて学習する漢字、新出の用語には振り仮名が付いている。本文や説明文は、生徒の発達の段階を考慮した言葉遣いや表現になっている。 ○ キャラクターや挿絵、図や写真類は、生徒にとって身近なもので、学習内容の理解の一助となるよう提示され、学習意欲の喚起にもつながるものとなっている。 ○ 書体、文字の大きさ、字間や行間、分数等の数式について、表記の工夫がされている。印刷も鮮明で、色彩に配慮した区別しやすいマークを使用している。 ○ 視覚的に理解しやすい情報量で、図表等が配置されている。生徒が教科書に書き込みしやすいよう、図は外側に配置するなどのレイアウトも工夫されている。 ○ 軽量で長期間の使用に耐えられる仕様になっており、環境に配慮した用紙や植物油インキを使用しており、健康やアレルギーに配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学	7 0 4 8 0 4 9 0 4	書 名	中 学 数 学 1 中 学 数 学 2 中 学 数 学 3
			教 出					
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「数学的な考え方」では、学習を進める上で大切にしたい数学的な見方・考え方について既習事項を使って紹介し、数学科の目標達成のための工夫がされている。 ○ 章末や巻末の「学んだことを活用しよう」では数学に関連のある身の回りの事象を取り上げ、数学を学習したことのよさを実感できるように工夫されている。 ○ 「章のとびら」では数学と実社会とのつながりを紹介している。章の導入の「Let's Try」では身近な題材や操作的活動を取り入れ、生徒の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 巻末の「補充問題」では、基礎的な問題と発展的な問題（「実力アップ問題」）が設定されており、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 資料や図は学習内容に適したものが精選されて使用されており、出所、出典も明示されている。 							
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章ごとに既習事項の確認、節末の「基本の問題」、章末の「学習のまとめ」、「章の問題」、「学んだことを活用しよう」と配列されており、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 学習のねらいが詳細に示され、見通しを持って学習できるように配慮されている。章の問題には評価の観点が表示されており、生徒自身が自己評価できるようになっている。 ○ 「例題」、「たしかめ」、「問」、と繰り返し学習し、基礎的・基本的な内容の定着を図る構成となっている。計算問題等でも数学的な考え方を意識できるように配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な内容や発展的な内容の他に、補充的な内容も充実しており、各学校の年間指導計画にも対応できるように配慮されている。 ○ 身近な課題や教材が、単元の中や巻末に計画的に配列されており、生徒の生活の実態に対応できるように配慮されている。 							
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 素朴な疑問を「？」で示し、生徒が主体的に解決していくように配慮されている。学習したことを活用する課題を設けることで思考力・判断力・表現力等の育成に配慮されている。 ○ 身近な課題や多様な考えが出る問題では話し合いの場面を設定し、問題解決の過程を細かく示すなど、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫なされている。 ○ 「補充問題」や「実力アップ問題」、「数学の広場」等、生徒が主体的に学習できるページが設けられ、生徒の多様な能力に対応している。 ○ 「数学の広場」では職業人を紹介して数学とのつながりを実感できるようにしたり、環境問題を取り入れたりするなど、他教科との関わりにも配慮されている。 ○ デジタルコンテンツ「まなびリンク」では、動的な表現や3Dによる立体表現等を通して学習理解を深めることができる。QRコードからのアクセスも可能である。 							
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文節のまとまりなどの読みやすい位置で改行したり、文章表現を簡潔にしたりすることで、理解しやすいように工夫されている。 ○ キャラクターを用いてポイントを見やすくしたり、写真を用いて実生活と結び付けやすくしたりするなど、生徒が数学に親しみを持てるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを取り入れることで、生徒が読みやすいように工夫されている。 ○ 資料や図表が見やすく配置されている。さらに中心的な内容と補足的な内容が区別されており、見やすく工夫されている。 ○ 印刷には再生紙と植物油インキを使用するなど、地球環境への影響が出ないように配慮されている。また、本文用紙は軽量化を図り、生徒への負担を軽減している。 							

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1 啓 林 館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 0 5 8 0 5 9 0 5	書 名	未 来 へ ひ ろ が る 数 学 1 未 来 へ ひ ろ が る 数 学 2 未 来 へ ひ ろ が る 数 学 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で触れた数学的な見方・考え方を振り返り、繰り返し確認できるように「虫眼鏡」が設定されており、数学的な見方・考え方を意識し、身に付くように配慮されている。 ○ 節ごとに数学的活動を取り入れた「学習のとびら」が設定されており、主体的に学習に取り組み、数学的活動の楽しさや数学のよさを感じることができるようになっている。 ○ 「数学ライブラリー」では、学習したことに関連した身の回りの題材を紹介しており、生徒の学習意欲を高め、理解が深まるように配慮されている。 ○ 問題解決の過程を体得できるような「利用」が設定されており、身の回りの場面から問題を発見したり、更に問題を発展させたりする力を育成するように配慮されている。 ○ 生徒の実生活に関連した題材や今日的な課題に関する内容が取り上げられており、資料や図の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の内容を基に新しい学習内容へと発展させる「ひろげよう」や、既に学習した関連する内容を取り上げる「ふりかえり」など、学習内容の系統性に配慮されている。 ○ 数学的活動を取り入れた課題が配置され、各章、各節のねらいが明確で、まとまりのある配列になっている。 ○ 「みんなで学ぼう編」の「問」や「練習問題」、「章末問題」には、基礎的・基本的な問題が配置され、「自分から学ぼう編」では、興味・関心に応じて取り組むことができる数学を活用する問題や発展的な問題が取り上げられている。 ○ 各領域の内容が系統的・発展的に組織・配列されており、各学校の年間指導計画にも広く対応できる構成となっている。 ○ 「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっており、学校での学習と家庭等授業外での学習の両方を深められるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「説明しよう」、「話しあおう」、「まとめよう」など表現活動の場面が設定されており、対話的な学習を通して思考力・判断力・表現力等が育成できるように工夫されている。 ○ 「？」では、教科書とは別の考え方を考えたり、新たな疑問を見出したりする視点が示されており、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 「自分から学ぼう編」の「学びのあしあと」では、学びの記録を残すことができるように配慮されており、進んで学んでいくことの楽しさを実感する工夫がされている。 ○ 「学びをいかそう」では、日常生活や社会、他教科との関わりを考えることができる題材や学習した内容を更に深めることができる題材が扱われている。 ○ QRコードが掲載されており、教科書の内容に関連するコンテンツを利用することができ、学習の助けになる教材を参照することができるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の文章は、意味や文節で改行し、1行の文字数を少なくしており、読みやすく、意味が理解しやすくなるように配慮されている。 ○ 親しみやすい動物の表紙となっており、「みんなで学ぼう編」は、表の表紙から始まる横開き、「自分から学ぼう編」は、裏の表紙から始まる縦開きと工夫されている。 ○ 識別がしやすい書体を採用し、温かみのある優しい配色である。また、色以外でも情報を伝えるなどの工夫がされている。 ○ キャラクターのコメントや図表、写真等は、生徒が課題を自力解決するためのヒントとして有効であり、適切に配置されている。 ○ 書き込み等の作業がしやすいように製本されており、体裁がよく、強度も確保されている。また、再生紙と植物油インキを使用しており、環境やアレルギーにも配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 0 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 0 6 7 0 7 8 0 6 8 0 7 9 0 6 9 0 7	書 名	これからの数学1 これからの数学1探究ノート これからの数学2 これからの数学2探究ノート これからの数学3 これからの数学3探究ノート
			数 研				
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自ら考えて問題解決に向かう姿を対話形式で掲載することで、問題を数学的に解決するプロセスに焦点が当たるように工夫されている。 ○ 各章の学習の前に既習事項の学び直しができる「ふりかえり」があり、学習内容の系統性を意識した構成になっている。 ○ 主体的な活動を促すようになじみやすいキャラクターをガイド役にして考えるタイミングや考え方のヒントを提示することで、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 各章における本文やそれに関する問題、及び巻末「数学旅行」や「考えよう」等の課題が設定されており、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 全国の話題や、福祉や地域環境などの今日的課題について偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入から活用まで「Q」や「TRY」を中心とした学習動機が得られるように工夫されている。また、通常の「問」にも理解と活用する力が深まるように配慮されている。 ○ 本冊と別冊の2部構成にすることで、ねらいを明確にし効果的なタイミングで課題に取り組めるように工夫されている。 ○ 項のまとまりごとに、「問」、「確認問題」、「章の問題」、「チャレンジ編」が設定され、基本的な事項の習得と発展的な事項の学習ができるように配列されている。 ○ 生徒の理解度に応じて選択できる要素が充実しており、各学校の環境や年間指導計画に対応できるように配慮されている。 ○ 章や節の導入で身近な題材を扱うことで、生徒の興味・関心を喚起させ、巻末「数学旅行」では数学と社会との関連について考察できるように配列されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題を考える際のヒントや学習のまとめ等が明記され、基礎的・基本的な「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」が育成できるように配慮されている。 ○ 生徒キャラクターの対話を通して、学習内容のポイントと習得に至るまでのプロセスが明確にされ、主体的・対話的で深い学びが実践できるように工夫されている。 ○ 既習との関連を踏まえた振り返りや学び直しの機会が設けられ、先の学年や高度な内容にも触れられており、多様な個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 濃度や天体等の他教科に関連する課題や防災教育、道徳教育等、教科教育を超えた指導ができるように配慮されている。 ○ QRコードからデジタルコンテンツを使用することができ、動画やアニメーション、補充問題等、学習内容を定着させるための工夫がされている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年用と2・3学年用で問題の文末表現を変更しており、算数から数学への抵抗感を抑えるように工夫されている。 ○ 課題を考える際のヒントや学習のめあて、まとめ、重要事項等がマークや色分けされて提示されており、生徒が親しみを感じやすいように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインを採用しており、鮮明で見やすく、見分けやすい色使いになるように配慮されている。 ○ 資料、図及び写真等が必要に応じて配置されており、興味を持って理解できるように配慮されている。 ○ 本冊、別冊とも堅ろうなつくりになるよう製本されている。また、軽くて丈夫な再生紙と植物油インキを使用しており環境に配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 0 8 8 0 8 9 0 8	書 名	中学数学1 中学数学2 中学数学3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学科の目標達成のために、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通じた学習となるように内容が工夫されている。 ○ 巻頭に学習の仕方が示されており、生徒の学習意欲を喚起し、主体的な取組を引き出すことができるように配慮されている。 ○ 生徒の発達の段階を考慮し、学年ごとの系統性や3年間を見通した系統性、領域間の関連性、小・中の連携に配慮し、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 各学年の配当時間の約8～9割（1・2学年は約9割、3学年は約8割）で学習できる分量にしてあり、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 教材や場面の選定、記述に偏りが無いよう配慮され、資料や図の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭、各章、巻末の構成で内容が配列され、既習事項とのつながりが分かるような一覧性のある目次が示されており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 原則として1小節が1時間の授業内容で構成され、学習内容の区切りを明確にして学習の焦点化を図ることができるように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な内容の「問」、難しい問題の「チャレンジ」、巻末の「補充問題」があり、基礎的・基本的な内容の定着と発展的な学習を進めるように配慮されている。 ○ 省略や後からの扱いが可能な内容の「やってみよう」や、余剰時間に指導可能な「数学マイトライ」等が設けられ、弾力的な指導計画を立てられるように工夫されている。 ○ どの地域の生徒にもなじみがあり、生徒の日常生活や将来の社会生活で役に立つ場面が取り上げられ、生徒の生活や各地域の実態に広く適合するように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」、「話し合おう」、「深めよう」のマークが付けられ「思考力・判断力・表現力等」の育成及び主体的な学習態度の形成を進められるように配慮されている。 ○ 生徒が興味・関心を持てるような素材が選定されるとともに、問題解決的な授業展開の流れが明示され、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 身近に感じられるような素材の問題や「対話シート」、「とりくんでみよう」、「数学のたんけん」等が用意され、生徒の多様な個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 道徳教育、キャリア教育、防災や安全、環境、国際理解、現代的な諸課題に関連する題材が取り上げられ、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 「WEB」マークの付いている箇所には、関連したアニメーション、シミュレーション等が教科書QRコンテンツとして用意され、適切に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な正確さを重視しながら発達の段階を考慮した平易な表現がなされ、理解を助ける図や式などが添えられており、学年に応じた表記、表現が配慮されている。 ○ 数学的活動の楽しさや数学のよさが中学生のキャラクターを使って表現され、生徒が親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントが全面的に使用され、カラーバリアフリーやユニバーサルデザインを採用しており、可読性が高くなるように配慮されている。 ○ まとまりや区切りが分かる枠囲みや紙面の適度な余白が設けられており、発達の段階を考慮したレイアウトやデザインが工夫されている。 ○ 表紙に耐水性や堅ろう性に優れた表面加工が施され、資源保護に配慮した再生紙、環境や人体への影響が少ない植物油インキを使用しており、環境への配慮がされている。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 0 1 8 0 1 9 0 1	書 名	新しい科学1 新しい科学2 新しい科学3
			東書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究的な流れを基本として内容が構成されており、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って実験・観察を行い、教科の目標が達成されるように配慮されている。 ○ 生徒の意欲を喚起するために、より身近な題材を取り上げ、探究的な学習の流れの中で直接的な体験ができるように工夫された観察、実験が示されている。 ○ 導入部分では、「レッツスタート!」やコラム等、身の回りの事象について考えさせる場面が設定されており、生徒の意欲を高め、主体的に学びを進められるように工夫されている。 ○ 「例題」「練習」「確認」が設定され、考え方の丁寧な解説が示されていること、「学びをいかそう」やコラムが充実していることで基礎的な学習から発展的な学習まで網羅されている。 ○ 出所、出典が明示されており、写真やその他資料において地域や内容等の偏りはなくバランスよく提示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入部分に「これまでに学んだこと」を配置し、小学校や中学校での既習事項を示すことにより学習の系統性を意識させ、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 本文全編にわたって「before & after」を各章のはじめと終わりに入れることで各章のねらいが明確になり、自己の考えや変容が確認できる構成になっている。 ○ 発展的な学習内容は、基礎的・基本的な内容と十分な関連が図られ、内容の程度・分量ともに適切であり、学習内容が確実に定着し、更に深まるように配列されている。 ○ 基本的な学習内容は厳選され、観察、実験も精選されており、ゆとりを持って学習が進められるように作成されており、各学校の計画の自校化に対応できるように工夫されている。 ○ 配列は、生活や各地域の実態に広く適合できるものであり、主体的・対話的で深い学びが実践できるように身近な題材からはじまり、専門性の高い題材へと配列が配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題に対する結論を表現しよう」を配置することで言語活動を充実させ、思考力、判断力、表現力等の育成が図られるように配慮されている。 ○ 「レッツスタート!」で生徒の主体的な学びを引き出し、対話が広がるように具体例を記載し、「学びをいかして考えよう」を配置することで学びが深まるように工夫されている。 ○ 多様な個性や能力に対応し、学びを深められるように「発展」が用意されている。また、学習する時期も明示されており、学習の円滑な接続のための配慮がされている。 ○ 他教科との関連を図るとともにSDGs・防災・道徳教育等との関連も図られるように配慮されている。 ○ 情報収集が必要な箇所やつまづきやすい箇所にDマークコンテンツが付されて整理されており、特徴によりマークを使い分けて表示するなどICT活用が促されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校との接続に配慮し、1学年では小学校6学年の教科書と同じ大きさの文字が使用されている。読みにくい漢字には初出箇所では振り仮名が付けられるなどの配慮がされている。 ○ 鮮明で大きな写真、キャラクターや歴史上の人物などのイラスト、漫画による説明が適宜盛り込まれており、生徒にとって親しみやすいつくりになっている。 ○ 見出しや図のタイトル等で字体や大きさ、色等、適切に使用されているとともに、文字や表、写真の配置と余白のバランスがよく、見やすくなるように配慮されている。 ○ 判型がA4スリム判になっており、軽量化を図るとともに開きやすく見やすいつくりとなっている。 ○ 用紙には再生紙が使用され、金属を使用しないことによる省資源化やリサイクル性が意識されたつくりになっている。また、植物油インキを使用するなど環境への配慮がされている。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 0 2 8 0 2 9 0 2	書 名	理科の世界1 理科の世界2 理科の世界3
			大日本				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「理科の学習の進め方」や巻末の「探究の進め方」のページで、具体的な課題の例を基に分かりやすく探究の過程が示されており、教科の目標が反映されている。 ○ 日常生活や他教科との関連が図られた内容に加え、生徒が直接体験したことのある内容が重視されており、豊富な資料を基に幅広い教養を身に付けられるように工夫されている。 ○ 教科書全体を通して、生徒の学習意欲を高める観察、実験や写真等の図版、読み物の資料を多く取り上げ、主体的に課題を解決しようとするための工夫がされている。 ○ 学年に応じて学びを段階的に進めることができるよう、重点を置く活動内容がマークで分かりやすく示されており、学習の充実と発展を図ることができるように配慮されている。 ○ 写真やその他資料において地域や内容等の偏りはなく、今日的な話題も取り上げられており、補助的な資料のグラフ等には出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一単位時間ごとに課題が明記され、実験、結果、考察、まとめという流れで問題解決の能力育成を意識した構成となっており、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 単元のはじめに既習事項と学習内容が掲載され、単元のねらいが明確になっている。また、高校での学習内容との関連も記載されており、系統性に配慮されている。 ○ 単元の最後に「まとめ」、「単元末問題」が配置され、学習した内容を確認するとともに、それらを活用して課題を解決する発展的な内容が盛り込まれている。 ○ 基本的な学習内容や観察、実験の内容が精選されていて、単元や教材の数、領域のバランスが適切であり、2学期制、3学期制のいずれの指導計画にも適合できる配慮がされている。 ○ 実験がしやすい時期や、各学年で実験器具の使用が重ならないことを考慮して、単元が配列されており、生活や地域の実態に広く対応できる工夫がされている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章末問題や単元末問題に加え、単元末に読解力を問う問題を掲載しており、基礎的・基本的な知識・技能の習得だけでなく、課題解決能力も養われるように配慮されている。 ○ 生徒が主体的に学ぶことができるよう、「考えよう」や「話し合おう」の場面が設定されており、キャラクターの会話場面を掲載して対話的な学びを促す工夫がされている。 ○ 個に応じた学びを主体的に進めるために「やってみよう」が設定されており、創造性を伸ばさせられるように工夫されている。 ○ 「科学のあしあと」や「くらしの中の理科」で国語や社会等他教科とのつながりのある話題が載せられており、学習の広がりを感じられるように配慮されている。 ○ 学習に活用できるデジタルコンテンツが豊富に用意されており、対応するページにはQRコードが配置され、それぞれのウェブサイトへリンクするように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階に応じて、文字の大きさや情報量が適切なものとなるように調整が図られている。また、学年が上がるにつれて発展的な学習内容が多くなるように配慮されている。 ○ 生徒間の活発な話し合いを促すための吹き出しを多用したり、キャラクターを配置したりすることにより、学習課題に親しみや魅力を感じることができるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインを採用しており、全ての生徒が見やすく、使いやすくなるよう工夫されている。 ○ 説明を補足する写真や図、グラフが大きくはっきりとしていて見やすく、レイアウトやバランスも適切である。 ○ 再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されたものとなっている。製本は体裁よく堅ろうである。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	中 学 校 科 学 1 中 学 校 科 学 2 中 学 校 科 学 3
			学 図				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習対象に応じた理科の見方・考え方とともに、それらを働かせて取り組む課題が示されており、科学的に探究する能力の基礎と態度を育成するように工夫されている。 ○ 身の回りの自然現象を観察したり、自らの経験や実体験を生かしたりする学習が配置されており、日常生活との関連付けや直接体験を重視した学習内容に対応している。 ○ 巻頭に、理科を学ぶ意義や学んだことが実社会でどのように生かされていくかについて考えるための提示があり、学習意欲が高められるように配慮されている。 ○ 各単元の後に「学びを日常にいかしたら」というページがあり、学習内容を整理、価値付けするとともに、興味・関心に応じた発展的な学習につなげられるように工夫されている。 ○ 土地の様子や自然現象、施設等は国内各地の写真が扱われている、また、環境保全、防災・減災や国際的な協調等の今日的課題に関わる話題が偏りなく取り上げられている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察、実験の基本的な内容を理解した上で学び方を確かめ、更に学習を通してどのような力を身に付けたかを振り返る構成となっており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 単位時間ごとの「見方・考え方」が明示され、加えて単元を通して育てたい資質・能力の三観点が示されており、学習の見通しを持たせるように工夫されている。 ○ 観察、実験におけるノートづくりのヒントが示されており、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに自学自習等の発展的な学習に取り組んでいけるように配慮されている。 ○ 各分野の記述量はほぼ均等である。また、区分に関しては、各学校の地域や生徒の実態に応じた年間指導計画に対応できるように配慮されている。 ○ 動植物や自然現象の観察、各地で発生している自然災害等に関する学習をはじめ、生徒の生活や各地域の実態を踏まえた対応ができるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元ごとに「学びをいかす」が設定され、既習事項を確実に身に付けるとともに、文章記述で答える問いの提示により、「思考力・判断力・表現力等」の育成に配慮されている。 ○ 各単元末に対話的な学習の実践例や深く考えるための方法、考えを深める活動例が示され、主体的、対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。 ○ 探究的に学習に取り組むためのモデルが提示されているほか、巻末のホワイトボードで思考が整理できるようになっており、多様な考え方や個性を生かした学びに対応している。 ○ 他教科との関連や、SDGs とのつながりを考えるように意図されており、総合的な学習の時間等の学習にも対応するように配慮されている。 ○ 教科書に表現しきれない教材がQRコードで閲覧できるようになっており、学習に有効活用できるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第3学年まで統一された表記で編集されているほか、学年間のつながりが表現されており、3年間を通して安心して学習に取り組むことができるように配慮されている。 ○ イラストに生徒の吹き出しが多用され、実際に対話をするような場面が例示されることによって、学習課題に親しみを感じることができるよう配慮されている。 ○ 全体がユニバーサルデザインで整えてあり、文字の多きさや字間、色使いや図の配置等のレイアウトの工夫によって読み取りやすくなっている。 ○ 連続写真による動きの説明や、必要な情報量の工夫によって見やすく整理された図等が必要に応じてバランスよく配置されている。 ○ 印刷には植物油インキが用いられ、グラデーション等の濃淡も美しく表現されており、更に環境への配慮がなされている。製本は体裁よく堅ろうである。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 0 4 8 0 4 9 0 4	書 名	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3
			教出				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも探究の過程を通して、観察、実験等に関する基本的な技能や科学的に探究する力及び態度が身に付けられるように配慮されている。 ○ 観察、実験、実習に加え、「やってみよう」と「チャレンジ」が随所に設定されており、直接体験と問題解決のプロセスが重視されている。 ○ 豊富な資料の中で、科学技術が生活や社会でどのように役立てられているのかが紹介されており、科学の有用性が感じられ、学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 探究するために必要な観察、実験等に関する基本的な知識・技能について「基礎技能」と明示し、巻末に一覧も掲載することで、常に確認できるように工夫されている。 ○ 資料に偏りがなく、今日的な話題も取り上げられており、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各单元ごとに「疑問から探究してみよう」を設定し、課題の把握、追究、解決の流れに沿って探究型の授業を展開することで、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 单元のはじめに「学んでいくこと」、章のはじめに「これまでの学習」が示されており、学習内容やねらいが明確で、系統性を意識させる配列になっている。 ○ 課題と結論が明示され、基礎的・基本的な内容の確実な定着に配慮されている。また、応用、発展的内容も取り上げるなどの配慮がされている。 ○ 各分野の記述量は適量であり、生徒や地域の実態に応じて調整が可能となっており、年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 巻末の「校外の施設を活用しよう」で、各地域の様々な施設が紹介されており、学校での学習に広がりを持たせることができるように工夫されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な「知識・技能」の定着を図り、説明する場を設定することで、「思考力・判断力・表現力等」の育成に配慮されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びの実践に向け、生徒キャラクターが発する疑問や対話の内容の吟味、「考えよう」「話し合おう」を設定する場面や機会の工夫がされている。 ○ 「理科で使う算数・数学」が示され、個のつまずきに対応して学び直しができるようになっており、算数科・数学科との関連性が実感できるように配慮されている。 ○ コラム「ハローサイエンス」等を通して、日常生活や他教科、高校等との関連が随所で図られるように配慮されている。 ○ 「まなびリンク」として教科書の内容と関連のあるコンテンツを集めたウェブサイトが活用できるように配慮されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の文字は、他学年より大きなサイズになっており、発達の段階に応じて配慮がなされている。また、各学年ともに簡潔な表現になるように工夫されている。 ○ 色鮮やかな写真を多く掲載することで、自然の美しさ、精妙さ、偉大さが感じられ、生徒の感性や知的好奇心が高められるように工夫されている。 ○ 鮮明な再現性を保ちながら、色の違いが分かりにくい箇所には色名を記載するなど、ユニバーサルデザインへの配慮がされている。 ○ AB変形判を採用しており、小学校の教科書に慣れた生徒が使いやすい大きさである。また、写真や図が大きく、見やすくなっている。 ○ 製本は堅ろうで、再生紙と植物油インキを利用したり、印刷でグリーン電力を使用したりするなど、環境へも配慮されている。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1 啓 林 館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 0 5 8 0 5 9 0 5	書 名	未 来 へ ひ ろ が る サイ エン ス 1 未 来 へ ひ ろ が る サイ エン ス 2 未 来 へ ひ ろ が る サイ エン ス 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察、実験を中心とした学習展開となっており、探究しようとする態度を育てるとともに「思考力・判断力・表現力等」を育て、高めていくように配慮されている。 ○ 生徒の興味・関心を高める写真や身近な現象と結び付ける問題を示すなど、日常生活と関連付けて科学的に考える工夫がされており、体験を重視した学習内容に対応している。 ○ 「探究のふり返し」では、仮説や計画の妥当性を吟味する場面が設定され、単元の学習後に一人一人の生徒の学習意欲に応じて新たな課題に取り組めるように工夫されている。 ○ 実社会や実生活との関連を図る内容を精選し、理科を学ぶことの意義や有用性が実感でき、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 幅広い分野の資料を掲載しており、取り上げた写真や図の出所、出典が巻末や資料に明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生命」「地球」「物質」「エネルギー」の4領域に分かれており、小学校から、高等学校までの系統性を意識しており、学習に取り組みやすいように配慮されている。 ○ 冒頭に、単元の学習に関する写真を大きく掲載することにより科学の魅力に引き込み学習意欲を高めるとともに、年間を通じた学習への見通しを持たせるように工夫されている。 ○ 生徒の実態に応じて、基礎的・基本的な内容の習得を図るための「学習のまとめ」や、上位学年や高等学校理科とのつながりが意識できる「発展」がバランスよく配列されている。 ○ 内容の分量は適量であり、同学年内の別単元で使用する用語の意味や活用する場面が確かめられるなど、各学校の特色ある年間指導計画に柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 地域の気候特性や各学校の履修形態に合わせて、年間指導計画を柔軟に組み直しすることができるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な「知識・技能」を確実に習得させ、それらを活用して、「思考力・判断力・表現力等」の育成が図られるように配慮されている。 ○ 「探Q実験」では、他者の意見を参考にしながら自分の考えを検討する場面を設定することにより、考えの変容や深まりを実感し、深い学びが実現できるように配慮されている。 ○ 科学コラムでは、「部活ラボ」「お料理ラボ」等、日常生活や実社会と関連付けた内容が充実しており、生徒の多様な個性や能力に広く対応している。 ○ 「〇〇と関連」で他教科との関連が示され、さらに「つながる学び」で同じ学年で関連する他の単元の内容を明示し、学習の広がりを感じられるように配慮されている。 ○ 挿絵、図表、写真等は、大きくて見やすく、QRコードにより映像、画像、音声で詳しく学習することができるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 難しい漢字には振り仮名が付けられていたり、第1学年の字の大きさが、他学年に比べて大きな字で書かれていたりするなど、学年に応じた適切な表記、表現になっている。 ○ 中学生を表した挿絵に、吹き出しを付けて疑問点や考え方のヒントを示すなど、生徒が親しみを持って学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 字の大きさや字体が適切で、文字間や行間のスペースを広めに設定されているとともに色覚多様性に配慮した单元ごとの配色になっており、鮮明で見やすく表現されている。 ○ 左右に広いAB版を採用し、鮮やかな色の図表や挿絵が多く取り入れられており、大きさや配置、レイアウトも見やすいように配慮されている。 ○ 手触りがよく丈夫な再生紙に植物油インキで印刷するなど、環境に配慮されている。また、製本も堅ろうである。 						

種 目	音 楽 (一般)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	音 楽 7 0 1 8 0 1 8 0 2	書 名	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
			教 出				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された教科の目標を踏まえ、多種多様な音楽文化に触れ、様々な音楽活動に取り組めるように工夫されている。 ○ 表現と鑑賞の関連を図った、幅広い音楽活動を通して、音楽科の目指す目標を達成することができるように工夫されている。 ○ 我が国と諸外国の様々な音楽について学ぶとともに、それぞれの音楽の持つ共通性と固有性に興味を持たせることで、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 教材曲の学習を基に、我が国の自然や四季の美しさ、文化、日本語の美しさを味わうための内容が精選され、学習の充実と発展を図るように工夫されている。 ○ 我が国の伝統音楽や、諸外国の音楽をバランスよく扱うことを通して、そのよさを味わい、愛着を持てるよう工夫されている。教材の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材におけるねらいが明確に教科書の小口に表示されることで、授業における目的と学ぶべき事項の確認、振り返りができるように配慮されている。 ○ 音楽の表現、鑑賞活動を「うたう」「つくる」「きく」の三分野に分けてバランスよく配列し、生徒が見通しを持って取り組むことができるように配慮されている。 ○ 教材ごとに「共通事項」を基にした「学びのポイント」が明示されるとともに、深い学びに向けた手掛かりを記載し、発展的な学習を進めるための配慮がされている。 ○ カリキュラムマネジメントを踏まえた「学びのユニット」で構成され、地域や学校の実態、生徒の発達の段階に応じて、多様な構成を検討できるように工夫されている。 ○ 表現及び鑑賞の二つの領域で構成しつつ、我が国の音楽や諸外国の音楽について幅広く取り扱っており、生徒や地域の実態に応じて活動できるように工夫されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材に「すすんで学びあおう」「比べてみよう」「深めてみよう」の表示が設けられており、主要教材の学びを深め、確かなものとするための工夫がされている。 ○ 「すすんで学びあおう」の欄では、体験的な活動の中で生徒が主体的・対話的に活動することを通して、深い学びに到達できるような工夫がされている。 ○ 我が国や郷土の伝統的な音楽、諸外国の様々な音楽について幅広く学ぶ上で、体験的な教材が準備されており、生徒の多様な個性や能力に広く対応している。 ○ SDGsとの関連を明示した教材を配置し、その学習を通して道徳教育や総合的な学習の時間との関連について、配慮や工夫がされている。 ○ 学習に役立つ情報を教材に合わせて利用できるように「まなびリンク」等を配置し、ウェブサイト上の様々な情報との関連付けを図るような工夫がされている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現は簡潔である。また、難しい言葉には振り仮名が付けられるなど、生徒にとって分かりやすくなるように工夫されている。 ○ 資料や写真、挿絵をバランスよく用いており、楽曲の持つ魅力や音楽によって描かれる自然の美しさを表すなど、生徒が親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ 印刷は鮮明で全体的に見やすく、活字にはユニバーサルデザインフォントを用いている。また、カラーユニバーサルデザインに基づく色使いが配慮されている。 ○ 基礎的な教材曲と発展的な教材曲について、使用する紙の色を変え、目に優しい配色とすることで、音楽活動をよりスムーズに行えるように配慮されている。 ○ 再生紙や植物油インキの利用、グリーン電力を用いた印刷など、環境保護について配慮されている。また、製本は堅ろうであり、長期の使用に耐える。 						

種 目	音 楽 (一般)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	音 楽 7 0 2 8 0 3 8 0 4	書 名	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3 上 中学生の音楽 2・3 下
			教 芸				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された内容を踏まえ、身に付けたい資質・能力を具体的な学習項目と〔共通事項〕の関わりを一覧として明示している。 ○ 学習目標が大きく示され、目標に迫るための具体的な学習活動を例示し、基礎的な学力の定着と活用する力の伸長が図れるように工夫されている。 ○ 吹き出しでヒントを示したり、作者のメッセージを掲載したりするなど、多様な音楽への興味・関心を持たせ、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 全学年を通して、教材が系統的・発展的に組織され、小学校における学習系統を踏まえ、各学年の発達の段階を考慮した無理のないものになっている。 ○ 郷土に伝わる民謡や諸外国の多様な音楽を取り上げ、実際に歌ったり、聴いたりしながら学習できるように配慮されている。教材や写真の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での学習内容を発展させて、各教材において段階的に「知識及び技能」が習得できるように工夫されている。 ○ 目標を明確にした教材が適切に配列されており、表現教材（主に前半）と鑑賞教材（主に後半）を関連させながら学習できるように工夫されている。 ○ 各教材に〔共通事項〕が明記され、基礎的・基本的事項を理解し、音楽活動を通して定着できるよう工夫されており、更に系統的で発展的な題材が配置されている。 ○ 日本に長く伝わる唱歌や歌唱教材が充実しており、各学校の年間指導計画や生徒の実態に合わせて幅広く対応できるように配慮されている。 ○ 生活や社会と音楽とのつながりを実感できる教材を数多く取り上げ、生徒や地域の実態に応じた音楽活動ができるように工夫されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」を教材ごとに設定し、「思考力・判断力・表現力等」の育成と主体的な学びを深めていくための工夫がされている。 ○ 「深めよう！音楽」では、表現や鑑賞の学習で曲に対する自分の考えを持ち、友達との交流を通して主体的・対話的で深い学びが実践できるように工夫されている。 ○ 生活や社会の中の音楽を様々なジャンルから取り上げて興味・関心を喚起させ、生徒の多様な個性や能力に広く対応した学習に発展させる工夫がされている。 ○ 音楽の学習を通して社会とのつながりを意識させるためにSDGsの視点や道德教育、総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。 ○ 思考・判断の手掛かりとなる言葉が吹き出しやコラムで配置されているまた、学習に役立つコンテンツがQRコードで示されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記、表現は生徒に分かりやすく、丁寧で簡潔にまとめられている。難しい言葉には振り仮名が付けられるなど生徒が学びやすいように配慮されている。 ○ 美しい自然の風景や挿絵がバランスよく配置されており、音楽の持つイメージを膨らませ、親しみを持って取り組むことができるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインへの配慮がされており、楽譜や歌詞が読みやすく、絵やカラー写真を効果的に配置するなど、視覚的に分かりやすい紙面構成が工夫されている。 ○ 文章や歌詞、楽譜が見やすくなるように配置され、大きさやレイアウト、バランスも適切で、デザインも配慮されている。 ○ 再生紙、植物油インキを使用しており、中綴じで学習や演奏時にも開きやすく、見やすい配慮がされている。また、体裁がよく、製本も堅ろうである。 						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	器 楽 7 5 1	書 名	中学器楽 音楽のおくりもの
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている内容を踏まえ、音楽の多様性を理解し、音楽に親しみながら創意工夫を生かした技能を身に付けることができるように工夫されている。 ○ 生徒の基礎的・基本的な学力を定着させるために、「学びのねらい」が頁頭に記載されており、それらを活用した音楽表現の学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 生徒の学習意欲を高めるために、我が国の音楽及び諸外国の多様な音楽に親しめるよう、写真や図解を大きくし、興味・関心を持って取り組めるように工夫されている。 ○ 器楽学習を進めた後に、鑑賞曲が紹介されたり、奏法の近い楽器を聴き比べたりするなどの構成で、表現と鑑賞の領域を横断した学習の充実と発展が図れるように工夫されている。 ○ 歌唱分野の共通教材や鑑賞教材で学習した楽曲を多く配置し、内容と資料が適正に構成されている。また、教材の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽文化の理解を深めるために、「吹く楽器」「弾く楽器」「打つ楽器」に分けられており、学習の見通しを踏まえた学びの順序が整理されている。 ○ 学習内容が楽器ごとにまとめられており、「各部の名称」「姿勢とかまえ方」「運指や奏法」と学習のねらいが明確に進められるように工夫されている。 ○ 全体が「演奏の仕方を身につけよう」「合わせて演奏しよう」の二つの構成となっており、基礎的知識や技能を身に付け、更に習得した知識や技能を活用できるように配慮されている。 ○ 楽器演奏の基礎を習得するための資料が豊富で、発展学習にも応用でき、それぞれの年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 音楽を愛好する心情を育てる観点から、各地域における社会生活と音楽の関わりや我が国や郷土の伝統文化に触れる点に至るまで、広く対応できるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材ごとに「学びのねらい」「学びのポイント」「まとめの曲」で構成されており、見開きごとに見通しを持って学習を確実に進めていくための工夫がされている。 ○ 教材ごとに、学ぶべきポイントが具体的に明示され、生徒同士が互いの表現について話し合うなど、主体的・対話的で深い学びについて実践するための工夫がされている。 ○ 和楽器における口唱歌や様々な楽器の共通性や固有性についての比較など、発展的な学習についての記述があり、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるように工夫されている。 ○ 演奏家のメッセージが掲載され、音楽だけでなく、文化や社会とのつながりについて深く学ぶことができるなど、道徳や総合的な学習の時間への関連に配慮されている。 ○ 「まなびリンク」等を配置し、ウェブサイト上の様々な情報との関連付けを図っており、学習に役立つ情報を教材に合わせて利用できるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現は簡潔で、難しい言葉には振り仮名が付けられるなど、生徒にとって分かりやすくするように工夫されている。 ○ 我が国の伝統的な楽器を代表する演奏者のメッセージや世界の様々な楽器の演奏される写真を効果的に配置し、生徒の関心や意欲を高める工夫がされている。 ○ 全体的に見やすく、ユニバーサルデザインフォントの利用やカラーユニバーサルデザインに基づく色使いが適切である。 ○ A4変形判で、5線の間隔が広く取られるなど、楽譜を読みやすくするための工夫がされている。また、楽譜と楽器の運指が同時に見られるように配慮されている。 ○ 製本は堅ろうであり、3年間の使用に耐えるよう工夫されている。また、再生紙や植物油インキの利用、グリーン電力を用いた印刷等、環境保護にも配慮されている。 						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 7 教 芸	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	器 楽 7 5 2	書 名	中 学 生 の 器 楽
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている内容を踏まえ、身に付けたい資質・能力を具体的な学習項目と〔共通事項〕との関わりを一覧として明示している。 ○ 「アンサンブルセミナー」というセクションが設けられ、〔共通事項〕と関連させながら、器楽学習を通して人と関り、よりよい奏法を求め、役割を果たすように工夫されている。 ○ 我が国及び諸外国の多様な音楽に親しみながら表現の技能を段階的に身に付けることができる構成で、学習意欲が高められるように工夫されている。 ○ 独奏から合奏まで多様なスタイルによる器楽の学習が可能となっており、発展として創作活動を取り入れた内容も配置され、学習内容の充実が図られる工夫がされている。 ○ 我が国及び諸外国の楽曲をバランスよく取り扱い、写真や教材の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習効果を上げるため、知識と技能を関連付ける学びの順番が整理されており、段階を追って学習活動に取り組ませることで、生徒が豊かな表現活動を行える工夫がされている。 ○ 「各部の名称」「姿勢と構え方」「楽器の奏法」等、学習内容が楽器ごとにまとめられており、生徒が学習のねらいを明確に把握できるように配慮されている。 ○ 各楽器の音色を知覚・感受できるように鑑賞教材が提示され、表現と鑑賞を横断した関連が示されており、生徒が興味・関心を持って取り組むことができるように工夫されている。 ○ 器楽の奏法とアンサンブル曲とを分けて配列しており、教材も豊富で、各学年の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 多様なジャンルの楽曲が取り上げられ、更に楽器の組み合わせが自由に変更できる楽曲も掲載されている等、生徒の日常生活や社会の実態に対応できるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材に音楽を形づくっている要素が記載されていることで、「音楽的な見方・考え方」を働かせる視点を確認でき、主体的な学習の形成が進められるように工夫されている。 ○ キャラクターやコラムによる考える観点の例示があり、生徒の興味・関心を喚起することに加え、話合いの場面から主体的・対話的な深い学びが実践できるように配慮されている。 ○ 関連する鑑賞教材を紹介する等、多様な生徒の学びに対応した記載があり、活用場面を広げ発展した学習ができるように工夫されている。 ○ 和楽器の奏法や特性の理解を通して、我が国の文化・歴史を体験的に学習することができるとともに、総合的な学習の時間等との関連が図れる工夫がされている。 ○ 学習に役立つコンテンツが自由に見ることができるよう、対応する楽曲のページにウェブサイトを紹介が記載されており、関連した学習が進められるような工夫がされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストや写真が多く用いられ、生徒が学習しやすいように難しい言葉には振り仮名が付けられており、表記や表現に配慮されている。 ○ 写真やメッセージに登用されている演奏家は若手や著名な方を採用しており、生徒が憧れや親しみを持って取り組めるように工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォント等を使用し、サイズや楽譜も鮮明で読みやすく表記され、配色もコントラストを明確にした色覚特性に配慮されている。 ○ メモを書き込んだりできるように楽譜の構成間隔が適切にとられるなど、使いやすさや見やすさに配慮した配置になっている。 ○ 中綴じで開きやすいつくりになっている。また、再生紙や植物油インキを使用し、環境への配慮がされている。 						

種 目	美術	発行者の番号・略称	9	教科書の記号・番号	美術 701 801	書 名	美術 1 美術 2・3
			開隆堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材ごとに学習の目標を明記し、内容や方法、培いたい資質・能力が整理され、生活や社会の中の美術文化に関わる内容を幅広く取り上げている。 ○ 各領域に扉ページで学習の意味や魅力を理解してから表現活動に取り組むことで、生徒自らが主題を生み出し、主体的に表したいことを実現できる構成になっている。 ○ 美術1では図画工作科と関連した題材を、美術2・3では美術と社会との関わり、生き方や未来を考える題材を段階的に配置することで、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 系統的な学習を重視した題材による構成がされており、内容の精選と学習の充実、発展を図るための工夫がされている。 ○ 日本及び外国の多様な作家作品、文化遺産を多方面から扱い、地域や学校の実情に合わせて題材を選択できるように配慮されている。掲載作品一覧に出所、出典も明記されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材内容は発達の段階に応じて組織的、系統的に配列され、「表現」と「鑑賞」を相互に関連付けて指導できるように配慮されている。 ○ 教科の目標を踏まえ、題材ごとに「学習の目標」が明記され、生徒に育成したい資質・能力を学習の中心的な課題として分かりやすくまとめている。 ○ 基礎的・基本的な内容として幅広い知識と技能を系統的にまとめた「学びの資料」を巻末に設定し、確実な定着から発展的な内容構成を行い、段階的に進める配慮がされている。 ○ 2年と3年の教科書が1冊にまとめられ、柔軟に題材配置が組めるように配慮されており、各学校の年間指導計画に対応することができる。 ○ 日本各地の造形や現代的な話題を取り上げ、生徒の生活に沿った題材を設定しており、地域や学校の実情に合わせた配列になるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識・技能について巻末の「学びの資料」として系統的に示し、「思考力・判断力・表現力等」と主体的な態度を形成するための「学習のポイント」が各題材に掲載されている。 ○ 共同制作や友達と関わりながら進める活動を多く取り上げ、対話活動による場面を設定することで、主体的・対話的で深い学びを実践させるための工夫がされている。 ○ 幅広い表現方法や多種多様な材料・用具を掲載した題材構成で、生徒の個性や思いに沿った多様な表現に対応できるように配慮されている。 ○ 他教科との関連が図れるよう、各題材の下部には必要に応じてマークと共に教科名と内容を記載し、横断的な学習の効果的な手立てとなるように配慮されている。 ○ 写真や絵、図は適切に配置されており、QRコードを活用して学習の参考になる解説資料や動画で学習に広がりを持たせ、生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解説文は平易な文体で、生徒の発達の段階を踏まえている。また、カラーユニバーサルデザイン認証を得ており、誰もが見やすいように配慮されている。 ○ タイトル文字が大きく明記されており、題材に親しみを感じるように工夫されている。作品も大きく見やすくレイアウトされ、作品の魅力がより伝わるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、文章は意味のまとまりごとに改行の位置を工夫し、簡潔に理解しやすい分量で記載されている。 ○ 原寸図版、部分拡大、見開きの大幅資料を設け、大きさや繊細さを実感しながら鑑賞できる配慮がされている。 ○ 表紙はビニール加工し、開きやすさや堅ろうさを考慮した製本である。印刷加工の反射を抑え見やすく発色豊かな用紙を採用し、環境に配慮して再生紙や植物油インキを使用している。 						

種 目	美術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	38 光 村	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 702 802	書 名	美術 1 美術 2・3
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての題材に、造形的な見方・考え方に関わる目標が明記されており、美術科での学習を通して資質・能力の三つの柱が育まれるように配慮されている。 ○ 主体的に学習に取り組むために、生徒自らが強く表したいことを心の中に思い描き、「主題を生み出すこと」を見通すことができるような構成が工夫されている。 ○ 美術1では図画工作科とのつながりを考え、美術2・3では身に付けた資質・能力を深め、歴史や社会との関係に視野を広げることで段階的に学習意欲を高める構成になっている。 ○ 具体的にどのように発想を広げ構想を練っていくのかが分かるように、全ての題材に発想や構想の手立てを示し、制作過程を詳しく紹介することで学習の充実と発展を図っている。 ○ 表現の題材では描く活動とつくる活動を精選し、鑑賞の題材では日本の美術文化を重視しつつ様々な国の作品を幅広く取り上げ、資料の出所、出典も明記されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材の最初に鑑賞作品を掲載して生徒に向けた問いを立て、「表現」と「鑑賞」を相互に関連付けて指導できるように組織的に配列し、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 美術科の目標を踏まえて、各題材ごとに魅力的なタイトルと目標が分かりやすく明記され、身に付ける力や学習のねらいが生徒に明確に伝わるようにまとめられている。 ○ 基礎的・基本的な内容の定着をねらい、発展的な学習を進めるために、完成作品と制作の手順が適宜掲載され、技能を習得する手助けとなる工夫がされている。 ○ 題材の内容に応じて「表現」「鑑賞」と領域を明記し分野ごとに構成し、題材の配列や分量に配慮することで、年間指導計画に広く適合するように工夫されている。 ○ 全体を通して、絵や彫刻、デザインや工芸のほか、カメラや情報機器を使う作品等も幅広く取り上げ、生徒や地域の実態に広く適合するように配置されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末の「学習を支える資料」に、形・色・材料・光等に関する資料が設けられ、生徒が〔共通事項〕の資料を適宜参照し、実感的に理解しながら学習を進められる配慮がされている。 ○ 生徒の主体的・対話的で深い学びが実践されるように、「表現」と「鑑賞」の相互関連を意識した「学びの流れの一体化」がひと目で分かるように工夫されている。 ○ 各題材に多くの生徒作品を使用し、アイデアスケッチや作者の言葉を付して作者の表現の意図や工夫を感じ取り、多様な価値観に触れられるように掲載されている。 ○ 他教科と美術との関連がコラム形式で紹介されており、生徒の横断的な学びを意識しながら、表現や鑑賞の活動が行えるように配慮されている。 ○ 美術文化の多様性を感じるように、さまざまな国や地域、時代から作品を選んだ写真等が配置され、QRコードが適切に掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を進める上で有効な情報となるよう、図版や写真には、作品の名称、材料や技法、大きさ、制作年、作者名と生没年・出身地、簡潔な解説文等が示されている。 ○ 版画や絵巻物の鑑賞では風合いのある用紙を使用し、描き込めるトレーシングペーパーを綴じ込んだ造本で、生徒が親しみや魅力を感じられるように工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを施すことで、見間違いにくさに配慮されている。また、発色の良いコート紙が採用されている。 ○ 見開きのページが設けられ、作品が大きく掲載されており、視覚的に生き生きとした紙面構成で、生徒の興味・関心や学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 製本は見開きも含め堅ろうであり、生徒がページを開きやすいように綴じ方も工夫されている。また、植物油インキを使用し、環境保全や生徒の健康にも配慮されている。 						

種 目	美術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	116 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 703 803 804	書 名	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と広がり 美術2・3下 学びの探求と未来
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を見通したカリキュラムが整理され、基礎・発展・応用へと段階を踏まえた内容であり、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成に配慮されている。 ○ 学びの目標が設定され、〔共通事項〕を位置付け「表現」と「鑑賞」の活動が相互に関連した内容であり、生徒が主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 発達の段階に即した題材設定となっており、各学年に対応した題材が設定（基礎・発展・応用）され、段階的に学習意欲が高められるように工夫されている。 ○ 1年時では基礎・基本、2年時は発展、3年時には社会生活に応用できる内容で構成され、表現及び鑑賞が幅広く活動でき3年間でバランスよく学習できるように工夫されている。 ○ いろいろな角度から捉えられる題材が配列されており、内容や資料ともに各学年の関連が図られ、各資料に出所、出典が明記されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分野や領域、学びの目標が色別やマークで分かりやすく系統的に配列され、「表現」と「鑑賞」を相互に関連させる学習を深められ、学習効果があがるように配慮されている。 ○ 三つの柱に基づく「学びの目標」が明確に示されており、生徒が自ら学びたいような身近な対象を扱う題材や、発想や構想の手立てなどが明記してある。 ○ 巻末に題材に関する資料を技法・色彩・鑑賞に分け〔共通事項〕のヒントとなる「学びを支える資料」として掲載し、生徒が発展的に学習できるように配慮されている。 ○ 「表現」と「鑑賞」がバランスよく学習できるように、学習指導要領に基づいた系統性のある題材配列により、各学校の年間指導計画に適合できるように配列されている。 ○ 全国のさまざまな造形活動や美術作品が掲載され、地域に関心を持ち、活動の参考となるように配慮するなど各地域の実態に対応できるように工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〔共通事項〕への気付きを促す「造形的な視点」を設定し、造形的な見方を身に付けるためのヒントとすることで、主体的な学習態度の形成になるように配慮されている。 ○ 学びの目標やサブタイトルを明記することで学びを整理し、問題発見・解決能力・言語能力等の育成に配慮し、主体的・対話的で深い学びを実践できるように工夫されている。 ○ 図版を生かした問い掛けによる動機付けを行い、生徒作品に作者の考えやアイデアスケッチを言語化させることで生徒の個性や能力に広く対応させるような工夫がされている。 ○ 生徒の学びの広がりや知識のつながりに配慮し、他教科との横断的な学びを深め、歴史や文化を知る題材を豊富に掲載することで社会参画の意識を高める工夫がされている。 ○ 学習の手引き、図版、写真等はバランスよく配置され、各学年ともに学習支援としてQRコードによる動画資料等の充実が図られている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階に応じて、美術との出会いや学びの実感、自分らしい価値観の形成に向け表現等が学年に応じて構成されている。 ○ 題材のねらいが丁寧に示され、魅力的な図版や生徒が活動している場面の写真やアイデアスケッチ等を掲載することにより、学びに向かえるような配慮がされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントが使用され、活字の大きさや字体は適切であり、写真・図版等も高精細印刷が用いられ鮮明である。 ○ 見開き原寸大の鑑賞図版を多く掲載し、作品の魅力がより伝わる鑑賞ができる。図版と写真の配置のバランスも適切で、生徒の興味・関心を喚起できるように工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうで、再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体 7 0 1	書 名	新 し い 保 健 体 育
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かなスポーツライフの実現を目指した内容構成となっており、保健編と体育編の両面から教科の目標を的確に反映している。 ○ 心身の健康の大切さを認識し、健康なライフスタイルを確立するという観点に立った内容となっており、現代的な諸課題にも対応している。 ○ 生徒の学習意欲の向上を図るため、読み物資料を掲載したり、章末資料で発展的に更に詳しく説明したりするなどの工夫がされている。 ○ 学習内容に対して自己の生活と関連させながら考えることができるようになっているとともに、学習したことを自分の生活に生かせるように工夫されている。 ○ 学習内容に対する資料が適切に配置されており、学習の充実と発展が図れるものとなっている。また、資料の出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健編・体育編ともに、学習内容が学習指導要領に合わせて組織的・系統的に配列されており、学習を発展的に進めていけるように工夫されている。 ○ 章ごとに「学習すること」がはじめに示されており、ねらいを把握し見通しを持って主体的に学習に取り組めるようになっている。 ○ 章の最後に「学習のまとめ」のページを設定し、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る確認の問題と、発展的な学習につなげる活用の問題が掲載されている。 ○ 学習指導要領に示された標準時数内での内容構成で、単元によっては配当時数に幅を持たせており、各校の指導計画に柔軟に適合できるように配慮されている。 ○ 学習内容に関連する資料が適切に配置され、自身の生活や地域と結び付けながら学習を進めることができるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習方法として事例を用いたディスカッションやブレインストーミング、ロールプレイング等を示し「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指した配慮がされている。 ○ 各単元とも「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の学習の流れを示し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習展開が図れるように工夫されている。 ○ 学習内容に関連する「読み物」や「章末資料」が豊富に掲載されており、個々の興味・関心を引き出したり、深めたりするなど個性や能力に対応できるように工夫されている。 ○ 他教科と関連する項目にはマークがついており、保健分野では特に理科や家庭科、社会科等との関連が分かり、発展的に取り上げることができるように配慮されている。 ○ 挿絵や図表、写真等が内容に応じて配置されている。Dマークコンテンツを表示し、ウェブページのアドレスが記載されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育漢字以外の常用漢字には全て振り仮名を付けたり、簡潔で分かりやすい表現を用いたりするなど、表記、表現が学年に応じて適切である。 ○ 口絵や章末資料、読み物で今日的な課題に関わる資料を多く掲載し、生徒が関心を持つように工夫されている。 ○ 読みやすさに優れたユニバーサルデザインフォントを使用して読み取りやすさを高めるとともに、配色やデザインも全ての生徒が見やすいように意識したものとなっている。 ○ 本文と資料等のレイアウトに統一性を持たせ、バランスも適切である。図表等が効果的に配置され、見やすくまとめられている。 ○ 環境への配慮から再生紙・植物油インキを用いており、製本は堅ろうで長期の使用に耐えられるようになっている。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保体 702	書 名	中 学 校 保 健 体 育
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現を図る内容構成となっており、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 実践力につながる効果的な学習が行われるように、単元のまとまりを重視した構成となっており、章末資料も生活との関連が図れるように工夫されている。 ○ 1時間の学習内容が見開き構成となっており、内容に応じたトピックスを必ず掲載することで生徒の興味・関心を高めるような工夫がされている。 ○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などいろいろな学習活動に取り組むことで、学習の充実と発展を図ることができるように配慮されている。 ○ 学習内容に合った適切な資料が配置されており、学習効果を上げられるようになっている。また、資料については、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育編・保健編ともに、指導内容を体系化しており、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容を分かりやすく、より実践的に学習できるように工夫されている。 ○ 生徒が主体的に学習に取り組めるように、学習内容を通して解決したい学習課題が単元ごとに明確に示されている。 ○ 各章末に「重要な言葉」を掲載し、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、「学びを活かそう」では実生活に沿った発展的な学習が進められるように配列されている。 ○ 学年ごとに学習指導要領に示された標準時数内での内容となっており、各校の年間指導計画に広く適合することができるように配慮されている。 ○ 単元の学習内容が1単位時間ごとにまとめられており、時期を問わず指導を行うことができるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き構成を生かし、確実に身に付けたい学習内容が左ページにまとめられ、各ページの「活用して深めよう」により、学びを更に深める活動となるように配慮されている。 ○ 全ての小単元で本文と資料が分けて示され、章ごとの「学びを活かそう」を活用した課題解決学習により、主体的・対話的で深い学びを実現する紙面構成となっている。 ○ 本文と資料が分けて掲載され、生徒が自学自習を行いやすくなっている。参照すべき資料がまとまっているため、文章に集中しやすくなるような工夫がされている。 ○ カリキュラム・マネジメントを実現できるよう、教科内や他教科、家庭・地域とのつながりが分かりやすく示され、系統的な学びが実現できるように工夫されている。 ○ 挿絵や図表、写真等が内容に応じて適切に配置されている。「中学校保健体育WEB」が掲載され、動画や資料を使って学習できるようになっている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が読みやすいよう、振り仮名を付けるなどの配慮がされている。また、教材の難易度や文章の分かりやすさが発達の段階に応じて工夫されている。 ○ アスリートからのメッセージやオリンピック・パラリンピックの歴史等を掲載し、生徒が関心を持てるような工夫がされている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインを踏まえた色遣いにしたりするなど、読みやすさに配慮されている。 ○ グラフや表、図や写真等の資料は、生徒が視覚的に捉えやすいように工夫されている。また、実習で活用しやすいように折り込みによる資料が配置されている。 ○ 環境負荷の少ない植物油インキを使用し印刷されている。また、製本はアジロ綴りで特殊加工もされ、長期の使用にも耐えられるようになっている。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	5 0 大 修 館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体 7 0 3	書 名	最 新 中 学 校 保 健 体 育
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために必要な意思決定や行動選択を行う内容構成となっており、教科の目標達成のために工夫されている。 ○ 3年間の中学校生活を通して、体と心の成長を促し、体力を高め、健康的な生活習慣やスポーツに親しむ習慣が身に付くための知識がまとめられている。 ○ オリンピックやパラリンピック、スポーツ活動の魅力を伝える様々な写真やイラストが用いられ、生徒の心身の発達の段階を考慮し、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 学習内容や資料が精選され、「つかむ」「身に付ける・考える」「まとめる・振り返る」という順番で構成され、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 記述の裏付けとなる豊富な資料が用意されており、資料の出典一覧が教科書のページごとに巻末に明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された学年配当に従って、学年別に構成されている。各項目見開き2ページで1単位時間に対応しており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 本時の学習課題を示し、その時間で学ぶべき内容が明確になっている。また、重要語句をまとめ、学習の要点や重要概念を見出しに掲げておけるなどの配慮がされている。 ○ 学習の流れや系統性を示し、見通しを持って学習に臨めるように工夫されており、本文の構成は基礎的・基本的な内容から発展的な学習を進めるための配慮がされている。 ○ 学習指導要領で示された授業時数の配当で指導できる内容構成であり、各学校の年間指導計画に幅広く対応できるように配慮されている。 ○ 学校や地域における自分の役割と責任を理解し、社会の一員としての自覚を促す事例や資料が用意されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活経験や学んだ知識を基にして思考・判断する作業課題を随所に配置し、知識や考えをまとめて発表する活動がされるなどの工夫がされている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを実践するため、学習の流れや学び方を示すとともに、グループでの発表や話し合いによって学びを深める課題が設定されるなどの工夫がされている。 ○ 基礎的・基本的な知識を基にした発展的な課題が設定されており、生徒が興味・関心のあるスポーツや中学生に関わる健康課題も積極的に取り上げられている。 ○ 他教科に関連する内容には関連マークが示され、教科横断的な学習ができるように配慮されている。 ○ 図表や写真、イラスト等が適切に配置されており、本文に関連する情報をウェブサイトでも調べられるように「web保体情報館」が設けられている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のポイントとなる重要語句がキーワードとしてまとめられている。文章は、生徒が読んで理解し納得できるように、論理性や具体性が重視されている。 ○ イラストや有名なアスリート及び同世代の中学生が諸活動に取り組んでいる写真が掲載されており、生徒が親しみや魅力を感じられるように配慮されている。 ○ 見出しや本文、資料、重要語句ごとに文字の大きさや字体を変えてあり、色彩や印刷も鮮明で見やすくなるように配慮されている。 ○ 図表や写真は、本文の内容に合わせて見やすく大きく掲載されており、レイアウトやバランスともに適切である。 ○ 植物油インキや環境に配慮した紙が使用されている。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントが使用され、体裁がよく堅ろうである。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体 7 0 4	書 名	中 学 保 健 体 育
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯を通じて心身の健康の保持増進や、運動に親しむ資質や能力を育てる内容構成になっている。基礎的・基本的な内容が重視されている。 ○ 健康問題を多く取り上げており、自らの健康を適切に管理し、生活を改善していく能力を身に付けることができるように工夫されている。 ○ 各章の扉で学習内容の全体を分かりやすく提示し、各時間の導入では学習目標を示すことで見通しを持って学習できるように配慮されており、学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 学習の流れの中に、「課題をつかむ」「実習」等の既習事項を活用した活動や自分自身に置き換える活動例の紹介等、実践力を身に付けられるように工夫されている。 ○ 新しい資料が学習内容に沿って適切に配置され、題材が豊富に掲載されている。また、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年別に配列し、各学年の学習内容が明確である。また、随所に「関連」が設けてあり、系統的に学習ができるように配慮されている。 ○ 単元ごとのねらいが、「学習の目標」として明確に示されており、課題解決型で学習を進める内容となっている。 ○ 基礎的・基本的な事項が本文にまとめられ、「章のまとめ」によって習得した知識を確認できるとともに、「探究しよう」で、発展的な学習につなげられるように配列されている。 ○ 学習指導要領に示された授業時数の配当で指導できる内容構成で、各校の指導計画に幅広く対応できるよう見通しを持って学習できるように工夫されている。 ○ 章末に「探究しよう」「もっと広げる・深める」を設け、学習に関連する資料を豊富に掲載しており、地域の実態に適合できるように工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な事項を活用する場面が設けられている。また、実習等を取り入れ、「思考力・判断力・表現力等」を生かし、主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 各単元で「課題をつかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の学習の進め方を示し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動が図られるように工夫されている。 ○ 学習内容に関連する事例を用いた、ディスカッションやブレインストーミング等の学習方法が紹介され、生徒の多様な個性や能力に対応できるように工夫されている。 ○ 自分自身に関する事、人との関わりに関する事など、道徳等の内容について保健体育の学習全体を通して関連が図れるように配慮されている。 ○ 「学習の目標」「キーワード」を明示し、学習の進め方が分かるように工夫されている。また、教科書紙面にQRコードを配置し、関連資料を閲覧できるように配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた引用漢字や専門用語に振り仮名を付けるなどの配慮がされている。また、本文は、表記や表現が工夫され、理解しやすい文章になるように配慮されている。 ○ 「スポーツで世界を一つに」を合言葉に、スポーツ・健康・安全の分野で活躍する人物の紹介等があり、生徒が親しみや魅力を感じられるように配慮されている。 ○ 活字の大きさや書体は適切である。また、重要な部分を強調するレイアウトを工夫し、視覚的に捉えやすく見やすい表記である。 ○ 図解やグラフ等はユニバーサルデザインに配慮しており、色使いも適切で読みやすい工夫がされている。 ○ 製本はアジロ綴りで特殊加工もされており、植物油インキを使用し環境負荷の少ない印刷がされている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	技 術 7 0 1	書 名	新しい技術・家庭技術分野 未来を創る Technology
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通してよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成するという教科目標を踏まえた内容となっている。 ○ 多様な問題解決例が取り上げられており、生徒の創意工夫を引き出す実践的・体験的な学習活動が行えるように工夫されている。 ○ 身の回りの事例から社会全体の事例まで幅広く収載され、生徒の発達の段階や興味・関心を踏まえた学習活動が展開できる内容となっている。 ○ 社会からの要求や安全性、環境への負荷、経済性から最適な解決策を考えられるような例示が示されており、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 伝統的な技術や社会で利用されている技術から最先端の技術まで幅広い技術が取り上げられている。また、写真や資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章が「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の三つの要素で構成されており、体系的に学習を進められる配列となっている。 ○ 編の導入には「この編で学ぶこと」、各節の冒頭には「目標」が明示されており、学習のまとめりごとに見通しを持って取り組めるように配慮されている。 ○ 基礎・基本や応用・発展となる事項が「ポイント」や「TECH Lab」, 「技術のとびら」等のマークで示されており、段階的に学習が進められるように配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な内容と補充的・発展的な内容が適切な分量で掲載されている。多様な活動事例が示されており、各学校の年間指導計画に対応できるように配慮されている。 ○ 身近な生活や社会の中で活用されている技術についての図版や写真、事例等が多く取り上げられており、生徒の実態、地域性に広く対応できるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的・体験的な学習活動を通して、生徒の学習意欲を引き出し、習得した基礎的・基本的な知識及び技能を活用して課題を解決する力を育むように配慮されている。 ○ 調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問や学習を振り返る自己評価が設けてあるなど、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がされている。 ○ 生徒の興味・関心に応じた指導が工夫できるように、数多くの問題解決事例が取り上げられている。また、豆知識や社会で活躍している技術者等の資料も示されている。 ○ 教科間、学校種間の関連がマークで示されている。また、環境教育やキャリア教育、消費者教育、防災・減災教育等との連携が図られるように配慮されている。 ○ 学習の手引きには、思考ツールや問題解決の進め方等が掲載されている。また、図版や写真等、並びにQRコード等が適切に配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 簡潔明瞭な表現が使われている。また、多様な生徒の学習を保証するため、教育漢字以外は特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体で振り仮名が付けてある。 ○ キャラクターと対話的に学習を進めることができる工夫がされている。また、技術者や開発者等が写真とともに掲載されるなど、技術の魅力を伝える工夫がされている。 ○ 活字は適切な大きさとユニバーサルデザインフォントを採用するとともに、色彩や印刷も鮮明であるなど、生徒が読みやすくなるように配慮されている。 ○ 図や写真の大きさや配置が適切であるとともに、レイアウトが統一されているなど、生徒が安心して学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 軽量な用紙が用いられているが、表紙は防水効果があり強度が高めてあるなど、堅ろうである。また、再生紙や植物油インキを使用しており、環境への配慮がされている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	技術 702	書 名	New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する
			教 図		技術 703		New 技術・家庭 技術分野 明日を創造する技術ハンドブック
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得から実践的・体験的な学習活動、最後に技術の有用性と課題等を考えさせる構成となっており、教科の目標を踏まえた内容となっている。 ○ 身近な生活や社会で利用されている技術が幅広く取り上げられており、知識や技能を身に付け実生活を送っていかうとする実践的な態度を育む内容となっている。 ○ 生徒の発達段階や多様な興味・関心を踏まえた実習題材例が多数収載されており、主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 生徒自らが実習で用いる技能等が別冊のハンドブックにまとめられており、個々の興味・関心に応じた学習が展開できるとともに、安全に作業が行えるように配慮されている。 ○ 学習内容に適した資料や未来の技術、今日的な課題等が豊富に掲載されている。また、図版や写真の出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得から実践的・体験的な学習へと段階的に配列されており、生徒自らの経験や既習事項を基にして課題解決ができるように配慮されている。 ○ 教科の目標を踏まえ、学習ごとに「めあて」と「ふり返り」が設定されているなど、まとまりある構成となっており、指導と評価の一体化が図れるように工夫されている。 ○ 生徒の興味・関心や理解度に応じて、学習が進められるように工夫されている。特に、実践的・体験的な活動においては、生徒自ら解決できるように豊富な資料を掲載している。 ○ 生徒の実態に即した内容、題材、活動が掲載されており、各地域・学校の実態に応じた3年間の年間指導計画の立案・作成に柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 職業人の話題やインタビュー、生活との関連や日本の伝統技術が示されており、生徒の生活や地域の実態に応じた学習活動ができるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識及び技能の習得後、自ら問題解決に取り組めるように写真や図版等の資料を豊富に掲載してあり、その過程で主体的な態度が養われるように配慮されている。 ○ 技術について調べさせたり、考えさせたりする活動やグループで活動する場面が設定されているなど、主体的・対話的で深い学びが実現できるように配慮されている。 ○ 基礎・基本から発展的なものが題材として掲載されていることから、生徒の個性や能力に応じて題材を選択できるように工夫されている。 ○ 学習の項目の冒頭に、小学校及び他教科との関連がマークとともに示してある。また、消費者教育や環境教育、国際理解教育等とも連携が図れるように配慮されている。 ○ 挿絵や図表、写真及びQRコードが適切に配置されている。また、別冊の技術ハンドブックには、工具やPCの使用手順が写真やイラストで示されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の視点を大切に、簡潔で読みやすい表記・表現となっている。漢字には振り仮名が付けられ、重要語句は一目でわかるように青色で太字になっている。 ○ キャラクターが対話形式で発問や補足をするなど、生徒が親しみを持って学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 色遣いやフォントはユニバーサルデザインが用いられている。印刷も明るく目に優しい色彩で生徒の負担にならず読みやすいように配慮されている。 ○ 基本的なレイアウトが統一されており生徒が学びやすいように配慮されている。また、適度な余白が設けてあり、写真やイラストが過密にならないように工夫されている。 ○ 紙は軽くて裏移りのないものが採用されている。表紙は防水加工がされており、汚れにくく、つくりも堅ろうである。また、植物油インキを使用し、環境への配慮がされている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行者の 番号・略称	9	教科書の 記号・番号	技術 704	書 名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
			開隆堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの内容は、実践的・体験的な学習活動が設定されており、生活に必要な基礎的・基本的な「知識や技能」の習得を図る構成で、教科の目標を踏まえた内容となっている。 ○ 身近な技術から次世代的な技術まで網羅し、生徒が主体的に生活を送っていこうとする実践的な態度を育てる内容が工夫されている。 ○ 生徒の生活経験や既習事項との関連が図られており、発達の段階を踏まえ、技術の見方・考え方を関心の喚起から活用までの過程を学習できるように配慮されている。 ○ 基礎・基本から発展への流れが明確になっており、学習内容の精選と重点化の中で社会的な課題も学習できるように配慮されている。 ○ 日常生活の中の技術や伝統技術、最先端技術を出所、出典が明らかな図版や写真で示し、関心を高め、課題の発見、設定、解決が図れるように工夫されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目的や学び方を最初に示し、基礎・基本の習得、評価・活用、発展、最後に学習のまとめで構成され、体系的に学ぶことができるように配慮されている。 ○ 各内容のまとまりにおいて、教科の目標を踏まえ、日常生活や社会との関わりや歴史的な背景を示し、学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 各内容とも掲載されている題材例が、基本、参考、発展、探求的なものと多様であり、段階的あるいは重点的に学習が展開できるように配慮されている。 ○ 生徒の実態に即した内容、題材、活動が適量に掲載されており、各地域・学校の実態に応じた3年間の年間指導計画の立案・作成に柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 技術に関する職業や生活の関連や日本の伝統技術が示されており、生徒の生活や地域の実態に応じた学習活動ができるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的・体験的な学習活動を通して、問題を見出し、課題を設定し、解決を図るなど、主体的な学習が展開できるように配慮されている。 ○ 生徒の興味・関心に応じた題材を掲載し、かつ図版や写真、QRコードで参考となるウェブページを紹介するなど、主体的・対話的な深い学びを促すように工夫されている。 ○ 基礎・基本、発展、探究的な事柄が掲載されており、生徒の個性・能力に応じて題材を選択できるように工夫されている。 ○ 各内容のはじめや必要箇所小学校及び他教科との関連を示してある。また、関係ページを示すリンクマークを表示し、問題解決の参考資料となるように配慮されている。 ○ 各題材にQRコード、リンクマークが適切に配置・記載されており、生徒がより主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の理解にあった簡潔明瞭な表現が使われている。また、内容の説明においても、生徒にとって分かりやすい表現・表記になるように配慮されている。 ○ 図や写真が豊富に配置されており、技術の魅力が伝わるように配置され、技術への興味・関心を引き出すように配慮されている。 ○ 活字の大きさは適切であり、見やすく、行間もバランスがよい。また、色彩においても見やすく、目に優しく、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ 図や写真等の大きさ、バランス、レイアウトも見やすさ、分かりやすさに配慮されている。特別支援教育の視点からも配慮されている。 ○ 製本は堅牢なつくりになっている。軽量の再生紙、植物油インキが使用されており、環境への配慮がされている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 京 書 籍	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	家 庭 7 0 1	書 名	新 し い 技 術 ・ 家 庭 家 庭 分 野 自 立 と 共 生 を 目 指 し て
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された「教科・分野の目標及び内容」、「指導計画の作成と内容の取扱い」に準拠し、必要かつ十分な内容を扱っている。 ○ 生徒にとって興味・関心の高い題材を掲載し、実践的・体験的な学習を通して知識や技能を身に付け、生活に生かしていこうとする実践的な態度を育てるように工夫されている。 ○ 各節の導入には「始めの活動」「私のオリジナル」を設けたり、幅広い難易度の実習題材を揃えたりするなど、生徒の興味・関心に応じて題材を選べるように工夫されている。 ○ 発展的な学習内容が掲載され、基礎的・基本的な学習内容を踏まえて生徒の興味・関心に応じて深められるように工夫されている。 ○ 学習内容に応じた食品成分表や取り扱い絵表示資料・図表等が適切に掲載されている。どの資料にも出所、出典が適切に明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ それぞれの編の各章・節は、段階を意識して配列されており、系統的に学習が進められるように配慮されている。 ○ 各節の冒頭に「目標」が明示されており、学習のまとまりごとに見通しを持って取り組めるように配慮されている。 ○ 知識や技能の確実な定着を図るための、「いつも確かめよう」が配置され、学習が系統的に進められるように、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されている。 ○ 各内容は、授業時数等に応じて柔軟に題材を選択できるようにしてあり、各学校の年間指導計画に対応できるように、時数、学期、学年配分などに偏りがないように配慮されている。 ○ 地域や学校の実態、指導計画などに合わせて学習を深めたり、広げたりすることができるよう豊富な資料が掲載され、他教科との関連が明示されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒自身が生活の中から課題を見付けられるような「生活に生かそう」や「活動例」が多く掲載されており、生徒の主体的に解決していく力が身に付くように工夫されている。 ○ 物事を考えたり、意見を整理したりする際に有効な「思考ツール」を取り入れるなど、生徒が主体的・対話的で深い学びを通して、問題を解決する力が高まるように配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な技能をいつでも確認できるよう既習事項をマークで示したり、幅広い難易度の実習題材を掲載したりするなど、生徒の多様な個性や能力に配慮されている。 ○ 生徒が学習を深め、教科横断的な学力の定着が図れるよう、他教科と関連する内容を「他教科マーク」で示すなど配慮されている。 ○ 基礎技能について、写真を多く取り入れたり、授業での基礎技能の習得や家庭で実践・活用できるような動画等のデジタルコンテンツが設定されていたりするなど工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育漢字以外の漢字には全て振り仮名を付けたり、キャラクターのせりふは文節改行にしたりするなど、読みやすさに配慮されている。 ○ 写真やイラスト、漫画を用いて、生徒が興味・関心を持って学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、可読性を高めており、カラーバリアフリーの観点から、配色とデザインについて検討され、色覚特性に配慮されている。 ○ 実感を伴う実物大写真や、本文の内容を裏付ける実験等の資料が掲載されており、生徒が実生活に生かすことができるように工夫されている。 ○ 長期の使用に耐えうるように製本は堅ろうであり、再生紙や植物油インキを用いており、環境に配慮されている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の 番号・略称	6	教科書の 記号・番号	家庭 702	書 名	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する
			教育図書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された「目標」や「内容」を踏まえ、身に付けた「知識や技能」を使った実践的・体験的な課題解決的な学習ができるように工夫されている。 ○ 生徒にとって身近な題材や内容を取り上げ、身に付けた「知識や技能」を生かして実生活を送っていかうとする実践的な態度を育むように工夫されている。 ○ 中学生の視点を大切にしており、各編の導入時に「自立度チェック」を掲載し、より学びへの興味・関心を高めながら、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な「知識や技能」を身に付け、課題に取り組むことができるように配列が工夫されている。 ○ 資料の出所、出典が明示されており、各分野の偏りがなく、様々な視点から考えることができる図表や写真等の資料が示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各内容は、「導入」「基礎的・基本的な学習内容」「学習の振り返り」「発展的な学習内容」で構成されており、系統的に学習できるように配慮されている。 ○ 節の始めに、「学習の目標」が明示してあり、ねらいが明確であるとともに内容にもまとまりがある。 ○ 基礎的・基本的な「知識や技能」が身に付くよう内容が厳選されている。また、「話し合ってみよう」「調べてみよう」など実践的・体験的な活動が設定されている。 ○ 3つの編と各章の構成は、内容と分量が適切であり、各学校の実情に合わせて年間指導計画が作成できるように配慮されている。 ○ 豊富な実習題材を取り上げるとともに、少子高齢化、日本の生活文化、消費生活、自然災害等の課題を扱うことにより自分の生活と関連付けて学習できるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な「知識や技能」の習得を補う視覚的資料を取り入れ、見つめる、学ぶ、振り返るの流れによって知識や技能を身に付け、課題解決ができるように配慮されている。 ○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」など、実践的・体験的な活動を通してできるワークが多く掲載されており、生徒が興味・関心を持って主体的に学べる工夫がされている。 ○ 生徒一人一人が自分の課題を設定できるように配慮されており、発展的な学習内容も掲載され、生徒の理解度や興味・関心に応じて学習が進められるように工夫されている。 ○ 各教科や小学校の学習との関連を「リンク」マークで示し、生徒が見通しを持って学習ができるように配慮されている。 ○ イラストや図表、写真などの量や大きさなどが適切に配置されている。実習内容の動画など参照できるようQRコードが掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、音読のしやすさを考慮した簡潔な文章で、文章量も抑えてあるため、文字の行間に余裕を持たせるなど読みやすさに配慮されている。 ○ イラストや写真、図を多く使用し、吹き出しは、口語的な言い回しが使用されているなど、中学生が親しみを持って学習できるように工夫がされている。 ○ 重要語句が青色で示されているなど、カラーユニバーサルデザインに配慮した編集になっている。ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすい工夫がされている。 ○ 写真や図などの資料が大きくバランスよく配置されており、文字組なども適切で、学習展開に配慮した見やすく分かりやすいレイアウトになっている。 ○ 製本は堅ろうであり、表紙は防水加工がしてある。紙は、軽く裏移りがない書き込みしやすいものを採用している。再生紙、植物油インキを使用し、環境に配慮されている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行 者の 番号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	家 庭 7 0 3	書 名	技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえて、生きる力を育むために生活的自立の意味を理解し、各自が目標を持って実践できる内容と他者との共生を目指す内容で構成されている。 ○ 「小学校での学び」で既習内容を押さえ、実践的・体験的学習活動を通して基礎・基本の定着を図る学習展開になっており、実践力を身に付ける内容になっている。 ○ 各項目で導入課題を設定したり、「生活の課題と実践」では、自分の生活に生かすための多様な課題例が示されたりするなど、学習意欲を喚起する工夫がなされている。 ○ 学習指導要領の内容A、B、Cが「社会・地域・家庭」と「これまでの生活・現在・今後に向けての生活」に関連付けて学習できるように工夫されている。 ○ 内容に偏りがなくバランスよく資料や写真が配置されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的に見開きで学習内容がまとまっている。本時の学習目標や学習活動が一覧でき、見通しを持って学習に取り組めるように配列が工夫されている。 ○ 各項目ごとに学習目標が明確に示してあり、どの分野も実践的・体験的な学習内容を中心としたまとまりのある内容が工夫されている。 ○ 各内容、項目とも基礎的基本的な「知識や技能」の習得から応用、発展的な学習へと系統的に段階を踏んで学習を進められるように工夫されている。 ○ 基礎・基本の定着、発達の段階や2学期制に対応させるなど、各学校の実態に合わせて年間指導計画を作成、実践できるように配慮されている。 ○ 地域や各学校に合う方法で取り組める例が効果的に示されており、生徒や地域の実態に合わせて幅広く指導できる内容になっている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各分野の学習のはじまりにある「わたしの興味・関心」は、生活の中から自分の問題を発見することをねらいとしており、主体的な学習態度の形成に配慮されている。 ○ 「小さな課題」の配置や豊富な実習・実践題材、「ふり返り」「生活にいかそう」などによって、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。 ○ 多種多様な実習例によって、生徒の個々の興味・関心に対応しており、男女平等やノーマライゼーションなど人権尊重にも配慮されている。 ○ 他教科と関連するページに「他教科・他分野との関連マーク」が付いており、具体的事項が示されている。 ○ 実物大の写真や効果的な挿絵、図表が適切に配置されている。また、動画を見ることによって実感を伴う学びができるようQRコードが掲載されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つの単語が行をまたがないように調整しており、中学校の新出漢字の初出箇所に振り仮名を付けるなど、誰にでも読みやすいように配慮されている。 ○ 生徒が関心を持って学習を進められるように、写真や挿絵、キャラクターやマークなど、中学生が魅力を感じ、意欲的に取り組めるように工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインの視点から読み取りやすい色の配慮がされており、印刷も鮮明である。 ○ 図表や写真等は、効果的な表現や分量で示されており、実習や製作は横流れで説明されているため、生徒が主体的に取り組めるレイアウトになっている。 ○ 環境に配慮した用紙やインキを使用しており、丈夫で薄く、軽い用紙を使用することで教科書の軽量化を図っている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英 語 7 0 1 8 0 1 9 0 1	書 名	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意志や情報を伝え合う言語活動などを繰り返し行わせることで、考えを深め知識と技能を確かなものとし、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するように工夫されている。 ○ 単元の始まりに CAN-DO リストに基づいた「Goal」が到達目標として学習を進める手掛かりとなって提示されている。また、その達成のための様々な言語活動が工夫されている。 ○ 1学年の身近な話題から、3学年で扱う今日的、社会的課題まで発達の段階を考慮した読み進めたいと思わせるような、知的な学習意欲を高める題材が用いられている。 ○ 「英語を通じて世界と、つながる・広げる・見直す」をテーマに、英語による「見方・考え方」を働かせるようにSDGs等にも配慮されている。 ○ 英語圏だけでなく多様な国の文化を扱い、グローバル社会の広がりを感じさせる内容になっている。読みの根拠を示すグラフには出所、出典が明記されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ CAN-DO リストにより小中の系統的な学習を進められるよう、卒業時の到達目標から各学年・各単元の到達目標へと降ろされ、巻頭で目標を把握し巻末で見直す設定がされている。 ○ Unit では4技能5領域を活用し文法の学習、Stage Activity では自己表現、Let's では実践的なコミュニケーション能力を伸ばすねらいのもと、まとまりをもって構成されている。 ○ 基本語として1,000語を厳選し、本文に提示するとともに段階的に語数を増やし課題を設けている。Unit の後に、領域統合的なパフォーマンス活動が設定されている。 ○ 各Unit が6～8時間扱いで、各学年の配当時間が1学年103時間、2学年108時間、3学年99時間と余裕があり、各学校で年間指導計画に工夫が図れるように配慮されている。 ○ 臨場感のある場面設定のもとで、修学旅行や職場体験学習、行事や部活動の振り返りといった題材が取り上げられるなど生徒の実態に適合できるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中で「知識や技能」の習得と活用を繰り返しながら「思考力・判断力・表現力等」の育成を図り、音声や映像から気付きを促し主体的に学習に向かうように工夫されている。 ○ ペアやグループで課題解決に当たる活動や、本文を「概要をつかむ」から「詳細な読み」へ、そして自己表現へとつなげ主体的・対話的で深い学びを促すように工夫されている。 ○ 紙面のデザインや構成を統一しており、学習を見通すことや安心して学習に取り組むことができるように配慮されている。 ○ 日本語との違いで国語を意識した学習や他教科での学習を生かすことをねらいとした題材・ページを設けるなど配慮されている。 ○ 自分で何度も見直して自学自習し文法理解を深めるための学習の手引きや、学び方が紹介されている。音声学習のためのQRコードが適切に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年は小学校教科書と同じ手書き文字に近い書体が使用されている。初期段階では、小学校での既習表現を多く取り入れ、学年ごとに適切な表現が使われるように配慮されている。 ○ 同じ中学生である教科書中のキャラクターが、学校内外で学習や様々な体験を通して学んでいく様子が、生徒に親しみを感じるように工夫されている。 ○ 字体はユニバーサルデザインフォントで、写真とイラストも効果的に使い分けられている。白色度をおさえた用紙を使用し配色にも配慮されている。 ○ 本文理解の助けとなるよう写真やイラスト等が適度に配置されている。言語材料となる見出し語が同じ場所に統一されている。 ○ 再生紙・植物油インキを使用し、表紙は厚みがあり製本は堅ろうで体裁が整っているなど、環境に配慮した作りになっている。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	9	教科書の記号・番号	英語 702 802 902	書 名	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
			開隆堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4技能5領域が PROGRAM ごとにバランスよく配列されており、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう工夫されている。 ○ 学期ごとの到達目標が設定されている Our Project を通し、生徒が見通しを持って学習し、また互いに英語で伝え合う活動ができるように工夫されている。 ○ 学習入門期には Listening を多く取り入れ、身近な話題を用いて小学校との接続を図り、学年が上がるにつれ視野を世界に広げるなど発達の段階に応じた内容になっている。 ○ 4技能5領域を総合的に育成するために、対話や読解を通して自分の考えを広げ、深い学びができるように工夫されている。 ○ 日本や世界各国の文化、他国との関連や人権、平和と命の大切さ、環境問題、最新の科学技術など内容が多様であり、出所、出典が明らかになっている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM を通じて4技能5領域を総合的に扱うコミュニケーション活動ができるよう組織されており、生徒が計画的に学習できるように配慮されている。 PROGRAM の「Goal」が扉に記載されていることにより学習の到達目標が明確となっており、生徒が見通しを持って学習課題に取り組めるように工夫されている。 ○ 各 PROGRAM に帯活動として「Try」が数か所ずつ配置され、やりとりを通して語彙の定着を図り、学期ごとの Our Project で発展的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 各学年の配当時間は1年94時間、2年103時間、3年97時間と余裕があり、学校の実態に応じ工夫して計画を立てることができるように配慮されている。 ○ ポップカルチャーとしての日本文化や、海洋プラスチックごみ等の身近な自然環境に関わる内容、また、SDGs に関連した題材を扱うなどの配慮がされている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 PROGRAM において基本表現を用いたコミュニケーション活動を行い、Retell や Interact での自己表現を通して学習内容を定着できるように工夫がされている。 ○ 各 PROGRAM の Retell, Interact, また、学期ごとに配置された Our Project では、生徒が身に付けた表現を使用して主体的・対話的に学ぶ工夫がされている。 ○ 基礎的・基本的事項を精選した言語材料が学年に応じて配列され、多様な生徒の能力に応じた4技能5領域の活動を通し、段階的に身に付けられるように工夫されている。 ○ 手話や日本の伝統文化、職場体験、日本や世界の偉人等を題材として扱っており、他教科との関連に配慮されている。 ○ 補助資料として、本文の音声各ページにQRコードとして掲載されており、生徒が主体的に学ぶための工夫がされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じて書体を使い分けられ、また、標準的で運用度の高い基本的な表現が精選して配置されており、各学年の発達の段階に応じて学習できるように配慮されている。 ○ 3学年を通して表紙のテーマがそれぞれ、出発、探究、世界へと発達の段階に応じており、一貫性のあるデザインとなっている。 ○ 色覚の個人差を問わず見やすくなるように配色されているなど、カラーユニバーサルデザインの考えに基づいた配慮がされている。 ○ ゆとりのある紙面構成になっており、イラストや図表が配置され、内容の理解が深められるように配慮されている。 ○ 環境に配慮されたインキや用紙を使用しており、造本も丁寧で丈夫であり長時間の使用に十分耐える作りとなっている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 5	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	7 0 3 8 0 3 9 0 3	書 名	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
			三省堂				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能を習得させるために、各 Lesson で段階的に4技能5領域を学ぶ内容となっており、コミュニケーション能力を図る資質・能力を養う工夫がされている。 ○ Lesson ごとの扉に学びの目標があり、見通しを持って主体的に学習できる配慮がされ、巻末の CAN-DO リストで、学びを振り返ることができるように配置されている。 ○ 1 学年は Lesson3 まで音声と文字とを関連させながらの小学校での学びの接続となっている。学年が上がるにつれ世界に目を向けた内容を取り上げ知的発達の段階に考慮されている。 ○ 4 技能5 領域のバランスに配慮し即興でのやりとりや発表、原稿を準備し発表するスピーチやインタビュー、ディスカッション等の発展的学習が発達の段階に応じて配置されている。 ○ 身近な題材から、伝統文化や国際理解、共生等SDGs につながる多様な題材を取り上げ学びに向かう力・人間性等を養う配慮がされている。巻末に出所、出典が明記されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson ごとに「見通し・習得・活用・振り返り」に分けて、段階を踏んだ指導を行うことができるように配列されている。 ○ Lesson のまとめでは生徒の個性や創造性を発揮させるためのより実践的な場面が設定されており、バランスよく4技能5領域の学びを深めるための工夫がされている。 ○ いくつかの Lesson のまとめとして各学年に Project が三つずつ配置され、4 技能5 領域の統合的な活動に取り組ませ、既習の言語材料を活用する力や協働的学びの配慮がされている。 ○ 各学年の配当時間が1 学年 111 時間2 学年 103 時間3 学年 100 時間と余裕のある設定がされており、各学校の目標や生徒の実態に合わせて指導できるように工夫されている。 ○ 「文法のまとめ」で関連する文法事項や文構造を Lesson や学年横断的に整理し、「英語のしくみ」で英語特有の表現を絵で解説するなど振り返りと学び直しを促す工夫がされている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson の GET で基礎を習得し、USE では主体的で深い学びを引き出すための目的や場面、状況に応じた言語活動を設定し「思考力・判断力・表現力等」を養う工夫がされている。 ○ サプレッソンの GET Plus と Word Bank, For Self-Study や巻末付録の単語や表現例は、多様な自律的学びの幅を広げ、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。 ○ Lesson ごとのパターン化した学びのプロセスの可視化やオリジナルキャラクターの発する補助的な手掛かり等、多様な個性や能力に広く対応できる工夫がされている。 ○ 職場体験や避難訓練、日本の古典芸能等を題材として取り上げ、他教科や領域との関連が図られている。質の高い読み物が学年ごとにあり人間性等の涵養について配慮されている。 ○ 各 Lesson の Part ごとにQRコードがあり、Words や Read を電子機器で繰り返し聞くことができ、主体的な学びを促すことができるように配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習入門期は4線上にのせた手書き風の文字を使用するに配慮がされている。Write や Project の書き込み欄設定は、生徒の発想や活動意欲を持続させるように工夫されている。 ○ 場面設定や内容理解の一助となるような挿絵や写真が多く使われ、レイアウトの工夫がされている。 ○ 手紙や新聞、物語等の教材を除き、全学年でユニバーサルデザインに配慮して可読性と視認性の高い書体やフォントを使用しており、読みやすい字体の工夫がされている。 ○ どのページも写真やグラフ、文字・記号等の色の組み合わせや濃淡等カラーユニバーサルデザインの配慮がされている。 ○ 再生紙、植物油インキなどを使用し環境に配慮している。また、表紙は丈夫で破れにくいものとなっている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英 語	7 0 4 8 0 4 9 0 4	書 名	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3
			教 出					
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界や日本、身近なこと等の題材を通して、幅広い知識を習得し、コミュニケーション能力を高める資質・能力を養う工夫がされている。 ○ 学習の到達目標(Goal)や巻末には全ての学年の CAN-DO リストが明記され、生徒が目標を確認しながら学習に取り組める工夫がされている。 ○ 段階的に Lesson で基礎・基本の定着を図り、Review, Task, Grammar で観点別に重層的かつ発展的に整理、活用することができるように工夫されている。 ○ 基本文や文法事項について丁寧に説明され、それで得た知識を Project で総合的に活用し主体的に学びを深めることができる工夫がされている。 ○ 豊かな感性を育み、思考を深めることを考慮した多様な資料があり、出所、出典も巻末に明記されている。 							
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校英語を生かした小中の接続や、それぞれの学年の学びの準備としての学習に十分に配慮した工夫がされている。 ○ コミュニケーションを高める資質・能力を育成するために、学習した内容に関連する技能、領域におけるポイント等が記載され、総合的に学習できる内容に工夫がされている。 ○ 基礎的・基本的な知識や技能、使用場面等を理解させ、学習した内容を総合的に自由に活用できるような発展的な学習につながるように系統化されている。 ○ 1年生 117時間、2年生 107時間、3年生 106時間で構成されており、年間指導計画に各校の実態に応じた学習内容を盛り込むように工夫がされている。 ○ 帯活動としての Activity Plus や各 Lesson で学習した5領域を総合的に活用する Project が配列され、即興性や思考力・判断力を身に付けられるように工夫されている。 							
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson, Review, Task, Grammar を通して、段階的に知識・技能を定着させ、Project で総合的に活用できるように工夫されている。 ○ 巻末の Activity Plus を活用することで「話すこと[やり取り]」を充実させ、対話的な学びを通して、主体的に取り組めるように工夫されている。 ○ 幅広い能力や多様な個性を持った全ての生徒の学びやすさを考慮した内容が工夫されている。 ○ 環境や文化、政治、スポーツ、SDGs 等から様々な題材を取り上げることで他教科や行事等と関連付け、総合的に学習できるように工夫されている。 ○ 音声面での自学自習に対応したQRコードや学び方の紹介[How to study]など生徒が主体的に学ぶことができるように工夫されている。 							
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 慣れ親しんだ字体から導入し、広範囲で使用される字体へと移行する工夫がされている。また、学年ごとに表現の幅が広がるように文法等の学習の配列に工夫がされている。 ○ Lesson ごとのタイトルのみにページを割り、大きな写真を掲載することで、生徒の意欲や想像力を高めるように配慮されている。 ○ カラーユニバーサルデザインに基づく配色やユニバーサルデザインフォントを使用するなど、読みやすいように配慮されている。 ○ 写真や挿絵、図表等をバランスよく、色彩豊かにレイアウトされ、学習への興味を喚起するように工夫されている。 ○ 環境保全等のスローガンを掲げ、SDGs の達成に努めるために、再生紙や植物油インキを使用するなど、環境へ配慮している。 							

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8 光 村	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英 語 7 0 5 8 0 5 9 0 5	書 名	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Unit の Part ごとに、4 技能 5 領域をバランスよく配置した言語活動が設定されており、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する工夫がされている。 ○ 各 Unit の最初に、その単元で何ができるようになるか学習到達目標が明確に示されており、目標を意識して学習を進められるように配慮されている。 ○ 日常の学校生活で見られる場面を取り上げるとともに、日本文化や世界の現状、国際社会の平和と発展等幅広い話題に触れ、生徒の興味・関心を引くように工夫されている。 ○ 日本の四季や伝統行事だけではなく海外の多様な文化や習慣、人々、AI の進化等に目を向け、幅広い話題を取り上げ、読む力や表現力を高められるように工夫されている。 ○ 日本や様々な国の文化、人物、話題を取り上げ、多様な文化や考え方に触れられるように配慮されている。また、写真や資料の出所、出典先が巻末に明記されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Part ごとに「聞く」「話す」「読む」「書く」の 4 技能 5 領域を使った活動と単元のゴールに複数の技能を統合した表現活動を用意し、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 各学期、各 Unit に到達目標が明確に示されているとともに、各学年の巻末に CAN-DO リストが配列され、目標を意識して学習が進められるように配慮されている。 ○ Daily life や World Tour 等の小教材を用意し、各 Unit で習得したことを活用し発展的な学習ができるように配慮されている。 ○ 各学年の配当時数が 1 学年 100 時間、2 学年 108 時間、3 学年 95 時間と設定されており、生徒の実態に応じて年間指導計画を柔軟に作成できるように配慮されている。 ○ 語彙、文法事項の整理、即興で会話をするページなど帯活動や小教材が効果的に配置され、生徒の実態に応じて学習事項を確実に習得できるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帯活動としてイラストを参考に各 Unit のストーリーを自分の言葉で伝える「Story Retelling」を配置し、表現力の育成が図られるように工夫されている。 ○ 「思考力・判断力・表現力等」を養う言語活動として「You Can Do It!」を年 3 回設定し、目的や場面・状況に応じ主体的・対話的に表現する活動が工夫されている。 ○ Unit の右ページに文型や本文を掲載し、基礎的基本的な知識を習得し、左ページでは、習得したことを活用する活動を設定し生徒の多様な能力に対応できるように配慮されている。 ○ 職業体験、環境問題、防災・安全、SDGs 等幅広い内容を取り上げ、他教科等で身に付けた知識・技能を生かし、生徒が主体的に課題解決を図れるように配慮されている。 ○ 実際の音声を聞いたり、実写映像を見たりしながら学習を広げられるように QR コードが付されており、学習効果を高められるように配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校での既習表現を早期段階で再び扱い、基本的な表現が確実に身に付くよう配慮されている。また、学年が進むにつれ、語彙数が増え、表現の幅が広がる構成となっている。 ○ 生徒が親しみやすいマンガのキャラクターが登場し、学校生活を中心としたストーリーの展開を楽しみながら英語を聞いたり、音読したりする工夫がされている。 ○ 日本語表記はユニバーサルデザインフォントを使用し視認しやすいよう配慮されている。文字は鮮明で、大きさは発達の段階に配慮されている。 ○ イラストや写真の大きさなど紙面構成を工夫し、生徒が内容をイメージしやすいよう配慮されている。 ○ 表紙カバーは丈夫で汚れにくいものを使用し、環境に配慮した紙や植物油インキが使用されている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1 啓林館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英語 7 0 6 8 0 6 9 0 6	書 名	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りの幅広い題材を取り上げ、4技能5領域をバランスよく配置した言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力が養えるように配慮されている。 ○ 巻末の3年間を通してCAN-DOリストを通して、生徒自ら学習を振り返り、何ができるようになったかをつかむことができるように工夫されている。 ○ 身近な日常の場面から自国理解・異文化理解へと生徒の発達段階に応じた題材が設定され、生徒の学習意欲を高め、より深い学びにつながるように工夫されている。 ○ 各Partに「伝え合う」活動を基にした「書く」活動が設定され、確実な定着と活用が図れるように工夫されている。 ○ 様々な文化を取り上げ、背景にある多様な考え方等について目を向けることができるように配慮されている。出所、出典についても巻末の一覧で明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各Unitが文法の導入から発展的な自己表現活動まで段階を追った構成となっており、4技能5領域を系統的に育成できるように工夫されている。 ○ 各Unitの扉に各パート等での学習目標がCAN-DOリストとして明示されており、見通しを持って学習を進めることができるように配慮されている。 ○ 見開き2ページを使い、本文読解から言語活動まで設定されている。新出文法の理解から発信型の言語活動まで系統的に学習することができるように配慮されている。 ○ 配当時間が1学年と2学年では103時間、3学年では88時間となっており、生徒の実態に合わせた年間指導計画の作成を図ることができるように配慮されている。 ○ 「学校紹介」や「町紹介」など身近な題材を自己表現する場面が盛り込まれており、実生活や地域に関連付けた言語活動を展開できるように工夫されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project活動では複数のUnitで学習した文法事項を使った4技能統合型の言語活動を通して、「思考力・判断力・表現力等」を養えるように工夫されている。 ○ Word Boxを用意し、ペアやグループで考えをまとめたり伝えたりする際に活用させることで、対話的な学びを充実させられるように工夫されている。 ○ 生徒の多様な個性に配慮できるよう、主となるページでは学習項目の位置を固定し学習の流れを把握しやすくし、シンプルなデザインに配慮されている。 ○ 童話や反戦・平和、生き物、SDGs等、他教科等と連携を図った指導ができるように配慮された題材が盛り込まれている。 ○ 題材について理解を深める補足資料が配置されている。また、QRコードからデジタルコンテンツを利用できるなど、生徒の主体的な学びを促す工夫がされている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年の最初に小学校での既習事項を確認する題材を配置し、学年が進むにしたがって多様な単語・表現を使った長文読解等に進めるように工夫されている。 ○ 3年間を通して同じ登場人物となっており、身の回りの話題から世界に目を向けた話題まで展開を楽しみながら学習できるように工夫されている。 ○ 第1学年で扱う文字をすべてユニバーサルデザインフォントで統一され、活字体は第2学年から導入されるなど、文字指導で混乱が生じないように工夫されている。 ○ 題材に関する写真やイラストについてはレイアウトを工夫しながら豊富に使用し、生徒にとって分かりやすく、魅力あるものになるように配慮されている。 ○ 再生紙や植物油インキが使用され環境に配慮されている。繰り返しの使用に対応できるように製本も堅ろうである。 						

種 目	道徳	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	道徳 701 801 901	書 名	新訂 新しい道徳1 新訂 新しい道徳2 新訂 新しい道徳3
			東書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物事を広い視野から多面的・多角的に捉え、生き方を深く考えることができるよう、様々なジャンルの教材が配置され、補助教材等も工夫されている。 ○ 各学年にそれぞれ3教材からなる「生命尊重ユニット」「いじめ問題対策ユニット」が設定され、命を大切に、思いやりや共生の心を育めるように工夫されている。 ○ 小中の連携を図った教材や、3学年の発達の段階を考慮した教材を配置するなど、学年ごとに深まりのある内容になるように工夫されている。 ○ 教材冒頭に示されたテーマに基づき、精選された2つの発問を通して考え、コラム等を生かして学習の充実を図ることができるように工夫されている。 ○ 教材は、日常的な事柄や情報モラル、伝統文化、キャリア教育、SDGs等の現代的な課題を含め、様々な内容が偏りなく掲載されており、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年を追って深く考えられるよう、1つの内容項目ごとに教材を系統的に配置し、人間としての生き方についての考えを深める学習が展開できるように組織されている。 ○ 学習指導要領の内容を漏れなく扱い、どの内容項目をどの教材で学ぶのか明示してある。各教材の冒頭に設置したテーマによって、ねらいを明確に捉えられるように工夫されている。 ○ 各教材を内容項目ごとに四つの視点に分けた一覧表を配置し、関連的・発展的かつ重点的な取扱いの工夫ができるように配慮されている。 ○ 各学年、本編35時間の教材、付録5教材が用意されており、学校や学級の実態に応じて柔軟に指導できるように配慮されている。 ○ 実際の行事の時期等を考慮して生徒作文を取り上げたり、地域社会を扱った教材を配置したりすることで、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できる内容になっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的教材や、グループエンカウンター教材「ACTION!」を取り入れ、友達と協働して考えを深められるように配慮されている。 ○ 新聞や漫画教材を採用して学習の動機付けを図り、巻末の心情円やホワイトボード用紙で考えを可視化することにより主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫されている。 ○ 様々な人物を取り上げた教材を通してダイバーシティ（多様性）を尊重する態度を養うために、他者理解や国際理解に関する多様な教材を採用している。 ○ 各教科等と関連する教材には、教材冒頭の右下に教科マークを配置している。各教材のデジタルコンテンツとして、関連する他教科の教科書紙面をPDFで確認することができる。 ○ 巻頭に「話し合いの手引き」が掲載され、考えを深めるための配慮がされている。また、学習に関連する資料活用のためのQRコード及びウェブページアドレスが裏表紙に掲載されており、教材に登場する人物のインタビューや関連する動画等を見ることができる。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の設問やキャラクターのせりふ等は文節の区切りで改行し、意味を捉えやすいように配慮されている。 ○ 各学年で漫画教材を取り上げ、中学生にとって親しみやすい口語体の教材に触れられるように配慮されている。 ○ 活字は一般的な書体よりも少し太いユニバーサルデザインフォントを採用している。また、色彩は、目に優しい色を基調とし、色覚特性への配慮がされている。 ○ 感動を与えたい教材では大きく写真を載せたり、身近な教材では親しみやすい絵を載せたりするなど、生徒の目線に立って図表等が配置されている。 ○ 製本は大きく紙面を開くことができる堅ろうなあじろ綴じである。再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーへの配慮がされている。 						

種 目	道徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳 702 802 902	書 名	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
			教出				
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の興味・関心を高める教材や身近な出来事を扱った教材を取り上げ、登場人物に自己を投影して道徳的諸価値の理解を深めることができるように工夫されている。 ○ 「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」を重点テーマとして取り扱っており、中学校3年間を通して繰り返し学習できるように工夫されている。 ○ 生徒の発達の段階に即して、無理なく学習できるように教材内容が精選され、各教材の文章を短くし、考え、議論する時間を十分確保できるように工夫されている。 ○ 長く読み継がれてきた教材を数多く掲載している。また、漫画や新聞記事など、多様な形式の教材を精選して幅広く取り上げている。 ○ 感動資料、葛藤資料など偏りなく掲載されており、情報モラルやSDGsなど現代的な課題を考える教材についても幅広く採用され、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生は、「自分自身に関すること」を多く扱い、学年が上がるにしたがって「人との関わり」「集団や社会と関わり」に力点をおいて指導できるようになっている。 ○ 学習指導要領に示された四つの視点について、学期ごとにバランスよく配列されており、視点が分かるよう、各教材ごとにマークを掲載するなどの工夫がされている。 ○ 「いじめや差別のない社会」「生命の尊さ」について、複数の教材を組み合わせ、関連付けて指導できるように工夫されている。 ○ 各学年本教材30点、補助教材5点の構成で、各校の重点内容項目に合わせて補助教材と郷土資料等との差し替えができるように配慮されている。 ○ 生徒の発達の段階や生活の実態、学校行事の時期などを考慮した配列になっている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材の末尾の「学びの道しるべ」では、物事を自分事として捉え、多面的・多角的に考えを深められるような発問が示され、自己を見つめることができるように配慮されている。 ○ 学習のねらいを意識した問い掛けがあり、主体的な学びを促すものとなっている。また、役割演技等を通して対話的な学びができるように工夫されている。 ○ 性差やLGBT、人権に関する教材を扱っており、生徒の多様な個性に配慮されている。 ○ 学校行事、学級活動、生徒会活動とつながりの深い教材が選定されており、多様な実践活動や体験に効果的に生かせるような工夫がされている。 ○ 内容理解の一助となるような挿絵、図表及び写真が適切に配置されている。また、QRコード及びウェブページのアドレスが目次のページに掲載されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は読みやすい文章で構成されており、文章理解の一助となるように難解な語句には注釈を付けて解説を加えている。 ○ 生徒の思考の一助となる挿絵や写真が適切に配置されており、資料に対する親しみや魅力を感じさせるような工夫がされている。 ○ 生徒の読みやすさに配慮した活字の大きさやフォントが適切であり、写真や挿絵は鮮明である。 ○ 図表等の大きさや配置は適切で、どの教材も右ページから始まっており、見開きで見渡せる構成になっている。さらに、文章構成が分かりやすい位置で改行されている。 ○ B5サイズで軽量であり、製本も堅ろうである。また、再生紙と植物油インクを使用しており、環境への配慮がされている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 7 0 3	書 名	中学道徳1 きみがいちばんひかるとき 中学道徳2 きみがいちばんひかるとき 中学道徳3 きみがいちばんひかるとき
			光村		8 0 3		
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の発達の段階に即した多様な教材が選定され、自分の生活や生き方の問題として意見交流をし、問題解決及び体験的な学習場面を生み出せる工夫がされている。 ○ 全学年を通し「生命の尊さ」「いじめ防止」に力点を置き、関連する教材を「ユニット」として複数設け、発達の段階に応じて考え深める機会が設定されている。 ○ 等身大の生徒の葛藤、先人や現在活躍する人物等、生徒の心を捉える多様な教材が配置され、発達の段階に合わせて道徳的価値の自覚を深められるように工夫されている。 ○ 「学びのテーマ」に応じて設けられた「ユニット」は複数の教材で構成され、内容項目間の関連を意識した配列により学習の充実、発展が図れるよう、配慮されている。 ○ 読み物教材、視覚的に生徒の興味・関心を喚起する教材、データや複数の資料からなる教材等、多様な教材が偏りなく配置されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の実態と学校生活を考慮して1年間を3つのシーズンに分け、それぞれに「学びのテーマ」を設定し、系統的、連続的学習がなされるように工夫されている。 ○ 教材ごとに「てびき」を用意し、「学びのテーマ」には、生徒が教材を通して何を学ぶのかが示され、学習のねらいがはっきり意識できるように配慮されている。 ○ 「いじめ問題」や「情報モラル」等の現代的な課題を題材とした教材は複数で取り組める構成やコラムの配置で重点的に活用できるように工夫されている。 ○ 補助教材を合わせた35教材を、生徒の発達の段階を考慮して適切に配置し、内容項目の数や分量を学校の年間指導計画に弾力的に適合できるように配慮されている。 ○ 職場体験や部活動、特別活動等、多くの学校で生徒が経験する諸行事を題材として取り上げ、学校や生徒の実態を踏まえた時期に扱えるように配慮されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」とは切り口を変えた「見方を変えて」という問いを設定することで、多面的・多角的な見方や考え方ができるように工夫がされている。 ○ 年間4か所、重点内容項目等を取り上げる「深めたいむ」を設け、読み物教材で学んだ道徳的価値を言語活動等で主体的・対話的に考え実感できる工夫がされている。 ○ 巻末の「学びの記録」に1時間ごとの学びや気づきを書き留め、学期や1年を振り返り、生徒自身が変化や成長を実感できるように配慮されている。 ○ 教材末の「つなげよう」により、他教科や日常生活、諸行事と関連付けながら、学びをさらに深め、生徒の生活全般につながるように配慮されている。 ○ 教材の理解を助ける表やグラフは、他教科の既習内容を踏まえている。教材タイトル下にQRコードが配置され、動画や関連資料等のコンテンツにアクセスできる。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校以上配当の常用漢字の全てに振り仮名が付けてあり、全学年を通して読みの負担を軽減する配慮がされている。 ○ 視覚的に興味・関心を喚起する絵本や漫画形式の教材、データや複数の資料からなる教材や問題解決的な学習を用い、生徒の主体的学びを促す配慮がされている。 ○ 読みやすいユニバーサルデザインフォントを用い、文字の大きさ、色遣いや配置、枠組みを使ったデザイン処理など、ユニバーサルデザインに基づく配慮がされている。 ○ 内容解説やイメージを豊かに広げるための絵や写真、図表・グラフを必要な箇所に付し、本文の理解を助けるように工夫されている ○ 強度があり開きやすい「あじろとじ」や、表紙のP.P.ラミネート加工により堅牢である。環境に配慮した用紙やエコマーク認定の植物油インキが用いられている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳704 705 804 805 904 905	書 名	中学道徳 あすを生きる1 中学道徳 あすを生きる1道徳ノート 中学道徳 あすを生きる2 中学道徳 あすを生きる2道徳ノート 中学道徳 あすを生きる3 中学道徳 あすを生きる3道徳ノート
			日 文				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「問題解決的な学習」「体験的な学習」に適した教材が配列されており、多面的・多角的に「考え・議論する道徳」が実現できるように工夫されている。 ○ 「いじめと向き合う」「よりよい社会と私たち」を全学年重点項目とし、教材とコラムをユニット化して複数配置することで定着を図るように工夫されている。 ○ 希望や親しみが持てる教材を1年生に配置し、中学校での諸活動に関する教材を適切な時期に配列するなど、発達の段階を考慮し、意欲を喚起する工夫がある。 ○ 「学習の進め方」を設け、「学習を深めるヒント」を示すなど、「問題解決的な学習」や「体験的な学習」等、多様な授業展開ができるように工夫されている。 ○ 今日の課題や普遍的課題、家庭や学校、社会等の幅広い内容の教材がバランスよく扱われている。また、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間における発達の段階を考慮し、各学年のテーマ「であう」「みつめる」「ひらく」を設定し、系統的、発展的に学習できるように配慮されている。 ○ 主題名が明示され、主体的に見通しを持って学べる配慮がされている。教材の前後にコラムを挿入し、より多面的・多角的に考えることができる工夫がされている。 ○ 同じ内容項目において、小学校から中学校へ、発達の段階に合わせて学習できるように配慮されている。特に、「いじめ」は全学年で関連的・発展的に配列されている。 ○ 各学年とも35の教材がバランスよく掲載され、複数の教材が掲載された内容項目もあり、各学校での年間指導計画に合わせ、差し替えて学習することも考慮されている。 ○ 生活目標や学校行事、伝統的な行事等の関係を考慮して教材が配列されている。資料に「地域別教材・コラム一覧」を示し、地域教材の活用、開発に配慮されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての教材の末尾には多面的・多角的に考えを深める発問や自分を見つめ、自分の生活に生かす発問があり、道徳的判断力や実践意欲を育成する工夫がされている。 ○ 生徒が興味を持つ教材を取り入れ、自分の考えや対話からの学びを記入できるようにするなど、主体的・対話的で深い学びができる工夫がされている。 ○ 全ての生徒が等しく学べるように色と形から内容項目を見分けられる工夫があり、インクルーシブの考え方や多様性を尊重した教材が使われている。 ○ 巻末に「教科等との関連」が明示され、職場体験学習等に関連した教材を扱うなど教科横断的な視点で資質・能力を育むことが意識されている。 ○ 巻頭に学習の手引きとして「道徳科で学ぶこと」が掲載されている。教材の内容に関連した動画等、デジタルコンテンツが充実し、目次にQRコードが明示してある。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字数は適切で平易な文章表現になっている。中学校で学習する漢字には振り仮名が付けられており、抵抗なく読めるように工夫されている。 ○ 表紙のイラストをはじめ、教材の挿絵や写真、漫画等、生徒が親しみやすく、魅力が感じられるものを使用している。 ○ 文字の大きさは適切で、ユニバーサルデザインフォントを使用している。カラーバリエーションを考慮した色彩、印刷を考慮している。 ○ 図版が鮮明で大きく配置されている。タイトルに登場人物のイラスト等が掲載されていることも生徒の理解や考えを深める一助となっている。 ○ 環境を配慮した植物油インキと再生紙を使用しており、あじろ綴じで堅ろうである。軽い紙を使用し、体裁も良い。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 7 0 6 8 0 6 9 0 6	書 名	新・中学生の道徳 明日への扉1 新・中学生の道徳 明日への扉2 新・中学生の道徳 明日への扉3
			学研				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「プラス思考」と「未来志向」を備えた生徒の育成を目指し、物事を多面的・多角的に考えて議論し、自らの生き方を深く考えることができる工夫がされている。 ○ 全学年で「生命尊重」と「いじめ防止」を重点テーマとし、時代に即した教材を用いており、生徒自らが考え、議論することができる配慮がされている。 ○ よりよく生きるための道徳性を身に付けるために、生徒の発達段階を考慮し、学年ごとのテーマと重点内容項目を連動させる工夫がされている。 ○ 自分を見つめ、学びを振り返るページ、生き方の幅を広げるための関連情報のページが設定され、学習の充実と発展が図られるように配慮されている。 ○ 問題意識を引き出す教材や人の生き方から学ぶ教材、SDGsや情報モラル、防災等の現代的な課題の教材が偏りなく配置されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つのテーマに関連する複数の教材を設定しており、内容の深まり、視野の広がりを考慮し、系統的な学びができるように教材配列が工夫されている。 ○ 全教材を四つの視点ごとに分類し、「よりよく生きるための22の鍵」という一覧で示されており、ねらいが明確で内容のまとまりがあるように配慮されている。 ○ 巻頭に「かけがえのない命」「いじめをなくすために」等、様々なテーマで分類された教材一覧を掲載し、関連的・発展的に捉えた取り扱いが工夫されている。 ○ 内容項目の数や分量は、偏りなく組織されている。また、各学年35点の教材が準備され、各学校の年間指導計画に適合しやすいように配慮されている。 ○ 学校生活や行事、地域の伝統的な行事、季節等に合わせた教材の配列が工夫されており、地域に関連した教材の活用、開発もできるように配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「考えを深める4つのステップ」を示し、生徒が問題意識を持って考え、議論する学習を通して、自分らしい生き方を目指す学習ができるように配慮されている。 ○ 様々な分野で活躍する人を扱った教材、生徒の興味を引き出す絵や写真、図表等を取り入れた教材が多く、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されている。 ○ SDGsやキャリア教育に関連する課題についても様々な資料や写真、実話を活用した教材を扱っており、生徒の個性や能力に対応できるように工夫されている。 ○ 各教科等での道徳性の育成につながる教材や総合的な学習の時間との関連に配慮された教材が各学年に掲載されており、関連付けて指導できるように構成されている。 ○ 各教材に学習の手引き、挿絵、図表及び写真等が掲載されている。デジタルコンテンツとして、QRコードでインターネット上の補助教材にアクセスすることができる。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校で学習する漢字や固有名詞に振り仮名を付けるなど、漢字の学習状況に関わらず本文を読み進めることができるようにしている。 ○ 紙面を大きく活用した写真や言葉が添えられているページがある。また、A B判の判型を採用し、生徒の感性や学習意欲に訴えかける工夫もされている。 ○ 生徒の発達段階に応じて、文字の大きさ、字体や行間に配慮されている。全ページともカラーユニバーサルデザインを採用しており、鮮明な印刷となっている。 ○ 図表や挿絵、写真の配置は、視覚的に捉えやすいよう、本文との関係性に配慮している。余白を適度に確保したゆとりある紙面構成でレイアウトも工夫されている。 ○ 製本は無線綴で開きやすく、特殊加工により堅ろうである。環境に配慮した紙、植物油インキ、リサイクル性の高いPURのりを使用して印刷・製本をしている。 						

種 目	道徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 3 2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳 7 0 7 7 0 8 8 0 7 8 0 8 9 0 7 9 0 8	書 名	中学生の道徳自分を見つめる 1 中学生の道徳ノート自分を見つめる 1 中学生の道徳自分を考える 2 中学生の道徳ノート自分を考える 2 中学生の道徳自分をのぼす 3 中学生の道徳ノート自分をのぼす 3	
		廣 あかつき						
1	内 容 関 連 す る こ と							<ul style="list-style-type: none"> ○ 活発な対話や多面的・多角的な道徳的思考を促すとともに、道徳的諸価値の理解を深めるように内容が工夫されている。 ○ 「いじめ」や「人権」に関する課題について、複数の内容項目に関する教材を通して、多様な観点から道徳的価値の理解を深め、発達の段階に応じて生徒が自分自身のこととして多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 ○ 学年が進むに従って、道徳的な思考が深まるように教材や資料が選定され、めあてや問いが吟味されている。 ○ 生徒が自分事として考えたり、考えを深めたりすることができる教材等が精選されており、道徳性を構成する諸様相を偏りなく養うことができるように配慮されている。 ○ 人物教材、名作、感動教材、現代的な課題に関する教材、体験的な学習や問題解決的な学習を促す教材等多様な教材が配置されており、出所、出典が明示されている。
2	組 織 関 と す 配 列 の こ と							<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも学習指導要領に示された四つの視点において、多様な教材が偏りなく取り上げられており、発達の段階や内容の系統性に配慮されている。 ○ ねらいを明確にするために、各教材には「学習の手がかり」が示されており、生徒が1単位時間の授業において見通しを持って、学習できるように配慮されている。 ○ 各学年のバランス等を考慮し、生命尊重を最重点項目と位置付け、重点と関連の深い内容項目の教材を多数取り上げ、指導の重点化を図れるように工夫されている。 ○ 複数の内容項目に関する主教材と、「いじめ問題」「情報モラル」「持続可能な社会」に関するページがあり、各学校の年間指導計画に適合できるように工夫されている。 ○ 生徒の日常生活に関連する内容や現代的な課題に関する教材、各地域に関する教材等が掲載されており、地域や生徒の実態に応じた指導ができるように配慮されている。
3	学 習 関 と す 指 導 と							<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材末尾の「考えを広げる・深める」では、生徒の主体的・対話的で深い学びを促すような発問例が掲載されている。 ○ 各教材の末尾には、めあてや問い、発展的な問いが掲載され、授業の事前・事後においても家族や友達と交流できるように工夫されている。 ○ 異なる立場での主張や様々な対立的な問題を考慮し、特定の見方・考え方に偏った扱いにならないように留意し、多様な見方・考え方ができるように配慮されている。 ○ 巻末に各教科との関わりを示すとともに、他の教育活動等と関連する内容や人物が紹介されており、生徒の多様な学習に対応できるようになっている。 ○ 授業展開を考慮した映像や写真、ウェブサイト等、学習に関連する資料活用のためのQRコードやURLが目次のページに記載されている。
4	表 現 関 と す 体 裁 等 に							<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の読み取りに差異が生じないよう、配当漢字及び未習の漢字には初出のみならず、全て振り仮名が付けられており、学習に支障をきたさないように配慮されている。 ○ AB版を採用し、紙面にゆとりを持たせ、イラストを大きく扱うことで、圧迫感のない、読みやすい構成とともに、親しみや魅力を感じられるように工夫されている。 ○ 教材文の活字が大きく、印刷は鮮明で、生徒が見やすいものになるように配慮されている。 ○ 教材の内容に沿ってイラストや図表及び写真等が効果的に配置されており、生徒が内容を理解しやすいように配慮されている。 ○ 背に厚みを取り、見返しを付けて強度を高めるように工夫されている。植物油インキが使用されている。

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 3 3	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳 7 0 9 8 0 9 9 0 9	書 名	道徳 中学1 生き方から学ぶ 道徳 中学2 生き方を見つめる 道徳 中学3 生き方を創造する
			日科				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自分自身にしっかりと向き合うワークを用意し、答えが一つではない道徳的な課題に対して「考えることができる」「議論することができる」ように工夫されている。 ○ 「いじめ防止」に関しては、本書全体で「正義」「寛容」「人権」「人間愛」等、様々な主題で教材を取り上げている。 ○ 発達の段階を考慮しつつ、学年間のつながりを重視した教材を採用している。また、ストーリーに連続性を持たせた教材もあり、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 現代的な課題、先人から学ぶ教材や生徒の日常に近い話題等、教材の内容がよく精選されており、生徒が問題意識を持って主体的に学習することができるように工夫されている。 ○ 内容項目に沿った題材が幅広く取り上げられている。また、文部科学省読み物資料、書籍、新聞及びテレビ番組等から多岐にわたって採用されており、出所や出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学年「生き方から学ぶ」、2学年「生き方を見つめる」、3学年「生き方を創造する」というテーマに基づき、系統的、発展的に学習できるように配慮されている。 ○ 道徳科を学ぶ意義について、生徒が理解しやすい言葉で示してある。巻末には、内容項目別教材一覧を掲載し、ねらいを明確にして指導できるように配慮されている。 ○ 一つの教材で生徒が多面的・多角的に考察することができるよう、複数の道徳的価値に関連した内容で構成されている。 ○ 内容項目順に教材が配置してあり、各地域、各学校の特色や方針によって自由に教材を組み替えることができるため、年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 「心の成長を目指して」を各学年の初めに配置し、「道徳科」を学校、社会、家庭の中で位置付け、生徒により広い視野から道徳的価値について考えさせるように工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教室で自然と議論が巻き起こるような仕掛けを教材内容と発問例に施してあり、物事を広い視野から多面的・多角的に考えたり、自分との関わりで考えたりする工夫がされている。 ○ 生徒が教材と同じような生活体験を想像できる内容が多く、ねらいとする道徳的価値についての問題意識を持ち、主体的・対話的で深い学びができるように配慮がされている。 ○ LGBTの問題等、多様な個性を持つ個人が、社会において自立して生きていくために大切なことを考えさせる教材が取り上げられている。 ○ 現代的な課題を取り上げて他教科との関連を図ったり、学校行事や体験活動等を想起させて指導したりすることができる内容を取り扱っている。 ○ 教材の内容と関連したコラムやワークシート、挿絵、図表及び写真は適切に配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒にとって難解な語彙、方言や歴史上の人物については下段に説明を加えている。また、各学年の学習状況に応じて適切な言葉が使用されている。 ○ 強く提示したいテーマの写真はページ全体を使っている。また、生徒が親しみやすいイラストを挿入するなど、教材の場면을想像して学習に取り組むように工夫されている。 ○ 字体については、ページ内で統一感を持たせ、本文とコラムでは異なるように工夫されている。また、内容項目の四つの視点ごとに色分けされている。 ○ 適宜世界地図やグラフを用いている。見やすい大きさ、適当な余白を確保してレイアウトがされている。 ○ 表面は丈夫な表面加工を施している。氏名欄は記入しやすいように加工してあり、製本は体裁がよく堅ろうである。 						